

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
A 茨城県の 18 歳人口予測と大学進学率・残留率からみた 学生の確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
B 全国の学部系統別の動向・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
C 茨城県内高校の大学進学者の進学流出先及び進学流入元・・・・・・・・	P 4
D 既設の競合校の入試の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
E 既設の競合校の国家試験の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
F 高等学校卒業者のみならず、社会人等の多様な学生の確保の見込み・・・・・・・・	P 5
G 定員充足の根拠となる客観的データの概要	
G-1：高校 2 年生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に 関するアンケート調査」（実施時期：令和 2 年 7 月～8 月）・・・・・・・・	P 6
G-2：高校 2 年生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に 関するアンケート調査」（実施時期：令和 3 年 1 月～2 月）：追加調査・・・・・・・・	P 8
G-3：高校 2 年生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に 関するアンケート調査」（実施時期：令和 3 年 4 月～5 月）：追加調査・・・・・・・・	P 11
G-4：社会人を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に 関するアンケート調査」（実施時期：令和 3 年 1 月～2 月）：追加アンケート・・・・・・・・	P 13
G-5：社会人を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に 関するアンケート調査」（実施時期：令和 3 年 4 月～5 月）：追加アンケート・・・・・・・・	P 15
G-6：「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」 結果を踏まえての定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・	P 17
H 既設のアール医療福祉専門学校の定員充足状況・・・・・・・・・・・・・・・・	P 18

イ	学生納付金の設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	P 21
②	学生の確保に向けた具体的な取組状況	
ア	広報体制・・・・・・・・・・・・・・・・	P 22
イ	広報活動内容・・・・・・・・・・・・・・・・	P 22
(2)	人材需要の動向等社会の要請	
①	社会的・地域的な人材需要の動向・・・・・・・・	P 27
②	地域からの要望	
ア	茨城県知事からの設置に関する書類・・・・・・・・	P 27
イ	土浦市長からの要望書・・・・・・・・	P 28
ウ	行方市長からの要望書・・・・・・・・	P 28
エ	公益社団法人茨城県理学療法士会長からの要望書・・・・・・・・	P 29
オ	公益社団法人茨城県作業療法士会長からの要望書・・・・・・・・	P 30
③	第三者機関による事業所アンケート調査・・・・・・・・	P 30

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

学校法人筑波学園は昭和 60 年 3 月に設立され、同年 4 月に「筑波情報ビジネス専門学校」を開校し、茨城県で初めての IT ビジネス系の専門学校となった。当時、茨城県には IT ビジネス系の専門学校が設立されておらず、その結果多くの学生が首都圏の大学に流出してしまい、人材の確保が地域の課題となっていた。当校が開校することで土浦市をはじめ茨城県全体へ多くの優秀な人材を輩出し、地域社会の発展に寄与してきた。平成 13 年にはリハビリテーション系の医療人材不足に伴い、「アール医療福祉専門学校」へ改名し、茨城県で初めて理学療法学科（定員 40 名）、作業療法学科（定員 40 名）の 4 年制専門学校をそれぞれ増設した。開校以来多くの学生を迎え、令和 2 年 3 月までに 884 名の卒業生を輩出し、地域のリハビリテーション医療の現場を担う人材を育成し、令和 2 年 4 月までの平均定員充足率は、理学療法学科 1.05、作業療法学科 0.84 となっている【資料 1】。この様に茨城県の理学療法士・作業療法士の人材不足に貢献してきた実績から、茨城県や協力関係にある土浦市や行方市からの要望も踏まえて、地域社会への貢献を引き続き行うためには、学生の確保が重要案件であると捉え、同系統の私立大学区分への近年の志願動向や周辺地域における同系統の学科の設置状況、高校生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」に加え、社会人を対象としたアンケート調査結果により総合的に定員充足の見込みを判断し、アール医療専門職大学（以下、本学という。）入学定員を、リハビリテーション学部理学療法学科 40 名、作業療法学科 40 名とすることとした。

これらの判断に至った根拠は次のとおりである。

【資料 1】アール医療福祉専門学校の定員充足率及び卒業生数

【資料 2】茨城県の 18 歳人口予測

A 茨城県の 18 歳人口予測と大学進学率・残留率からみた学生の確保の見通し

茨城県の 18 歳人口は、平成 30 年度 28,655 人（100%）から令和 12 年度 23,797 人（83.0%）と 12 年間で 4,858 人（17.0%）減少する。令和 6 年度に 25,039 人まで減少し、翌令和 7 年度に 652 人増加するが、そこから令和 12 年度にかけて再び減少に転ずる【資料 2】。

茨城県の高校卒業者数は、平成 20 年度 27,322 人から平成 29 年度 25,569 人と 9 年間で 1,753 人と平成 22 年度及び平成 25 年度は一旦増加するものの緩やかに減少している。大学進学者数は、平成 20 年度 12,573 人から平成 29 年度 12,146 人と 10 年間で 427 人と緩やかに減少している。大学進学率は、平成 20 年度 46.0%から平成 29 年度 47.5%と緩やかに上昇している。大学残留率は、平成 20 年度 19.0%から平成 29 年度 20.0%と緩やかに上昇している【資料 3】。

茨城県の 18 歳人口は今後も緩やかに減少するが、大学進学率及び大学残留率は緩やかに上昇しており、茨城県に専門職大学が開設され、大学の収容力が拡充されることにより、地元残留を高めると見込まれることから、本学の安定的な学生の確保につながるものと考えている。

【資料 3】茨城県の高校卒業者数・大学進学者数・大学進学率・大学残留率の推移

B 全国の学部系統別の動向

全国の過去 5 年間の私立大学の学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率をみると、リハビリテーション学部が属する保健系において学部数は、平成 27 年度の 192 学部から平成 31 年度の 237 学部と 45 学部増えた。志願倍率は、学部数が増えたにも拘らず、平成 27 年度 5.88 倍から平成 31 年度 5.26 倍と安定して高い志願倍率を得ている。入学定員充足率も平成 27 年度 107.61 から平成 31 年度 100.83 と 100%以上を確保できている。また、理学療法学科及び作業療法学科の属する 61 学部の平成 31 年度入学者動向をみると、入学定員 10,950 人に対して志願者数 48,978 人、志願倍率 4.47 倍、入学者数 11,172 人、入学定員充足率 102.03 と高い数値が出ており、理学療法士・作業療法士の専門職大学において、安定的に学生の確保はできるものと考えている【資料 4】。

【資料 4】学部系統別の動向 過去 5 カ年の推移（大学）

主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

C 茨城県内高校の大学進学者の進学流出先及び進学流入元

「地元残留率の動向」についてリクルート進学総研 Web サイトの報告によると、平成 30 年度茨城県内高校の大学進学者の進学流出先で多い都道府県は、1 位東京都（4,862 人）、2 位千葉県（2,067 人）、3 位埼玉県（1,363 人）であった。さらに、進学流入元で多い都道府県は、1 位千葉県（732 人）、2 位東京都（595 人）、3 位埼玉県（397 人）であった。茨城県教育庁総務課が出している「高校卒業後の進学や就職に関する調査」でも、希望する進学場所を「県外」と希望している者は 52.6%と最も多く認められたが、「県内」の残留を希望した者（25.0%）のうち、働きたい職業として「医療・福祉」と挙げた者は最も多かったことが報告されている【資料 5】。このことから、常磐線沿線にある土浦市に位置する本学園の専門職大学が開設され、収容力が拡充されれば、茨城県内の高校生の流出を防げると共に、流入においても千葉県からの流入や地元残留率を高めることにつながるものと考えている。さらに、過去 5 年間のアール医療福祉専門学校入学者に占める茨城県外出身者の状況をみると、理学療法学科においては 13 名、作業療法学科においては 8 名が入学している。経年的に見ても千葉県から若干名が入学しており、千葉県出身者の学生の確保も見込めると考えている【資料 6】。

【資料 5】高校卒業後の進学や就職に関する調査（速報）

【資料 6】アール医療福祉専門学校入学者に占める茨城県外出身者の状況

D 既設の競合校の入試の状況

本学の学生確保の見通しを考えるにあたっては、同分野の学部学科を有する近隣の競合校における入試の状況を把握する必要がある。受験者層と流出先の多い都道府県から競合校を選択すれば、理学療法学科においては、茨城県の 2 大学（茨城県立医療大学・つくば国際大学）、千葉県の 1 大学（帝京平成大学）、埼玉県の 1 大学（目白大学）があげられる。作業療法学科においては、茨城県の 1 大学（茨城県立医療大学）、千葉県の 1 大学（帝京平成大学）、埼玉県の 1 大学（目白大学）があげられる。理学療法学科の場合、競合校 4 大学の平成 29 年度から令和元年度まで 3 年間の受験率（受験者数/入学定員）の平均は、1.9 倍から 5.4 倍である。作業療法学科の場合、競

合校 3 大学の平成 29 年度から令和元年度まで 3 年間の受験率（受験者数/入学定員）の平均は、2.2 倍から 3.2 倍である。つくば国際大学を除く競合校は、受験率が 2 倍以上あり、多くの受験生を確保している。茨城県に専門職大学が開設され、大学の収容力が拡充されることにより、千葉県からの流入や地元残留率を高めることにつながるものと考えている【資料 7】。

茨城県出身入学者の県外への流出状況をみると、理学療法学科における茨城県出身入学者は、平成 22 年度から平成 26 年度まで 260 人から 302 人で、5 年間の平均は、274 人である。茨城県外への入学者は、平成 22 年度から平成 26 年度まで 91 人から 137 人で、5 年間の平均は、109 人である。茨城県外への流出率の 5 年間の平均は、39.8%である。作業療法学科における茨城県出身入学者は、平成 22 年度から平成 26 年度まで 97 人から 126 人で、5 年間の平均は、112 人である。茨城県外への入学者は、平成 22 年度から平成 26 年度まで 41 人から 68 人で、5 年間の平均は、58 人である。茨城県外への流出率の 5 年間の平均は、51.8%である。茨城県に専門職大学が開設され、大学の収容力が拡充されることにより、茨城県外流出率を下げ、地元残留率を高めることにつながるものと考えている【資料 8】。

【資料 7】 既設の競合校の入試の状況

【資料 8】 茨城県出身入学者の県外への流出状況

E 既設の競合校の国家試験の状況

過去 4 年間の競合校の国家試験の状況をみると、理学療法士国家試験において、茨城県立医療大学は、第 51 回から第 54 回の全てにおいて、全国平均を上回る合格率である。つくば国際大学は、第 52 回で全国平均を上回ったが、他 3 回は全国平均を下回る合格率である。帝京平成大学は、第 52 回で全国平均を上回ったが、他 3 回は全国平均を下回る合格率である。目白大学は、第 52 回で全国平均を下回ったが、他 3 回は全国平均を上回る合格率である。つくば国際大学と帝京平成大学は、4 年間の平均合格率においても全国平均を下回っている。作業療法士国家試験において、茨城県立医療大学は、第 51 回から第 54 回の全てにおいて全国平均を上回る合格率である。帝京平成大学は、第 51 回と第 53 回で全国平均を上回ったが他 2 回は全国平均を下回る合格率である。目白大学は、第 52 回で全国平均を上回ったが他 3 回は全国平均を下回る合格率である。帝京平成大学と目白大学は、4 年間の平均合格率においても全国平均を下回っている【資料 9】。

大学進学希望者は、学士号取得に加え専門的資格取得が可能であり、国家試験合格率の高さを求める傾向が強くなっていると言われている。既設の国家試験合格率の高い学科を専門職大学に移行することで、茨城県内外で国家試験合格率の低い大学は敬遠され、千葉県や埼玉県からの流入や地元残留率を高めることにつながるものと考えている。

【資料 9】 既設の競合校の国家試験状況

F 高等学校卒業者のみならず、社会人等の多様な学生の確保の見込み

専門職大学の特徴の一つとして社会人入学者もあることから、高等学校卒業者のみならず、社会人等の多様な学生の確保の見込みについても分析を行った。

過去 5 年間のアール医療福祉専門学校入試等における社会人の状況をみると、理学療法学科においては、5 年間でオープンキャンパス参加者が 51 名、出願者が 11 名、合格者が 4 名、入学者

が4名となっている。オープンキャンパス参加者及び出願者は増加傾向にある。この傾向は、今後も続くと考えている。作業療法学科においては、5年間でオープンキャンパス参加者が45名、出願者が8名、合格者が6名、入学者が4名となっている。オープンキャンパス参加者及び出願者は増加傾向にある。この傾向は、今後も続くと考えている【資料10】。さらに、平成28年から令和2年までの社会人入学者割合は、理学療法学科で6名、作業療法学科で11名と作業療法学科の方が多く、さらに、令和2年度までの過去10年間の社会人入学者のうち16名(28.1%)（理学療法学科：8名(27.6%)、作業療法学科：8名(28.6%)）が医療福祉関係に従事している者の入学者であった。入学動機も「キャリアアップ」のために作業療法士を希望した者や「精神科で働きたいため」、「作業療法士をみて進学を希望した」など作業療法士を知った上で、志願した学生が多くいた。これらの結果を踏まえて、特に作業療法学科においては、「作業療法士」の仕事内容に対する認知度が結果にも影響を及ぼしている可能性が高い【資料11】。

これらのことから、既設専門学校の実績と本学の入学試験体制においても社会人入試を計画し、社会人を受け入れる体制を整えていることから、社会人等の学生の確保も見込めると考えている。

【資料10】 アール医療福祉専門学校入試等における社会人の状況（過去5年間）

【資料11】 アール医療福祉専門学校における社会人の入学者の状況（過去5年間）

G 定員充足の根拠となる客観的データの概要

本学の設置は、周辺地域における同系統の学科の設置状況や既設専門学校の実績より、十分な学生確保が見込めるものと判断しているが、客観的かつ計量的な数値から確認することを目的として、入学意向に関するアンケート調査を実施した【資料12-1】【資料12-2】。

G-1：高校2年生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」（実施時期：令和2年7月～8月）

○アンケート調査の目的

学校法人筑波学園では、2022年（令和4年）4月にアール医療専門職大学（仮称）の開学を目指し、進学意向を把握するために、高校生2年生を対象にアンケート調査を実施した。

○実施アンケート

「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート」（高校生対象）

○調査対象

茨城県、千葉県、福島県に所在する高等学校を選定し、高校2年生を対象に、アンケート調査を実施した。なお、茨城県は全域に実施依頼をし、千葉県および福島県に関しては入学実績のある高等学校を選定基準としてアンケート実施依頼を行った。

○調査実施

令和2年7月～8月に調査を実施した。

○調査方法

高校生アンケート調査票の配布を学校法人が行い、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

○回収状況

高校生アンケート：回収数 57 校 8,478 票

回収率 57.0%（回収校数 57 校／依頼校数 100 校×100）

○高等学校 2 年生に対する進学意向調査結果

【問 1：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、7,501 人（88.5%）が「茨城県」に居住し、以下、「千葉県」が 514 人（6.1%）、「福島県」が 275 人（3.2%）と続いている。

【問 2：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 4,735 人（55.9%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 1,785 人（21.1%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 286 人（3.4%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,336 人（15.8%）となっている。

問 3 以降は、問 2 で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（6,806 人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

【問 3：高校卒業後の進学希望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、第 1 希望について、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が 1,334 人（19.6%）と最も多く、「理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が 1,289 人（18.9%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 800 人（11.8%）と続いている。

第 2 希望については、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が 975 人（14.3%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 828 人（12.2%）、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 803 人（11.8%）と続いている。

【問 4：アール医療専門職大学への進学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が 117 人（1.7%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 690 人（10.1%）の結果となった。

（問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（807 人）による設問。

【問 5：進学を希望する学科】

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した

学生（807 人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 586 人（72.6%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は 204 人（25.3%）となった。

【 アンケート調査のまとめ】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への進学希望と、問 5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。「進学を希望する」または「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した上で、「進学を希望する」または「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校 2 年生は、理学療法学科では 586 名となり、入学定員 40 名に対し 14.6 倍の入学意向を示した。また、作業療法学科では 204 名となり、入学定員 40 名に対し 5.1 倍の入学意向を示した。

		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法学科	作業療法学科	不明
	上段:件数 下段:%				
問 4 アール医療 専門職大学 への進学希 望	全体	807	586	204	17
		100.0	72.6	25.3	2.1
	進学を希望する	117	89	20	8
		100.0	76.1	17.1	6.8
	進学先の候補の一つとして検討する	690	497	184	9
		100.0	72.0	26.7	1.3

G-2：高校 2 年生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」（実施時期：令和 3 年 1 月～2 月）：追加調査

○アンケート調査の目的

学校法人筑波学園では、2022 年（令和 4 年）4 月にアール医療専門職大学（仮称）の開学を目指し、進学意向を把握するために、高校生 2 年生を対象にアンケート調査を実施した。

○実施アンケート

「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート」（高校生対象）：追加調査

○調査対象

調査対象エリアについて、令和 2 年 7～8 月実施の調査では茨城県内と入学実績のある千葉県及び福島県を中心に実施したが、今回の追加調査においては、本学への通学圏域並びに、同系統の学部学科を設置している大学が少ないエリアとして、東北地方で入学実績のある山形県、宮城県、茨城県・福島県内の 7～8 月期末回収エリア、栃木県、埼玉県東部地域（行田市、春日部市、羽生市、草加市、越谷市、久喜市、三郷市、吉川市、幸手市、白岡市、宮代町）及び東京都内の常磐線沿線エリアに広げて実施した。

○調査実施

（1 回目）令和 2 年 7 月～8 月。（G-1 にて報告）

（2 回目）令和 3 年 1 月～2 月追加実施。（G-2 にて報告）

○調査方法

令和2年7～8月の1回目の実施時に協力がかなわず、未回収であった10校に再度実施依頼を行うとともに、新規に10校を選定し、調査票を郵送した。

いずれも調査票の回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

以下、G-1 で報告した令和2年7月～8月期の調査、また、G-2 で報告する令和3年1月2月期の調査内容をまとめて報告をする。

○回収状況

回収数 77 校 9,578 票。

そのうち追加調査対象校は 20 校 1,100 票。

回収率 70.0% (回収校数 77 校／依頼校数 110 校×100)

○高等学校2年生に対する進学意向調査結果

以下、G-1 の令和2年7月～8月期のアンケート調査に加え、G-2 の追加調査を加えた結果を示す。

【問1：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、8,139 人（85.0%）が「茨城県」に居住し、以下、「千葉県」が 615 人（6.4%）、「福島県」が 421 人（4.4%）と続いている。

【問2：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 5,337 人（55.7%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 2,046 人（21.4%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 334 人（3.5%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,493 人（15.6%）となっている。

問3以降は、問2で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（7,717 人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

【問3：高校卒業後の進学希望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、第1希望について、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が 1,556 人（20.2%）と最も多く、「理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が 1,439 人（18.6%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 901 人（11.7%）と続いている。

第2希望については、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が 1,078 人（14.0%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 940 人（12.2%）、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 921 人（11.9%）と続いている。

【問4：アール医療専門職大学への進学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が136人（1.8%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が799人（10.4%）の結果となった。

（問5は、問4で「1.進学を希望する」、「2.進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（935人）による設問。

【問5：進学を希望する学科】

問4で「1.進学を希望する」「2.進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生（935人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は668人（71.4%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は247人（26.4%）となった。

【問4×問5のクロス集計表】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問4（アール医療専門職大学への進学希望と、問5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

（全体） N=9,578

上段：件数 下段：%		問5 希望する学科			
		合計	理学療法学科	作業療法学科	不明
問4 アール医療専門職大学への進学希望	全体	935 100.0	668 71.4	247 26.4	20 2.1
	進学を希望する	136 100.0	99 72.8	28 20.6	9 6.6
	進学先の候補の一つとして検討する	799 100.0	569 71.2	219 27.4	11 1.4

（追加調査） N=1,100

上段：件数 下段：%		問5 希望する学科			
		合計	理学療法学科	作業療法学科	不明
問4 アール医療専門職大学への進学希望	全体	128 100.0	82 64.1	43 33.6	3 2.3
	進学を希望する	19 100.0	10 52.6	8 42.1	1 5.3
	進学先の候補の一つとして検討する	109 100.0	72 66.1	35 32.1	2 1.8

G-3：高校2年生を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」（実施時期：令和3年4月～5月）：追加調査

○アンケート調査の目的

本調査は、学校法人筑波学園において、令和4年4月にアール医療専門職大学（仮称）の開設を目指し、入学意向を把握することを目的とする。

○調査対象

東京都、埼玉県、千葉県、茨城県に所在する高等学校を選定し、高校3年生を対象に、アンケート調査を実施した。

○調査実施

令和3年4～5月実施

○調査方法

アンケート実施の承諾が得られた11校にアンケート調査票を郵送した。

なお、今回アンケートを実施した高等学校は、これまで令和2年7～8月及び令和3年1～2月、2～3月に実施した高等学校と重複しない、新規に選定した高等学校を対象とする。ただし、調査票・リーフレットは同一のものを使用している。

また、令和3年度となり、令和4年4月開設時に入学生となる、アンケート実施時高校3年生を対象に調査を行った。

調査票の回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。調査票の回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

○回収状況

回収数 11校 2,090 票。

○高等学校2年生に対する進学意向調査結果

【問1：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、1,075人（51.4%）が「埼玉県」に居住し、以下、「茨城県」が539人（25.8%）、「東京都」が283人（13.5%）と続いている。

【問2：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が1,411人（67.5%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が349人（16.7%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が59人（2.8%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が247人（11.8%）となっている。

問3以降は、問2で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（1,819人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

【問3：高校卒業後の進学希望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、第1希望について、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が357人（19.6%）と最も多く、「人文科学（文学、史学、哲

学、心理学、外国語など）」が 296 人（16.3%）、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が 258 人（14.2%）と続いている。

第 2 希望については、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 345 人（19.0%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 272 人（15.0%）、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が 242 人（13.3%）と続いている。

【 問 4：アール医療専門職大学への進学希望 】

進学希望については、「進学を希望する」が 10 人（0.5%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 75 人（4.1%）の結果となった。

（問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（85 人）による設問。

【 問 5：進学を希望する学科】

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生（85 人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 64 人（75.3%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は 19 人（22.4%）となった。

【 問 4×問 5 のクロス集計表】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への進学希望と、問 5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

N=2,090

		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
上段：件数	下段：%				
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	85 100.0	64 75.3	19 22.4	2 2.4
	進学を希望する	10 100.0	7 70.0	1 10.0	2 20.0
	進学先の候補の一つとして 検討する	75 100.0	57 76.0	18 24.0	－ －

【 アンケート調査のまとめ】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問4（アール医療専門職大学への進学希望と、問5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。高校生を対象としたアンケート全ての調査結果より、「進学を希望する」または「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した上で、「進学を希望する」または「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校生は、理学療法学科では732名の入学意向を示した。また、作業療法学科では266名の入学意向を示した。

【資料 12-1】アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書

【資料 12-2】アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書（追加実施分統合版）

【資料 12-3】アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書

G-4：社会人を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」（追加アンケート）

○アンケート調査の目的

学校法人筑波学園では、2022年（令和4年）4月にアール医療専門職大学（仮称）の開学を目指し、社会人の入学意向を把握するために、社会人を対象にアンケート調査を実施した。

○実施アンケート

「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート」（社会人対象）

○調査対象

既設の専門学校入学者の実績より、平成28年から令和2年までの社会人入学者割合は、理学療法学科で6名、作業療法学科で11名と作業療法学科の方が多く、さらに、令和2年度までの過去10年間の社会人入学者のうち16名（28.1%）（理学療法学科：8名（27.6%）、作業療法学科：8名（28.6%））が医療福祉関係に従事している者の入学者であったことから、医療福祉関係に従事している社会人を対象とした。

尚、社会人に対する調査に関しては、令和3年2月26日時点での報告であり、引き続き調査を継続する。

○調査実施

令和3年1月～2月に調査を実施した。

○調査方法

アンケート調査票の配布を学校法人が行い、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

○回収状況

社会人アンケート：回収数5施設 165票

回収率 100%（福祉施設：4 施設 115 票、福祉機器関連会社：1 施設 50 票）

○社会人に対する入学意向調査結果

【問１：現在の職種】

回答者の 165（100%）のうち、「その他」が 69 人（41.8%）と最も多く、次いで「介護福祉士」が 43 人（26.1%）、「介護職員初任者研修」が 15 人（9.1%）、「介護支援専門員」が 14 人（8.5%）、「看護師」が 11 人（6.7%）、「相談員」が 6 人（3.6%）、「社会福祉士」が 3 人（1.8%）、「栄養士」が 3 人（1.8%）、「機能訓練相談員」が 1 人（0.6%）となっている。

【問２：勤続年数】

回答者の勤続年数については、「1 年未満」が 13 人（7.9%）、「1～5 年未満」が 34 人（20.6%）、「5～10 年未満」が 42 人（25.5%）、「10～20 年未満」が 55 人（33.3%）、「20 年以上」が 21 人（12.7%）となっている。

問 3 以降は、問 2 で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 他の資格取得を目指す」、「3 研修会等に参加する」のいずれかの回答者（81 人）による設問で、「4. 特にない」「5. その他」を除く。

【問３：今後のキャリアアップ】

回答者の今後のキャリアアップについては、「特にない」が 74 人（44.8%）と最も多く、次いで「大学進学（専門職大学を含む）」が 54 人（32.7%）、「研修会等に参加する」が 15 人（9.1%）、「他の資格取得を目指す」が 12 人（7.3%）、「その他」が 10 人（6.1%）と続いている。

【問４：アール医療専門職大学への入学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が 6 人（7.4%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 8 人（9.9%）の結果となった。

（問 5 は、問 4 で「1. 入学を希望する」、「2. 入学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（14 人）による設問。

【問５：入学を希望する学科】

問 4 で「1. 入学を希望する」「2. 入学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した社会人（14 人）のうち、理学療法学科への入学意向を示した社会人は 2 人（14.3%）、作業療法学科への入学意向を示した学生は 11 人（78.6%）となった。

		問5 希望する学科			
		合計	理学療法学科	作業療法学科	不明
問4 アール医療 専門職大学 への入学希 望	全体	14	2	11	1
		100.0	14.3	78.6	7.1
	入学を希望する	6	0	6	
		100.0	0	100.0	
	入学先の候補の一つと して検討する	8	2	5	1
		100.0	25.0	62.5	12.5

G-5：社会人を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」（追加アンケート）

○アンケート調査の目的

学校法人筑波学園では、2022年（令和4年）4月にアール医療専門職大学（仮称）の開学を目指し、社会人の入学意向を把握するために、社会人を対象に追加アンケート調査を実施した。

○実施アンケート

「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート」（社会人対象）

○調査対象

既設の専門学校入学者の実績より、平成28年から令和2年までの社会人入学者割合は、理学療法学科で6名、作業療法学科で11名と作業療法学科の方が多く、さらに、令和2年度までの過去10年間の社会人入学者のうち16名（28.1%）（理学療法学科：8名（27.6%）、作業療法学科：8名（28.6%））が医療福祉関係に従事している者の入学者であったことから、医療福祉関係に従事している社会人を対象とした。

○調査実施

令和3年4月～5月に調査を実施した。

○調査方法

本調査では、第一次アンケート調査として、茨城県にある医療福祉施設380施設を対象に、学び直しの機会としてアール医療専門職大学へ興味があるかどうかの調査を行い、「ある」と回答の得られた施設を対象に第二次アンケートとして「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート」を実施した。尚、本アンケート調査票の配布、回収及び集計は、学校法人が行った。

○回収状況

施設アンケート：380施設へ配布 回収数10施設 10票

社会人アンケート：回収数10施設 69票

回収率100%（福祉施設：10施設 69票）

○社会人に対する入学意向調査結果

【問１：現在の職種】

回答者の69名（100％）のうち、「介護福祉士」が34人（49.3％）と最も多く、次いで、「介護支援専門員」が10人（14.5％）、「看護師」が6人（8.7％）、「その他」が6人（8.7％）、「介護職員初任者研修」が4人（5.8％）、「相談員」が3人（4.3％）、「機能訓練相談員」が3人（4.3％）、「社会福祉士」が2人（2.9％）、「栄養士」が1人（1.4％）となっている。

【問２：勤続年数】

回答者の勤続年数については、「1年未満」が2人（2.9％）、「1～5年未満」が14人（20.3％）、「5～10年未満」が21人（30.4％）、「10～20年未満」が25人（36.2％）、「20年以上」が7人（10.1％）となっている。

問3以降は、問2で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 他の資格取得を目指す」、「3 研修会等に参加する」のいずれかの回答者（81人）による設問で、「4. 特にない」「5. その他」を除く。

【問３：今後のキャリアアップ】

回答者の今後のキャリアアップについては、「特にない」が25人（36.2％）と最も多く、次いで、「研修会等に参加する」が17人（24.6％）、「他の資格取得を目指す」が13人（18.8％）、「大学進学（専門職大学を含む）」が8人（11.6％）、「その他」が6人（8.7％）と続いている。

【問４：アール医療専門職大学への入学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が6人（14.0％）、「進学先の候補の一つとして検討する」が6人（14.0％）の結果となった。

（問5は、問4で「1. 入学を希望する」、「2. 入学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（12人）による設問。

【問５：入学を希望する学科】

問4で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した社会人（12人）のうち、理学療法学科への入学意向を示した社会人は5人（41.7％）、作業療法学科への入学意向を示した学生は7人（58.3％）となった。

		問５ 希望する学科			
		合計	理学療法学科	作業療法学科	不明
問４ アール医療専門職大学への入学希望	全体	12 100.0	5 41.7	7 58.3	- -
	入学を希望する	6 100.0	1 10.0	5 71.4	- -
	入学先の候補の一つとして検討する	6 100.0	4 57.1	2 28.6	- -

【アンケート調査のまとめ】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への入学希望と、問 5（入学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。全ての社会人アンケート調査結果にて「アール医療専門職大学への入学希望」と回答した者（12 名）のうち、理学療法学科を希望した者は 1 名、作業療法学科は 11 名、「入学先の候補の一つとして検討する」と回答した者（14 名）のうち理学療法学科を希望した者は 6 名、作業療法学科は 7 名であった。この結果を受けて、高校生を対象としたアンケート結果と比較してみると、医療福祉関係に従事している社会人においては、作業療法学科への入学希望の割合が多いことが分かった。

G-6：「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」結果を踏まえての定員充足の見込み

高校生及び社会人を対象としたアンケートの結果から、理学療法学科については進学希望者が定員の約2倍いることがわかる。そのことから、定員40名を充足することは可能であると考ええる。作業療法学科については、調査対象数を増やす毎に進学希望者は増えていることがわかる。そのことから、潜在的には希望者がいることを踏まえ、さらなる調査を行うと共に、今回のアンケート調査を通して、「はじめて作業療法士を知ったので、もう少し早く知っておけばよかった」などの声が聴かれたことから、調査活動と合わせて作業療法士の認知度を高めるべく作業療法士という職業が理解されるよう取り組むとともに、作業療法士に関する潜在的な需要を開拓していく。また、定員設定を既設の専門学校と同規模に設定したが、アンケート調査結果や同系統の他大学の定員規模を考えると、40人は妥当と考える。

【理学療法学科】

	R2. 7～8月 (高校生)	R3. 1～2月 (高校生)	R3. 4～5月 (高校生)	R3. 1～2月 (社会人)	R3. 4～5月 (社会人)	計
入学を希望する	89	10	7	0	1	107
入学先の候補の一つとして検討する	497	72	57	2	4	632

【作業療法学科】

	R2. 7～8月 (高校生)	R3. 1～2月 (高校生)	R3. 4～5月 (高校生)	R3. 1～2月 (社会人)	R3. 4～5月 (社会人)	計
入学を希望する	20	8	1	6	5	40
入学先の候補の一つとして検討する	184	35	18	5	2	244

H 既設のオール医療福祉専門学校の定員充足状況

オール医療福祉専門学校の定員充足状況を設置学科別で見て、定員充足率が 1.0 未満の学科については、定員未充足の分析と定員確保に向けた対応策を考えた。

a) 看護学科

看護学科は、過去 3 年間の平均定員充足率が 1.01 だが、平成 30 年度 0.98 と 1.0 を下回っている。平成 30 年度は、3 月下旬に予期せぬ入学辞退が 1 名あり、補欠の繰上げ合格ができずに 39 名入学となってしまったものである【資料 13】。

定員確保については、平均受験率 2.05 倍に安心せず、入試広報課職員と広報担当教員が積極的に募集活動に参画し、教育環境や教育課程の充実を図り、全国平均を上回る看護師国家試験合格率や高い就職率を維持することで、安定した定員確保が続くと考えます。

看護学科へのオープンキャンパス参加者は、平成 27 年度 160 人（100%）から令和元年度 195 人（122%）となり、着実に増加しており、受験者増が見込める【資料 14】。

b) 理学療法学科

理学療法学科は、過去 4 年間の平均定員充足率が 1.04 だが、平成 29 年度 0.98 と定員充足率 1.0 を下回っている。平成 29 年度の定員充足率 1.0 未満は、受験者減少に加え入学辞退者の増加によるものである【資料 13】。

受験者減少の背景には、高校生の減少及び競合校の存在があげられる。平成 13 年度に 6.05 倍の受験率で開校した。以来、茨城県内外で競合する大学・専門学校が開校したが、6 年間は 3 倍を超える受験率があった。平成 20 年度に茨城県内に 3 年課程の理学療法士養成及び言語聴覚士養成の専門学校が開校し、リハビリテーション学科の定員が増えたことで受験者が減少し、受験率が 2 倍になった。その後、茨城県外で大学や専門学校の開校等があり、平成 27 年度から受験率 1.5 倍未満が続いている。令和 2 年度は、募集エリアの拡大（千葉県・東北 6 県への高校訪問や進学ガイダンスの参加）や入試の多様化（指定校推薦入試や A O 入試の導入）・茨城県内外の競合校との差別化（全国平均を上回る理学療法士国家試験合格率や高い就職率）を図ることを推し進めた結果、受験率が 1.93 倍に回復した【資料 15】。

定員確保については、今後も受験率の向上と辞退者を減らす取組みを続けていく。受験率の向上の取組として、引き続き募集エリアの拡大や入試の多様化・茨城県内外の競合校との差別化を図ることを推し進めていく。今後も、受験率 1.93 倍に安心せず、入試広報課職員と広報担当教員が積極的に募集活動に参画し、教育環境や教育課程の充実を図り、全国平均を上回る理学療法士国家試験合格率や高い就職率を維持することで、定員確保が続くと考えます。

理学療法学科へのオープンキャンパスの参加者は、平成 27 年度 136 人（100%）から令和元年度 176 人（129%）となり、着実に増加しており、受験者増が見込める【資料 14】。

c) 作業療法学科

作業療法学科の定員充足率は、平成 29 年度 0.48、平成 30 年度 0.63、令和元年度 0.68、令和 2 年度 1.10、4 年間の平均定員充足率 0.72 と定員充足率 1.0 を下回っている。定員充足率 1.0 未満は、受験者減少によるものだが、受験者は着実に増加しており、平成 2 年度は 53 名に達し定員を充足した【資料 13】。

受験者減少の背景には、高校生の減少及び競合校の存在・作業療法士の認知度の低さがあげら

れる。平成 13 年度に 2.20 倍の受験率で開校した。以来、茨城県内外で競合する大学・専門学校が開校したが、5 年間は 2 倍を超える受験率があった。平成 19 年度から平成 20 年度に茨城県内に理学療法士養成の大学、理学療法士養成及び言語聴覚士養成の専門学校が開校し、リハビリテーション学科の定員が増えたことで受験者が減少し、受験率が 1.6 倍を切ってしまった。その後、茨城県外の競合専門学校で修業年限の変更等があり、平成 26 年度から受験率 1 倍未満が続いている。令和 2 年度は、作業療法士の認知度の向上の取組（高校への出前講座や高校教員対象説明会・中学生への職業理解ガイダンスの実施）や受験率の向上の取組として、募集エリアの拡大（千葉県・東北 6 県への高校訪問や進学ガイダンスの参加）や入試の多様化（指定校推薦入試や A O 入試の導入）・茨城県内外の競合校との差別化（全国平均を上回る作業療法士国家試験合格率や高い就職率）を図ることを推し進めた結果、受験率が 1.33 倍に回復し、定員を充足した【資料 16】。

定員確保については、今後も作業療法士の認知度の向上や受験率の向上と辞退者を減らす取組みを続けていく。認知度の向上の取組みとして、引き続き高校への出前講座や高校教員対象説明会・中学生への職業理解ガイダンスを実施していく。受験率の向上の取組として、引き続き募集エリアの拡大と入試の多様化・茨城県内外の競合校との差別化を図ることを推し進めていく。今後も、受験率 1.33 倍に安心せず、入試広報課職員と広報担当教員が危機感を持ちつつも積極的に募集活動に参画し、教育環境や教育課程の充実を図り、全国平均を上回る作業療法士国家試験合格率や高い就職率を維持することで、定員充足は維持できると考える。

作業療法学科へのオープンキャンパス参加者は、平成 27 年度 69 人（100%）から令和元年度 103 人（149%）となり、大幅に増加しており、受験者増が見込める【資料 14】。

d) 介護福祉学科

介護福祉学科の定員充足率は、令和元年度 0.43、令和 2 年度 0.50、2 年間の平均充足率 0.46 と定員充足率 1.0 を大幅に下回っている。定員充足率 1.0 未満は、受験者減少によるものだが、受験者は着実に増加している【資料 13】。

受験者減少の背景には、高校生の減少及び競合校の存在・介護福祉士の魅力度の低さがあげられる。平成 10 年度に 0.93 倍の受験率で開校した。以来、近隣に競合する専門学校が開校したが、7 年間は 1 倍を超える受験率があった。平成 18 年度から受験率が 1 倍を割込み、平成 20 年度以降は受験率が 0.5 倍を切ってしまった。平成 31 年度から入学定員を 40 名とし、令和 2 年度は受験率が 0.65 倍に回復した【資料 17】。

定員確保については、介護福祉士の魅力度の向上や受験率の向上の取組みを続けている。魅力度の向上の取組みとして、中学生への職業理解ガイダンスや高校への出前講座、社会人対象説明会を実施している。受験率の向上の取組として、募集エリアの拡大（千葉県・福島県への高校訪問や進学ガイダンスの参加）と外国人留学生の募集（茨城県内外の日本語学校訪問・留学生ガイダンスの参加・日本語学科との連携）、入試の多様化（指定校推薦入試や A O 入試の導入）、修学資金や施設奨学金の拡充、茨城県内外の競合校との差別化を図ることを推し進めている。今後も、入試広報課職員と広報担当教員が危機感を持ち積極的に募集活動に参画し、教育環境や教育課程の充実を図り、全国平均を上回る介護福祉士国家試験合格率や高い就職率を維持することで、定員充足は達成できると考える。

介護福祉学科へのオープンキャンパス参加者は、平成 27 年度 46 人（100%）から令和元年度 52 人（113%）となり、着実に増加しており、受験者増が見込める【資料 14】。

e) 日本語学科（1年6か月コース）

日本語学科（1年6か月コース）の定員充足率は、令和元年度 0.05 と定員充足率 1.0 を大幅に下回っている【資料 13】。

定員充足率 1.0 未满是、平成 30 年度 10 月期からの東京出入国在留管理局の留学生の在留審査の厳格化の影響を受けている。これまで主体であったネパール、スリランカなど東南アジアの一部の国の出身者からの在留資格の交付率が数%と激減し、留学生の受け入れが困難になっている状況である。このことを受けて日本語学科では、募集エリアをネパール、スリランカからベトナムや韓国・中国など、在留資格の交付率の高い国に移行する展開を図っている。

また、在留資格の不交付理由の多くが、経費支弁関係であることから、茨城県内の介護施設と連携し、日本語学科入学時から奨学金の貸与を受けるプログラム（以下、「介護プログラム」と表記する）を起案した。1年6か月コースの介護プログラムでは現在（2019年12月23日時点）、4法人からの申し込みがあり、令和2年度の入学定員 20 名のうち、既に 10 名分の奨学生枠が決まっている。

さらに、日本語学科は、令和2年度に入学を予定する留学生に係る審査より、「適正校」に選定された。在留資格認定証明書交付申請に係る提出書類が軽減されるため、在留資格の交付率の上昇が見込まれる。入学定員の回復に向けて着実に前進している。

f) 日本語学科（1年コース）

日本語学科（1年コース）の定員充足率は、令和2年度 0.00 と定員充足率 1.0 を大幅に下回っている【資料 13】。

定員充足率 1.0 未满是、平成 30 年度 10 月期からの東京出入国在留管理局の留学生の在留審査の厳格化の影響を受けている。これまで主体であったネパール、スリランカなど東南アジアの一部の国の出身者からの在留資格の交付率が数%と激減し、学生の受け入れが困難になっている状況である。このことを受けて日本語学科では、募集エリアをネパール、スリランカからベトナムや韓国・中国など、在留資格の交付率の高い国に移行する展開を図っている。

また、在留資格の不交付理由の多くが、経費支弁関係であることから、茨城県内の介護施設と連携し、介護プログラムを起案した。1年コースの介護プログラムでは現在（2019年12月23日時点）、7法人からの申し込みがあり、既に 15 名分の奨学生枠が決まっている。これらの取り組みにより、令和2年度の受験者も 29 名（受験率 1.45）と大きく回復し、合格者も 16 名であった。入学を許可した留学生は 12 名いるが、コロナ禍の中で現在まで入国できていない【資料 12】。

さらに、日本語学科は、令和2年度に入学を予定する学生に係る審査より、「適正校」に選定された。在留資格認定証明書交付申請に係る提出書類が軽減されるため、在留資格の交付率の上昇が見込まれる。入学定員の回復に向けて着実に前進している。

g) 医療事務学科

医療事務学科は令和2年4月開設の新設学科で、令和2年度定員充足率は 0.60 である【資料 13】。

定員充足率 0.60 の背景には、高校生の減少及び競合校の存在・医療事務の魅力度の低さがあげられる。定員確保については、医療事務の魅力度の向上や受験率の向上の取組みを続けている。

魅力度の向上の取組みとして、中学生への職業理解ガイダンスや高校への出前講座を実施している。受験率の向上の取組として、募集エリアの拡大（千葉県・福島県への高校訪問や進学ガイダンスの参加）入試の多様化（指定校推薦入試やＡＯ入試の導入）、奨学金の拡充、茨城県内の競合校との差別化を図ることを推し進めている。今後も、入試広報課職員と広報担当教員が危機感を持ち積極的に募集活動に参画し、教育環境や教育課程の充実を図り、前身の医療秘書学科の高資格取得状況や高い就職率を維持することで、定員充足が達成できると考える。

医療事務学科へのオープンキャンパス参加者は、前身の医療秘書学科の平成 27 年度 19 人(100%)から令和元年度 29 人（153%）となり、大幅に増加しており、受験者増が見込める【資料 13】。

h) I T ビジネス学科

I T ビジネス学科は令和 2 年 4 月開設の新設学科で、令和 2 年度定員充足率は 1.05 である【資料 13】。

定員確保については、I T ビジネスの魅力度の向上や受験率の向上の取組みを続けている。魅力度の向上の取組みとして、中学生への職業理解ガイダンスや高校への出前講座、留学生対象説明会を実施している。受験率の向上の取組として、募集エリアの拡大（千葉県・福島県への高校訪問や進学ガイダンスの参加）と外国人留学生の募集（茨城県内外の日本語学校訪問・留学生ガイダンスの参加・日本語学科との連携）、入試の多様化（指定校推薦入試やＡＯ入試の導入）、奨学金の拡充、茨城県内外の競合校との差別化を図ることを推し進めている。今後も定員充足率 1.05 に安心せず、入試広報課職員と広報担当教員が危機感を持ち積極的に募集活動に参画し、教育環境や教育課程の充実を図り、前身の総合ビジネス学科の高資格取得状況や高い就職率を維持することで、定員確保が維持できると考える。

I T ビジネス学科へのオープンキャンパス参加者は、前身の総合ビジネス学科の平成 27 年度 16 人（100%）から令和元年度 48 人（300%）となり、大幅に増加しており、受験者増が見込める【資料 14】。

【資料 13】アール医療福祉専門学校の定員充足状況

【資料 14】アール医療福祉専門学校のオープンキャンパス実施状況

【資料 15】アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況（理学療法学科）

【資料 16】アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況（作業療法学科）

【資料 17】アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況（介護福祉学科）

イ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金の設定にあたっては、競合校との競争力、収支バランスの 2 つの面から次のとおりとした。

本学の学生納付金は、入学金 300,000 円、授業料 900,000 円、施設設備費 350,000 円、実習費 200,000 円とした。初年度納付金が 1,750,000 円、2 年次以降が 1,450,000 円、4 年間合計が 6,100,000 円とした。理学療法学科、作業療法学科とも同一金額で設定した。病院・施設等での臨床実習にあたっての宿泊代等は、本学負担とする。また、授業料は、入学時と後期の 2 回の分納方式とする。競合校と比較すると、本学より 4 年間の学費が安いのは、茨城県立医療大学の

2,425,200 円及び帝京平成大学の 5,780,000 円である。本学より 4 年間の学費が高いのは、つくば国際大学の 6,300,000 円及び目白大学の 6,225,000 円である。

本学の学生納付金については、競合校の同系学部学科と比較しても妥当な水準にあると考える【資料 18】。

【資料 18】 競合校との学費比較

② 学生の確保に向けた具体的な取組状況

ア 広報体制

広報担当教員と入試広報課職員が中心となり、茨城県内外の高校訪問を行い、積極的に募集活動を実施するとともに、高校等で実施する「進学ガイダンス」への参加や本学で実施する「オープンキャンパス」への参加を促し、出願に繋げていく。また、リハビリテーションという職業の魅力を早期から認識してもらえるように、中学生への「職業理解ガイダンス」を土浦市にとどまらず、今回のアンケート調査を依頼した専門職大学通学圏域を対象に行っていく。

広報担当教員：高校訪問、出前講座、進学ガイダンス、オープンキャンパス、職業理解ガイダンス、高校教員対象説明会

入試広報課職員：スケジュール管理、広報媒体準備、出前講座、高校訪問、進学ガイダンス、オープンキャンパス、職業理解ガイダンス

外部連携：本学だけの取り組みに偏らず、茨城県作業療法士協会や茨城県リハビリテーション専門職協会などの職能団体とも協力し、理学療法士・作業療法士の職業理解を推進していく。

イ 広報活動内容

広報活動については、入試広報課で策定した年間スケジュールに基づき、次の 11 項目の活動を中心に本学の周知を図っていく。

a) 高校訪問等を通じた高等学校への情報提供

既設専門学校では、茨城県内の高校は年 4 回、千葉県及び東北 6 県の高校は年 2 回訪問を行っていることで、高校側と強固な信頼関係を築いている。その基盤を専門職大学でも引継ぎ、専門職大学通学圏域の高校へ訪問し、進路指導部とより一層の強固な連携を図る。

b) 高校を対象とした出前講座の実施

高校の進路指導部と連携を図り、高校へ訪問して模擬授業を行い、理学療法士、作業療法士の職業理解を図っていく。

c) 進学ガイダンス

茨城県内外の高校等で実施する、進学情報業者主催の進学ガイダンスに参加し、高校生や保護者に対して直接本学の理念や設置趣旨、アドミッション・ポリシーなどを説明する機会とする。また、専門職大学の説明も積極的に行うことで、周知活動も行っていく。その際、オープンキャンパスへの参加も呼びかけ、入学意欲を促進する。

d) 高校生を対象としたオープンキャンパス

オープンキャンパスは、5月から翌年2月にかけて月1回から2回、合計15回のオープンキャンパスを開催する。在籍する学生が案内するキャンパスツアーや専任教員による各種模擬授業を行い、理学療法・作業療法が体験できる内容で実施する。年4回は、卒業生によるOG・OBガイダンスも企画する。高校生や保護者に対して直接本学の理念や設置趣旨、アドミッション・ポリシー、学生生活の状況、学納金と奨学金についてなどの説明も行っていく。

e) 個別見学の対応

年に複数回のオープンキャンパスの開催日を設定しているが、日程が合わずに参加できない方を対象として、希望者に対しては平日の個別相談を受け入れて対応する。

f) オンラインオープンキャンパス等の強化

来校が難しい対象のために、オンライン上で個別対応を行う。その際、オンライン上で授業体験や施設案内も行うなど、参加者が本学を理解するのに十分な情報を提供する。

g) 教員を対象としたオープンキャンパス

主に高等学校の進路担当教員に、本学への理解を深めてもらうことを目的として実施する。内容は、校舎案内から始まり、本学の理念や設置趣旨、アドミッション・ポリシーなどの説明を行い、加えて、授業見学をして本学がどのような教育を行っているか理解を深めてもらう。その他、高校別で個別相談を行い、情報交換を行う機会とする。

h) 職業理解ガイダンス

既設専門学校で土浦市内の中学生を対象に行っている理学療法士・作業療法士の理解を深める職業理解ガイダンスを、継続すると共に、専門職大学通学圏域も対象に同様の活動を行っていく。

i) 高校教員対象説明会

既設専門学校では、年に1回開催されている茨城県のリハビリテーション職能三団体との協賛で行う、茨城県内の高校進路指導担当教員へのリハビリテーション専門職の理解を深める説明会を本学会場にて実施していることから、高校側と強固な信頼関係を築いている。その基盤を専門職大学でも引継ぎ、専門職大学通学圏域の高校へ訪問し、進路指導部とより一層の強固な連携を図る。

j) 効果的な広報戦略

学校法人のホームページを活用し、本学の理念や設置趣旨やアドミッション・ポリシー、オープンキャンパスについてなどを情報発信することで専門職大学の認知を高める。さらに、ホームページからオープンキャンパス以外の学校法人が主催または、参画している各種イベントへの集客へ繋げる。

その他、進学情報業者のWebサイトに参画し、本学の情報を発信することで専門職大学の認知を高める。さらに、Webサイトからも同様に学校法人が主催または、参画している各種

イベントの集客を図る。

k) 歩留まり向上に向けた綿密な対応

学生が入学するまでの一般的な流れは、資料請求を行い、オープンキャンパスに参加して入学を決めることが一番多い。このことから、オープンキャンパス時に広報担当を増員して配置し、きめ細かい対応を行うことで、一人でも多くの入学者増に繋げる。また、進学検討者への取り組みは、下記の「ウ 進学検討者への具体的な取り組み」にて具体的に、本学の部戦記視点から述べる。

ウ 進学検討者への具体的な取り組み

高校を対象とした「アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査」（実施時期：令和2年7月～8月）結果にて、作業療法学科を進学先の候補として検討すると回答した学生が184名いた。その様に、本学を進学先の一つとして検討している学生を、入学意向へ働きかけを行うかは、学生確保においては重要な取り組みとなる。そのことから、まずは「進学を候補の一つとして検討している」184名という母体にはどのような学生がどのような理由で検討しているのかを推測した。一つはまだ進路が明確ではない学生、二つ目は競合校と迷っている学生と二種類に分類した。まずは前者の進路が明確ではない学生を除くためにクロス集計を行い、茨城県内の高校生で希望分野が保健衛生学第一希望者でかつ作業療法学科の「進学先の候補の一つとして検討する」を回答した学生を抽出したところ、79名いることが明らかとなった

【資料19】。つまり、この79名の学生は高い確率で作業療法学科への進路が決定している集団であることがわかり、さらに本学への作業療法学科の進学希望者20名と合計すると99名となる。この数字は、「茨城県出身入学者の流出状況」で示した資料の中の茨城県内で作業療法学科に進学する5年間平均の112名と類似した数字となるため非常に信憑性の高いことがわかる**【資料8】**。

さらに、茨城県内で作業療法学科を目指す108名のうち、茨城県立医療大学へ入学する学生は5年間平均の24名、本学へ入学希望者は20名である。つまり、残りの55名が本学へ進学するか、茨城県外へ流失するかが定員充足の重要なポイントとなってくる。茨城県から県外の競合校へ行く可能性があるのは東京都である。実際に茨城県教育庁総務課が出している「高校卒業後の進学や就職に関する調査」によると、希望する進学場所が県外である割合が52.6%であり、さらにそのうち東京圏を希望する割合が79.8%であった**【資料5】**。

【高校卒業後の進学や就職に関する調査より】

図1 希望する進学場所

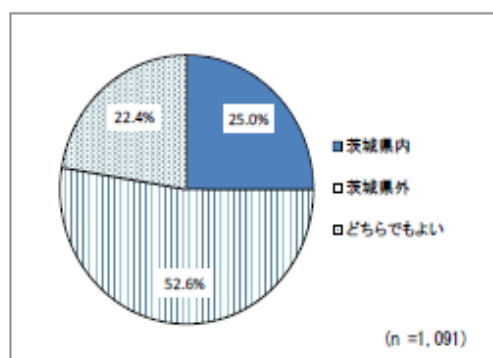
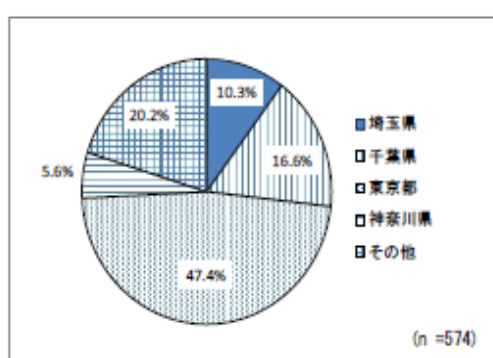
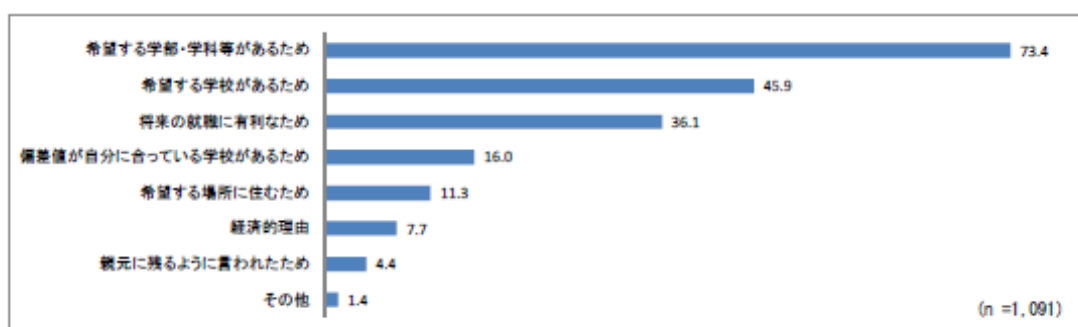


図2 県外進学希望者が希望する都道府県



さらに、希望する進学場所を決めた理由として「希望する学部・学科があるため」「希望する学校があるため」という回答が多かった。つまり、茨城県内では作業療法学科を有する大学は茨城県立医療大学のみとなるため、大学志望の学生が希望する学科がなく東京圏の大学へ流出してしまっている可能性が高く、本学が設置されることでその流出を防ぐことが十分に考えられる。そこで、本学は「作業療法学科」の学生確保に向けて、「希望する進学場所を選んだ理由」の結果を踏まえ、次の2つの視点から学生確保の取り組みを行う。

【希望する進学場所を選んだ理由】



①経済的支援に対する取り組み

学費は、大学を選択する上で非常に重要な選択理由の一つとなる。調査結果からも希望する進学場所を選んだ理由の中に経済的理由を回答した者が7.7%いることから分かる。そのことから、本学の授業料の設定においては、経済的側面を十分に配慮した上で設定した。学費について、本学と東京圏での私立大学を比較したところ、本学の初年度の学費の合計は¥1,750,000に対し、東京圏での初年度の学費は¥1,850,000～¥1,950,000と年間で10万円～15万の大きな差があることが分かる【資料18】。さらに、茨城から東京への自宅からの通学は困難となることから一人暮らしでの生活となるため、家賃や食費だけでも1年間で100万円以上の費用がかかり、進学者への経済的負担が大きいことが窺える。

【競合大学との学費の比較一覧（作業療法学科）】

大学名	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計
アール医療専門職大学	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000
杏林大学	250,000	1,150,000	200,000	300,000	1,900,000
東京医療学院大学	300,000	1,000,000	300,000	250,000	1,850,000
東京工科大学	340,000	1,560,000	-	-	1,900,000
東京保健医療専門職大学	300,000	900,000	400,000	300,000	1,900,000
帝京平成大学	300,000	870,000	700,000	-	1,870,000

また、このような実状を踏まえ、本学の経済的支援体制は既設専門学校でも奨学金支援体制を整え、多くの学生が奨学金を受給している状況にある。また、奨学金支援を行う機関は、独立行政法人日本学生支援機構のみならず、茨城県の医療機関から作業療法士育成のための奨学金支援を受けることができている。

【既設専門学校における奨学金受給状況】

学科	1年次	2年次	3年次	4年次
理学療学科	25名 (58%)	20名 (51%)	14名 (53%)	14名 (53%)
作業療学科	17名 (39%)	9名 (37%)	7名 (50%)	6名 (37%)

これらのことから、本学へ進学をした場合は、東京圏へ進出した場合の諸経費の負担をかけることなく就学でき、また、経済的支援も受けられる環境であることから、本学が設置されることにより経済的な理由から東京圏への大学への流出を防ぐことができ、本学へ進学する可能性を高めることができる。

②「作業療法士」の認知度を高める取り組み

今回、アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査から、「はじめて作業療法士を知ったので、もう少し早く知っておけばよかった」などの声が聴かれたことから、本学の広報活動を通して作業療法士の認知度を高め、作業療法士に関する潜在的な需要を開拓していく。まず、本学のオープンキャンパスは、総合ガイダンス、学科毎で模擬授業・校舎見学、在学生との昼食会、募集要項、個別相談のスケジュールで開催している。本学のオープンキャンパスの特徴としては模擬授業・校舎見学の際に小グループ編成を行っているため教員や在学生との距離が近くアットホームな雰囲気中で体験することができ満足度が非常に高い。そのため、来校者に対する受験者の比率も高く、本学の作業療学科の過去3年間の平均は約53%（高校3年生）と高い水準であることがわかる【資料20】。このことから、本学が設置されれば本学へ興味・関心を持っている学生に対して、オープンキャンパスへ参加を促すことで、本学の実績から受験意向へ推移させることは可能だと考える。また、オープンキャンパスへの参加に至るまでの取り組みとしても、高校などで実施する「進学ガイダンス」等に参加することで本学の認知度を高める。さらに、本学だけの取り組みに偏らず、茨城県作業療法士協会や茨城県リハビリテーション専門職協会などの職能団体とも協力し、作業療法士の職業理解を推進していく。また、中長期的な視点からも、既設専門学校でも取り組んでいる、中学生への「職業理解ガイダンス」を土浦市にとどま

らず、今回のアンケート調査を依頼した専門職大学通学圏域を対象に行っていく。

【資料 5】 高校卒業後の進学や就職に関する調査（速報）

【資料 8】 茨城県出身入学者の県外への流出状況

【資料 18】 競合校との学費比較

【資料 19】 作業療法学科進学希望または、検討中の学生が保健衛生学を希望する高校生の割合（アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書より）

【資料 20】 オープンキャンパス参加者の出願率（理学療法士・作業療法士）

（2） 人材需要の動向等社会の要請

① 社会的・地域的な人材需要の動向

茨城県が策定した第 7 次茨城県保健医療計画によると、平成 28 年 10 月現在、理学療法士 1,391 人、作業療法士 799 人となっている。人口 10 万対比では、理学療法士 47.9 人（全国 58.5 人）、作業療法士 27.5 人（全国 34.6 人）といずれも全国平均を大きく下回っている。養成施設数は、平成 29 年 4 月現在、理学療法士が 5 施設・入学定員 210 人、作業療法士が 2 施設・入学定員 80 人となっている。高齢化の進行に伴い、寝たきり者等の増加や介護予防等の必要性の高まりから、施設や在宅で行うリハビリテーションへの需要が増加してきており、理学療法士・作業療法士の適正な配置や資質の向上等、人材確保が課題となっている。

また、茨城県地域リハビリテーション支援センターが作成した、平成 29 年度理学療法士県別会員数増加率と県別人口 10 万対比ランキングによると、平成 29 年 4 月現在、県別会員数増加率順位は 32 位、平成 29 年度理学療法士会員数 1,923 人（前年比較 40 人増）、増加率 2.28%（全国 3.1%）、人口 10 万対比ランキングは 37 位、人口 10 万対比 65.9 人（全国 90.5 人）と全国平均を下回っており、人材確保の課題が続いている【資料 21】。平成 29 年度作業療法士県別会員数増加率と県別人口 10 万対比ランキングによると、平成 29 年 4 月現在、県別会員数増加率順位は 29 位、平成 29 年度作業療法士会員数 1,053 人（前年比較 44 人増）、増加率 4.45%（全国 5.4%）、人口 10 万対比ランキングは 38 位、人口 10 万対比 36.1 人（全国 52.8 人）と全国平均を下回っており、人材確保の課題が続いている【資料 22】。

さらに、既設のアール医療福祉専門学校の求人状況について、過去 4 年間の求人倍率をみると 100 倍を超える求人倍率が続いている。理学療法学科において過去 4 年間の平均求人倍率は、156.8 倍である。作業療法学科において過去 4 年間の平均求人倍率は、235.5 倍である。この傾向は今後も継続するものと考えられる【資料 23】。

【資料 21】 平成 29 年度理学療法士県別会員数増加率と県別人口 10 万対比ランキング

【資料 22】 平成 29 年度作業療法士県別会員数増加率と県別人口 10 万対比ランキング

【資料 23】 アール医療福祉専門学校に対する求人状況

② 地域からの要望

ア 茨城県知事からの設置に関する書類

茨城県は、今後急速な高齢化が見込まれる中、住み慣れた地域で、いつまでも生き生きと安心して自分らしい暮らしを続けるという県民の願いを実現するため、高度急性期から在宅医療、介

護サービスまで住民ニーズの変化に適切に対応した医療・介護の提供体制の構築を図っている。特に、リハビリテーション専門職については、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を見据えた介護予防等の必要性の高まりから、施設や在宅で行うリハビリテーションへの需要が増加している。しかしながら、茨城県の理学療法士及び作業療法士は人口 10 万対数で全国平均を下回っている状況であり、人材の確保と専門職の実践力の向上は、県民の生き生きと安心した暮らしの実現に向けて必要不可欠である。茨城県にとって学校法人筑波学園が高度な実践力と豊かな創造力を育む専門職大学を設置し、専門業務を牽引する人材を地域に輩出することは茨城県が進める医療福祉政策に大きく貢献するものと考えていることから、茨城県知事より令和 2 年 7 月 28 日付で、文部科学大臣あてにアール医療専門職大学の設置についての認可に対する書類が提出される【資料 24】。

【資料 24】茨城県知事からの設置に関する書類

イ 土浦市長からの要望書

これまでアール医療福祉専門学校は、療育分野への指導者の派遣や実習の受け入れ、介護予防分野への会議の出席、地域在住の高齢者に対する介護予防調査の取組等、土浦市と連携を図りながら、療育事業及び介護予防事業等を進めており、また、土浦市の大規模なイベントにおいて、多くの教員及び学生がボランティアとして参加し、地域の方々と積極的にふれあい、地域に根差した活動を進めている。

土浦市は近年、少子高齢化の進行、価値観の多様化を背景として、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、子ども・高齢者・障害者等全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高めあうことができる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが求められている。そのような中、障害のある子どもなどが地域で生活するためには、相談窓口等の支援体制の充実や学校内でのサポート等のニーズが高くなっている。また、長い高齢期をいきいきと過ごすためには、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らすことが重要である。加齢に伴う心身機能の低下は避けられないが、可能な限り健康寿命を延伸すること、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる支援やサービス体制の充実等が必要と考える。特に高齢期においては、市民ができる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく、包括的に確保されるよう、地域包括ケアシステムの実現に向け必要な取り組みを進めている。そのような中で専門知識と技術を身に付けたリハビリテーション専門職は、多職種連携や地域住民等との協働により、地域をサポートする人材として非常に重要な役割を担っている。土浦市が地域包括ケアシステムの取組を展開するにあたっては、安定的な福祉医療人材の確保が課題となっており、そのような背景から土浦市長より令和 2 年 5 月 27 日付で、文部科学大臣あてにアール医療専門職大学の理学療法学科及び作業療法学科の設置認可に対する要望書が提出される【資料 25】。

【資料 25】土浦市長からの要望書

ウ 行方市長からの要望書

全国的に少子高齢化が年々進行する中、行方市における高齢化の進行は著しく、高齢者人口は

11,860 人、高齢化率は 34.7%(令和 2 年 3 月末現在)と、国の水準を上回っており、2025 年には 40%とに達すると見込まれ、人口面における構造変化は個人や家庭のライフスタイルにも変化をもたらしており、核家族化や高齢者のみの世帯の増加に伴う家族介護力の低下が懸念されている。そのため、行方市ではこれまで以上に地域マネジメント力の向上に努め、市が一方的にサービスを提供するのではなく、地域の生活者である住民が生活を送るうえで直結する様々な問題を自らの力や地域との協働の下に解決できるまちづくりを進めて行く必要がある現状を踏まえ、行方市では地域包括ケアシステムの充実を目指して、アール医療福祉専門学校と連携を図り、介護予防分野における会合、高齢者に対する介護予防教室の運営、介護予防に関する調査等を進めている。しかしながら、山積する高齢者支援に係る課題に対し、リハビリテーションの機会が不足し、自助グループの掘り起こしなどが進みにくく、高齢者の健康寿命延伸に向けた適切な支援を十分に提供できない状況にある。現在の介護保険領域におけるリハビリテーションの重要性は高く、今後は介護予防をはじめライフステージに合わせた継続的なリハビリテーションの提供や誰もが自分らしい暮らしを送ることができるよう、地域を含めた総合的な支援を行うことのできるリハビリテーションの専門職が必要となってくる。よって行方市が目指す地域包括ケアシステムの更なる充実に向け、地域課題に対応できる高度な医療専門職の育成と地域への排出を求めることから、行方市長より令和 2 年 9 月に文部科学大臣あてにアール医療専門職大学の理学療法学科及び作業療法学科の設置についての要望書が提出される【資料 26】。

【資料 26】行方市長からの要望書

エ 公益社団法人茨城県理学療法士会長からの要望書

慢性的な医師不足が深刻化している茨城県でも平成 30 年 2 月に「茨城県医師不足緊急対策行動宣言」が発出されるなど喫緊の問題である。しかし、慢性的な医師不足の解消は短期間で解決できるものではない。目前に迫った 2025 年問題では、病院やクリニックの運営、勤務医の労働環境は、さらに苛酷になっていくとの予想もされている。またその後迎える多死社会では、最期まで尊厳を尊重した生き方に着目した医療が重要となる。このような社会状況の中で、タスクシフティングによる多職種参加型のチーム医療が注目を集めている。タスクシフティングは医師の働き方改革を取り巻く議論の中で聞かれるようになった言葉であり、ある職種がこれまで担ってきた業務の一部を他の職種へ委譲することを指すが、重要なのは他職種の役割を拡大し、それら職種が専門性をさらに高めていくことで労働力の増大と質の担保に努めることにある。

アール医療福祉専門学校が専門職大学への移行を強く望んでいるが、まさにこの時代を反映する決断ではないかと思われる。アール医療福祉専門学校は開校以来多くの理学療法士・作業療法士を輩出してきた。しかし、そのような場で活躍するには高度な専門的知識と経験が必要となる。例えば訪問リハビリテーションの場では自らが利用者の状況を判断しなければならない。介護予防や学校保健の場では「医師の指示のもと」ではなく「自らの判断のもと」動かなくてはならない。これまで理学療法士・作業療法士は昭和 40 年に制定された「理学療法士及び作業療法士法」のもと医師の指示なしではその業務ができなかった。しかし、現在は介護予防等一部の場で医師の指示なくその業務が行えるようになってきている。タスクシフティングを考えると、今後増加するであろう看取りの場での関わり、要介護状態から看取りの間で尊厳を守るためのリハビリテーションなどこれまでにない専門性が必要となってくる。また明日の日本を担う子供たちの身体・

精神の保健も重要となる。そのような中で、これらに特化した専門性の高い理学療法士・作業療法士養成のための専門職大学が設置されることは、茨城県民ならず、国民のためにも大変有益なものと思われる。そのような背景から茨城県理学療法士会会長より令和2年7月20日付で文部科学大臣あてにアール医療専門職大学の理学療学科ならびに作業療学科の設置認可に対する要望書が提出される【資料27】。

【資料27】公益社団法人茨城県理学療法士会会長からの要望書

オ 公益社団法人茨城県作業療法士会会長からの要望書

2025年にその完成年度が迫っている「地域包括ケアシステム」も、残すところ5年を切り、すべての国民が住み慣れた街そして地域で、その人らしく暮らし続けていくために、自助・互助の仕組みを一層強化していくことが、不可避であるといえる。この体制を完遂するためには、さらなる医療・介護・予防、そして生活支援の拡充が急務であり、そのなかでも、作業療法士の果たすべき役割は、非常に大きな期待とともに、日々高まっている。しかし、茨城県にあっては医療・介護における提供体制が非常に乏しいのが実情であり、常に各病院・施設、そして地域から人材拡充の要望が挙がっている。まさに2025年以降の社会基盤を想定したとき、現状以上に作業療法士に求められる必要性は多様化することは歴然であり、そのニーズに見合った作業療法士の養成は、一刻も早く進めなければならない課題の一つであるといえる。こうした県内状況を鑑みただ中で、アール医療専門職大学の開設は、茨城県における地域医療の担い手を育成するという重要なミッションを達成するためには決して避けられないものと考えている。そのような背景から茨城県作業療法士会会長より令和2年5月付で文部科学大臣あてにアール医療専門職大学の設置認可に対する要望書が提出される【資料28】。

【資料28】公益社団法人茨城県作業療法士会会長からの要望書

③ 第三者機関による事業所アンケート調査

本学への人材需要は、社会的・地域的な人材需要の動向、既設専門学校の求人状況及び地域からの要望等により、十分な人材需要が見込めるものと判断しているが、客観的かつ計量的な数値から確認することを目的として、事業所アンケート調査を実施した【資料29】。

○アンケート調査の目的

学校法人筑波学園では、令和4年4月にアール医療専門職大学（仮称）の開学を目指し、茨城県及び近県所在の病院・施設等に、卒業生の採用意向のアンケート調査を実施した。

○実施アンケート

「アール医療専門職大学（仮称）の卒業生に対する事業所の採用意向調査」（病院・施設対象）

○調査対象

茨城県及び近県所在（千葉県、栃木県、東京都、神奈川県、福島県、山形県、岐阜県等）の病院・施設等を選定し、アンケート調査の実施依頼を行った。

○調査実施

令和2年7月～8月に調査を実施した。

○調査方法

事業所アンケート調査票の配布を学校法人が行い、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

○回収状況

事業所アンケート：回収件数 199 件

回収率 52.8%（回収件数 199 件／依頼件数 377 件×100）

○卒業生に対する採用意向調査結果

【問1：事業所の業種】

回答事業所（199 事業所）の施設種別について、「病院」が 103 事業所（51.8%）と最も多く半数を占めた。次いで「介護老人保健施設」が 55 事業所（27.6%）、「診療・クリニック」が 15 事業所（7.5%）、「障がい者支援（児）関連施設」が 11 事業所（5.5%）の内訳であった。

【問2：事業所の所在地】

回答事業所（199 施設）の所在地について、大学が立地予定の「茨城県」が 177 事業所（88.9%）と最も多く約 9 割を占めた。次いで「千葉県」が 8 事業所（4.0%）、「福島県」が 4 事業所（2.0%）の内訳であった。

【問3：過去3年間の採用活動実績】（平均採用人数を記載）

事業所における①理学療法士、②作業療法士それぞれの過去3年間の採用実績について、平均人数を把握した。

①理学療法士の採用実績

「1 人」と回答した事業所が 64 事業所（32.2%）で最も多く、「2 人」が 24 事業所（12.1%）、次いで「3 人」が 20 事業所（10.1%）、「6～10 人」が 9 事業所（5.0%）と続いている。

②作業療法士の採用実績

「1 人」と回答した事業所が 68 事業所（34.2%）で最も多く、「3 人」が 19 事業所（9.5%）、「2 人」が 18 事業所（9.0%）、「0.3～0.5 人」が 17 事業所（8.5%）と続いている。

【問4：養成する人材像に対する事業所の考える社会的ニーズ】

アール医療専門職大学（仮称）の養成する人材像を示したうえで、各事業所の考える社会的ニーズについての設問に対して「ニーズはある程度高い」と回答した事業所は、116 事業所（58.3%）で、「ニーズは極めて高い」と回答した事業所は 53 事業所（26.6%）であった。

【 問 5：リハビリテーション学部の卒業生の採用意向 】

回答事業所（199 事業所）に対し、現時点においてアール医療専門職大学の卒業生に対する採用意向を①理学療法学科、②作業療法学科それぞれについて確認した。

①理学療法学科の卒業生に対する採用意向

回答事業所のうち、「採用したい」が 61 事業所（30.7%）、「採用を検討したい」が 86 事業所（43.2%）であった。

②作業療法学科の卒業生に対する採用意向

回答事業所のうち、「採用したい」が 73 事業所（36.7%）、「採用を検討したい」が 80 事業所（40.2）であった。

【 問 6 は、問 5 で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を回答した理学療法学科 147 施設及び作業療法学科 153 施設に対する設問 】

【 問 6：リハビリテーション学部の採用想定人数 】

複数人数の採用を検討し、回答した事業所について、理学療法学科・作業療法学科の選択肢ごとの採用想定人数を計算し、リハビリテーション学部①理学療法学科および②作業療法学科それぞれの卒業生の 1 年間あたりの人材需要の総数を把握した。

①理学療法学科の採用想定人数

採用想定人数の総数は 186 名と計算され、理学療法学科の入学定員（40 人）の 4.7 倍となり、入学定員を大きく上回る結果となった。卒業生の進路は、十分に確保できるものとする。

②作業療法士の採用想定人数

採用想定人数の総数は 212 人と計算され、作業療法学科の入学定員（40 人）の 5.3 倍となり、入学定員を大きく上回る結果となった。卒業生の進路は、十分に確保できるものとする。

【 アンケート調査のまとめ】

問 4 の「構想中のアール医療専門職大学（仮称）が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。」の問いに対して、「1 ニーズは極めて高い」・「2 ニーズはある程度高い」と回答した件数は、199 件中 169 件 84.9%と高い数値になった。

問 5 の「貴施設ではアール医療専門職大学（仮称）リハビリテーション学部の卒業生の採用を考えますか。」の問いに対して、「1 採用したい」・「2 採用を検討したい」と回答した件数は、理学療法学科において 199 件中 147 件 73.9%と高い数値になり、作業療法学科においても 199 件中 153 件 76.9%と高い数値になった。

問 6 の【問 5 で「1 採用したい」・「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。貴施設ではリハビリテーション学部の卒業生を毎年何人程度採用したいと考えますか。】の問いに対して、「11 人から 55 人以上・不明」と回答した件数は、理学療法学科において 147 件と高い数値になり、作業療法学科においても 153 件と高い数値になった。

以上の結果により、養成する人材のニーズ及び安定した人材需要があることも伺え、卒業後

の進路は十分に見通しがあるものと考えられる。

問4 構想中のアール医療専門職大学（仮称）が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。

	件数	%
1 ニーズは極めて高い	53	26.6
2 ニーズはある程度高い	116	58.3
3 ニーズはあまりない	6	3.0
4 わからない	24	12.1
不明	0	0.0
N (%ベース)	199	100.0

問5 貴施設ではアール医療専門職大学（仮称）リハビリテーション学部の卒業生の採用を考えますか。

	理学療法学科		作業療法学科	
	件数	%	件数	%
1 採用したい	61	30.7	73	36.7
2 採用を検討したい	86	43.2	80	40.2
3 採用は考えない	48	24.1	40	20.1
不明	4	2.0	6	3.0
N (%ベース)	199	100.0	199	100.0

問6 問5で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。
貴施設ではリハビリテーション学部の卒業生を毎年何人程度採用したいと考えますか。

	理学療法学科		作業療法学科	
	件数	%	件数	%
1 1人	112	76.2	112	73.2
2 2人	24	16.3	22	14.4
3 3人	4	2.7	10	6.5
4 4人	1	0.7	2	1.3
5 5人以上	2	1.4	3	2.0
不明	4	2.7	4	2.6
N (%ベース)	147	100.0	153	100.0

（「5人以上具体的な人数」）

理学療法学科	作業療法学科
—	8人

【資料 29】アール医療専門職大学（仮称）の卒業生に対する採用意向調査報告書

資 料 目 次

- 【資料 1】アール医療福祉専門学校の定員充足率及び卒業者数
- 【資料 2】茨城県の 18 歳人口予測
- 【資料 3】茨城県の高校卒業者数・大学進学者数・大学進学率・大学残留率の推移
- 【資料 4】学部系統別の動向 過去 5 カ年の推移（大学）
主な学部別の志願者・入学者動向（大学）
- 【資料 5】高校卒業後の進学や就職に関する調査（速報）
- 【資料 6】アール医療福祉専門学校入学者に占める茨城県外出身者の状況
- 【資料 7】既設の競合校の入試の状況
- 【資料 8】茨城県出身入学者の県外への流出状況
- 【資料 9】既設の競合校の国家試験状況
- 【資料 10】アール医療福祉専門学校入試等における社会人の状況（過去 5 年間）
- 【資料 11】アール医療福祉専門学校における社会人の入学者の状況（過去 5 年間）
- 【資料 12-1】アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書
- 【資料 12-2】アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書（追加実施分統合版）
- 【資料 12-3】R3.4 月～5 月実施アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書(R3.06)
- 【資料 13】アール医療福祉専門学校の定員充足状況
- 【資料 14】アール医療福祉専門学校のオープンキャンパス実施状況
- 【資料 15】アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況（理学療法学科）
- 【資料 16】アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況（作業療法学科）
- 【資料 17】アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況（介護福祉学科）
- 【資料 18】競合校との学費比較

- 【資料 19】 作業療法学科進学希望または、検討中の学生が保健衛生学を希望する高校生の割合（アール医療専門職大学（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告書より）
- 【資料 20】 オープンキャンパス参加者の出願率（理学療法士・作業療法士）
- 【資料 21】 平成 29 年度理学療法士県別会員数増加率と県別人口 10 万対比ランキング
- 【資料 22】 平成 29 年度作業療法士県別会員数増加率と県別人口 10 万対比ランキング
- 【資料 23】 アール医療福祉専門学校に対する求人状況
- 【資料 24】 茨城県知事からの設置に関する書類
- 【資料 25】 土浦市長からの要望書
- 【資料 26】 行方市長からの要望書
- 【資料 27】 公益社団法人茨城県理学療法士会長からの要望書
- 【資料 28】 公益社団法人茨城県作業療法士会長からの要望書
- 【資料 29】 アール医療専門職大学（仮称）の卒業生に対する採用意向調査報告書

アール医療福祉専門学校の定員充足率及び卒業生数

1 理学療法学科

(単位:人)

区 分 入学年月(卒業年)		受験者	合格者	入学者	入学 定員	定員 充足率	国家試験				
				a	b	a/b	卒業者 g	受験者 c	合格者 d	合格率 d/c	全国 平均
令和2年4月 (令和6年卒)	1年	77	44	44	40	1.10					
平成31年4月 (令和5年卒)	2年	46	42	41	40	1.03					
平成30年4月 (令和4年卒)	3年	49	45	42	40	1.05					
平成29年4月 (令和3年卒)	4年	45	44	39	40	0.98					
平成28年4月 (令和2年卒)	16期生	45	44	35	40	0.88	27	26	25	96.2%	93.2%
平成27年4月 (令和元年卒)	15期生	41	39	32	40	0.80	34	29	27	93.1%	92.8%
平成26年4月 (平成30年卒)	14期生	67	47	44	40	1.10	21	16	13	81.3%	87.7%
平成25年4月 (平成29年卒)	13期生	67	42	41	40	1.03	33	25	24	96.0%	96.3%
平成24年4月 (平成28年卒)	12期生	69	47	40	40	1.00	36	36	32	88.9%	82.0%
平成23年4月 (平成27年卒)	11期生	75	46	40	40	1.00	34	31	25	80.6%	89.1%
平成22年4月 (平成26年卒)	10期生	80	47	45	40	1.13	33	28	21	75.0%	90.2%
平成21年4月 (平成25年卒)	9期生	61	43	40	40	1.00	27	26	20	76.9%	88.7%
平成20年4月 (平成24年卒)	8期生	80	48	44	40	1.10	31	28	22	78.6%	82.4%
平成19年4月 (平成23年卒)	7期生	123	51	41	40	1.03	32	32	19	59.4%	74.3%
平成18年4月 (平成22年卒)	6期生	149	45	44	40	1.10	36	34	34	100.0%	92.6%
平成17年4月 (平成21年卒)	5期生	154	53	48	40	1.20	40	40	39	97.5%	90.9%
平成16年4月 (平成20年卒)	4期生	173	58	47	40	1.18	42	42	37	88.1%	86.6%
平成15年4月 (平成19年卒)	3期生	210	53	46	40	1.15	41	41	35	85.4%	93.2%
平成14年4月 (平成18年卒)	2期生	201	57	42	40	1.05	37	37	35	94.6%	97.5%
平成13年4月 (平成17年卒)	1期生	242	51	44	40	1.10	31	31	30	96.8%	94.9%
合 計		2,054	946	839	800	1.05	535	476	413	86.8%	

出典:「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。

2 作業療法学科

(単位:人)

区 分 入学年月(卒業年)		受験者	合格者	入学者	入学 定員	定員 充足率	国家試験				
				a	b	a/b	卒業者 g	受験者 c	合格者 d	合格率 d/c	全国 平均
令和2年4月 (令和6年卒)	1年	53	48	44	40	1.10					
平成31年4月 (令和5年卒)	1年	33	30	27	40	0.68					
平成30年4月 (令和4年卒)	2年	27	27	25	40	0.63					
平成29年4月 (令和3年卒)	3年	22	21	19	40	0.48					
平成28年4月 (令和2年卒)	4年	28	22	20	40	0.50	12	12	12	100.0%	94.2%
平成27年4月 (令和元年卒)	15期生	26	22	21	40	0.53	22	17	16	94.1%	80.0%
平成26年4月 (平成30年卒)	14期生	32	29	29	40	0.73	13	13	11	84.6%	83.9%
平成25年4月 (平成29年卒)	13期生	41	40	34	40	0.85	23	22	17	77.3%	90.5%
平成24年4月 (平成28年卒)	12期生	30	29	25	40	0.63	20	19	19	100.0%	94.1%
平成23年4月 (平成27年卒)	11期生	39	38	31	40	0.78	15	12	8	66.7%	85.5%
平成22年4月 (平成26年卒)	10期生	43	39	37	40	0.93	12	11	10	90.9%	94.2%
平成21年4月 (平成25年卒)	9期生	35	33	30	40	0.75	22	22	21	95.5%	77.3%
平成20年4月 (平成24年卒)	8期生	53	43	34	40	0.85	21	15	14	93.3%	79.7%
平成19年4月 (平成23年卒)	7期生	63	45	36	40	0.90	20	20	15	75.0%	71.0%
平成18年4月 (平成22年卒)	6期生	90	46	44	40	1.10	36	35	34	97.1%	82.2%
平成17年4月 (平成21年卒)	5期生	98	46	42	40	1.05	29	27	26	96.3%	81.0%
平成16年4月 (平成20年卒)	4期生	78	54	44	40	1.10	26	26	22	80.8%	73.6%
平成15年4月 (平成19年卒)	3期生	88	53	45	40	1.13	41	40	34	85.0%	85.8%
平成14年4月 (平成18年卒)	2期生	84	48	42	40	1.05	19	19	19	100.0%	91.5%
平成13年4月 (平成17年卒)	1期生	88	50	40	40	1.00	18	18	17	94.4%	88.4%
合 計		1,051	763	669	800	0.84	349	299	267	89.3%	

出典:「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。

茨城県の18歳人口予測

(単位：人、%)

都道府県/年度		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度
茨城県	人数	28,655	28,290	28,067	27,042	26,986	26,307	25,039	25,691	25,297	25,113	24,912	24,218	23,797
	割合	100.0	98.7	97.9	94.4	94.2	91.8	87.4	89.7	88.3	87.6	86.9	84.5	83.0

全国	人数	1,179,808	1,174,801	1,167,348	1,136,822	1,120,783	1,096,654	1,061,763	1,091,093	1,092,747	1,084,391	1,068,454	1,066,320	1,048,183
	割合	100.0	99.6	98.9	96.4	95.0	93.0	90.0	92.5	92.6	91.9	90.6	90.4	88.8

出典：リクルート進学総研Webサイト「18歳人口予測（全体：北関東：2018～2030年）」より実数を抜粋して作成。

茨城県の高卒業者数・大学進学者数・大学進学率・大学残留率の推移

(単位：人)

都道府県/年度		平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
茨城県	卒業者数	27,322	26,317	26,478	26,269	25,934	26,278	25,206	25,864	25,763	25,569
	大学 進学者数	12,573	12,533	12,669	12,345	12,246	12,058	11,736	12,076	12,236	12,146
	大学 進学率	46.0	47.6	47.8	47.0	47.4	45.9	46.6	46.7	47.5	47.5
	大学 残留率	19.0	18.7	19.3	19.4	19.9	19.8	19.4	20.0	19.1	20.0

出典：リクルート進学総研Webサイト「18歳人口予測（全体：北関東：2018～2030年）」より実数を抜粋して作成。

学部系統別の動向 過去5カ年の推移（大学）

系統/年度		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
保健系	学部数	192	198	209	220	237
	志願倍率	5.88	5.67	5.48	5.40	5.26
	充足率	107.61	104.14	102.16	101.06	100.83

主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

平成31年度

学部名		保健医療学部	リハビリテーション学部	医療保健学部	保健科学部	合 計
区分	集計学部数	34	13	8	6	61
	入学定員	6,460	1,545	1,770	1,175	10,950
	志願者数	28,502	6,817	8,618	5,041	48,978
	志願倍率	4.41	4.41	4.87	4.29	4.47
	入学者数	6,636	1,542	1,767	1,227	11,172
	充足率	102.72%	99.81%	99.83%	104.43%	102.03%

出典：日本私立学校振興・共済事業団「平成31年度私立大学・短期大学等入学志願動向一学部系統別の動向過去5カ年の推移（大学）」より実数を抜粋して作成。

高校卒業後の進学や就職に関する調査（速報版）

1. 調査概要

調査対象	県内5地域で県外進学率の高い県立高等学校19校に在学する3年生 ※各地域の調査対象が1,000人程度になるよう各地域で上位3～4校を選定
調査期間	平成27年6月26日～7月6日
実施方法	インターネットアンケート
回答数	1,195名

2. 調査結果

（1）希望する進学場所 ～『県外』が約5割で、県外のうち『東京圏』が約8割～

- 希望する進学場所は「県外」が52.6%で最も多く、次いで、「県内」が25.0%、「どちらでもよい」が22.4%であった。
- 「県外」のうち、希望する地域は、「東京圏」が79.8%であった。

図1 希望する進学場所

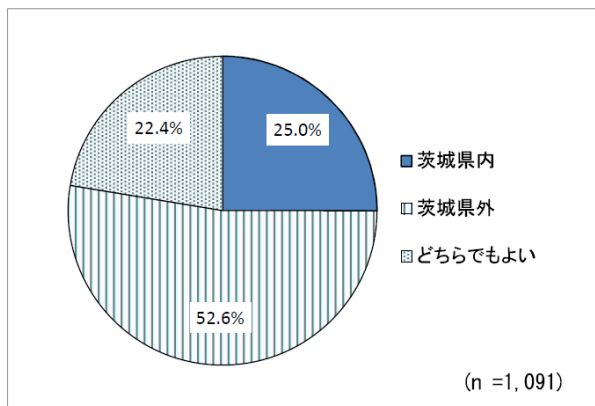
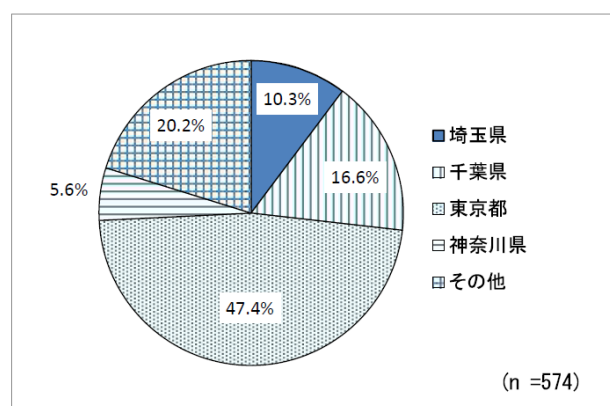


図2 県外進学希望者が希望する都道府県

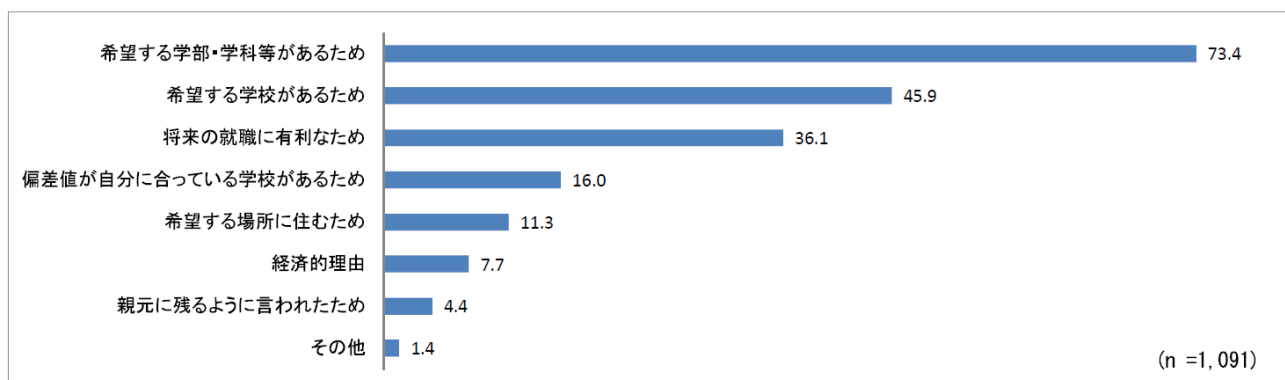


（2）希望する進学場所を選んだ理由

～『希望する学部・学科等があるため』が約7割～

- 希望する進学場所を選んだ理由は、「希望する学部・学科等があるため」が73.4%で最も多く、次いで、「希望する学校があるため」が45.9%、「将来の就職に有利なため」が36.1%となった。

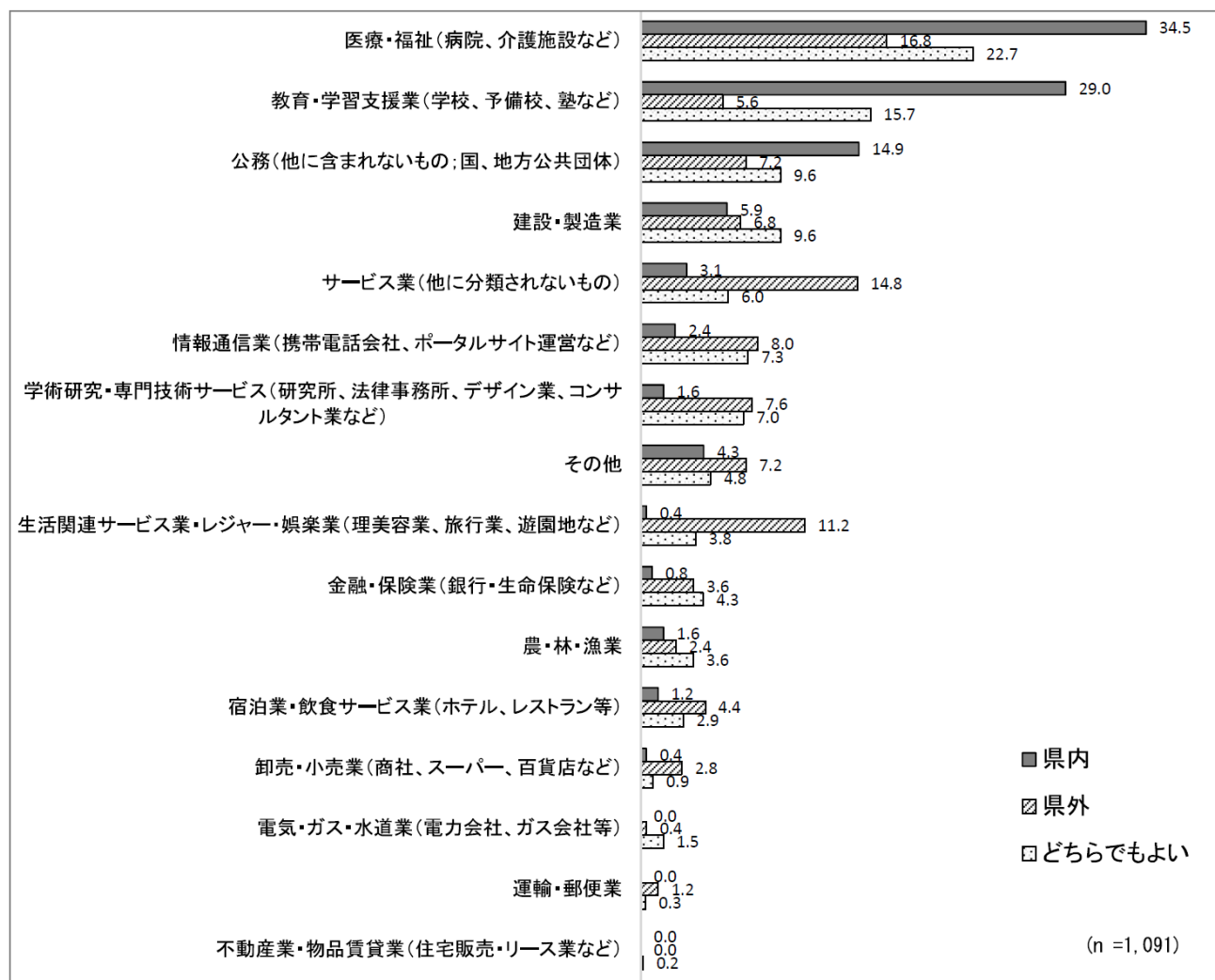
図3 希望する進学場所を選んだ理由（3つ選択）



③ 就職場所の希望別

- 「県外」を希望した者は、「県内」を希望した者に比べ、「サービス連サービス業・レジャー・娯楽業」の割合が高かった。
- 「県内」を希望する者は、「県外」を希望した者に比べ、「医療・福祉」や「教育・学習支援事業」、「公務」の割合が高かった。

図 8-3 将来どのような業種で働きたいか（就職場所の希望別）



アール医療福祉専門学校入学者に占める茨城県外出身者の状況

(単位：人)

学科名/入学年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
理学療法学科	入学者	35	39	42	41	44	201
	茨城県内	35	36	37	39	41	188
	茨城県外	0	3	5	2	3	13
	県外比率	0.00	0.08	0.12	0.05	0.07	0.06
作業療法学科	入学者	20	19	25	27	44	135
	茨城県内	18	18	25	27	39	127
	茨城県外	2	1	0	0	5	8
	県外比率	0.10	0.05	0.00	0.00	0.11	0.06

出典：「学校基本調査 学校調査票（専修学校）」より実数を抜粋して作成。

既設の競合校の入試の状況

理学療法学科

(単位：人)

大学名	学部	所在地	入学 定員 a	平成29年度				平成30年度				令和元年度				合計			
				受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a	合格率 b/c	受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a	合格率 b/c	受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a	合格率 b/c	受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a*3	合格率 b/c
茨城県立医療大学	保健医療学部	茨城県稲敷郡阿見町	40	176	44	4.4	3.2	96	43	2.4	4.0	145	41	3.6	2.2	417	128	3.4	3.3
つくば国際大学	医療保健学部	茨城県土浦市	80	164	111	2.1	1.4	144	111	1.8	1.5	168	132	2.1	1.3	476	354	1.9	1.3
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	千葉県市原市	80	330	145	4.1	2.4	355	133	4.4	2.3	309	155	3.9	2.7	994	433	4.4	2.3
目白大学	保健医療学部	埼玉県さいたま市	85	459	222	5.4	2.2	357	221	4.2	2.1	336	243	4.0	1.6	1,152	686	5.4	1.7
合 計			285	1,129	522	4.0	2.2	952	508	3.3	1.9	958	571	3.4	1.7	3,039	1,601	3.9	1.9

作業療法学科

(単位：人)

大学名	学部	所在地	入学 定員 a	平成29年度				平成30年度				令和元年度				合計			
				受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a	合格率 b/c	受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a	合格率 b/c	受験者数 b	合格者数 c	受験率 b/a	合格率 b/c	受験者数	合格者数	受験率	合格率
茨城県立医療大学	保健医療学部	茨城県稲敷郡阿見町	40	90	42	2.3	2.2	78	41	2.0	2.1	180	42	4.5	1.9	348	125	2.2	2.8
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	千葉県市原市	40	108	56	2.7	1.6	123	69	3.1	1.9	91	49	2.3	1.8	322	174	2.7	1.9
目白大学	保健医療学部	埼玉県さいたま市	60	193	120	3.2	1.4	171	137	2.9	1.6	155	113	2.6	1.2	519	370	3.2	1.4
合 計			140	391	218	2.8	1.8	372	247	2.7	1.5	426	204	3.0	2.1	1,189	669	2.8	1.8

出典：旺文社Webサイト「大学受験パスナビ」より実数を抜粋して作成。

茨城県出身入学者の県外への流出状況

(単位：人)

学科名/入学年度		平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	合計	5年間の 平均
理学療法学科	①茨城県出身入学者（全国）	260	302	281	261	264	1,368	274
	②茨城県出身入学者（茨城県立医療大学）	19	22	20	20	21	102	20
	③茨城県出身入学者（アール医療福祉専門学校）	45	38	39	38	40	200	40
	④茨城県出身入学者（つくば国際大学、水戸メディカルカレッジ）注1	105	105	105	105	105	525	105
	⑤茨城県外への入学者 ①－（②＋③＋④）	91	137	117	98	98	541	109
	県外への流出率 ⑤/①	35.0%	45.4%	41.6%	37.5%	37.1%	39.5%	39.8%
作業療法学科	①茨城県出身入学者（全国）	97	110	113	126	112	558	112
	②茨城県出身入学者（茨城県立医療大学）	20	23	24	25	27	119	24
	③茨城県出身入学者（アール医療福祉専門学校）	36	30	25	33	27	151	30
	④茨城県外への入学者 ①－（②＋③）	41	57	64	68	58	288	58
	県外への流出率 ④/①	42.3%	51.8%	56.6%	54.0%	51.8%	51.6%	51.8%

出典：茨城県地域リハビリテーション支援センターWebサイト「茨城県出身者の学生数（全国）、茨城県出身者の学生数（茨城県立医療大学）」及びアール医療福祉専門学校の保有データより実数を抜粋して作成。

注1：理学療法学科の茨城県出身入学者（つくば国際大学、水戸メディカルカレッジ）は入学者不明のため推計値（つくば国際大学70名＋水戸メディカルカレッジ35名 合計105名）。つくば国際大学理学療法学科入学定員：80名。水戸メディカルカレッジ理学療法学科入学定員：40名。

既設の競合校の国家試験状況

理学療法士国家試験（理学療法学科）

（単位：人）

大学名	学部名	所在地	入学定員	第51回（平成27年度新卒者）			第52回（平成28年度新卒者）			第53回（平成29年度新卒者）			第54回（平成30年度新卒者）			合計（第51回～第54回）		
				受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
茨城県立医療大学	保健医療学部	茨城県稲敷郡阿見町	40	44	44	100.0	38	38	100.0	42	40	95.2	39	38	97.4	163	160	98.2
つくば国際大学	医療保健学部	茨城県土浦市	80	54	44	81.5	68	66	97.1	74	62	83.8	68	58	85.3	264	230	87.1
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	千葉県市原市	80	72	55	76.4	88	88	100.0	68	54	79.4	69	52	75.4	297	249	83.8
目白大学	保健医療学部	埼玉県さいたま市	85	79	69	87.3	81	74	91.4	89	83	93.3	73	69	94.5	322	295	91.6
アール医療福祉専門学校	4年課程	茨城県土浦市	40	36	32	88.9	25	24	96.0	16	13	81.3	29	27	93.1	106	96	90.6
全国新卒 総合計				10,562	8,662	82.0	10,721	10,319	96.3	11,033	9,679	87.7	10,608	9,845	92.8	42,924	38,505	89.7

作業療法士国家試験（作業療法学科）

（単位：人）

大学名	学部	所在地	入学定員	第51回（2015年度新卒者）			第52回（2016年度新卒者）			第53回（2017年度新卒者）			第54回（2018年度新卒者）			合計（第51回～第54回）		
				受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
茨城県立医療大学	保健医療学部	茨城県稲敷郡阿見町	40	33	32	97.0	44	42	95.5	35	35	100.0	39	38	97.4	151	147	97.4
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	千葉県市原市	40	26	26	100.0	53	47	88.7	63	55	87.3	58	41	70.7	200	169	84.5
目白大学	保健医療学部	埼玉県さいたま市	60	55	51	92.7	53	50	94.3	63	53	84.1	53	41	77.4	224	195	87.1
アール医療福祉専門学校	4年課程	茨城県土浦市	40	19	19	100.0	22	17	77.3	13	11	84.6	17	16	94.1	71	63	88.7
全国新卒 総合計			180	5,004	4,711	94.1	5,303	4,800	90.5	5,289	4,506	85.2	5,137	4,108	80.0	20,733	18,125	87.4

出典：「厚生労働省プレスリリース 学校別合格者状況」を用いて作成。

全国平均を上回る合格率 で表記。

アール医療福祉専門学校入試等における社会人入試の状況（過去5年間）

社会人入試

（単位：人）

学科名/入試年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
理学療法学科	オープンキャンパス 社会人参加者	10	16	6	6	13	51
	出願者	1	1	3	1	5	11
	合格者	1	1	2	0	0	4
	入学者	1	1	2	0	0	4
作業療法学科	オープンキャンパス 社会人参加者	8	6	4	14	13	45
	出願者	2	1	0	3	2	8
	合格者	1	1	0	2	2	6
	入学者	0	1	0	2	1	4

出典：「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。
 オープンキャンパス社会人参加者は、高校生・留学生以外の参加者とした。
 社会人は、社会人入試で出願・合格・入学した者とした。

アール医療福祉専門学校における社会人の入学者の状況（過去5年間）

【理学療法学科】

	社会人入学者数
平成28年	1
平成29年	3
平成30年	2
令和元年	0
令和2年	0
合計	6
平均	1.2

【作業療法学科】

	社会人入学者数
平成28年	3
平成29年	1
平成30年	0
令和元年	5
令和2年	2
合計	11
平均	2.2

※上記の人数は、本学園で行われている何れかの入試方法で受験して合格した者。

アール医療専門職大学（仮称）への
入学意向に関するアンケート調査報告書

【 高校生対象 】

令和 2 年 9 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜アンケート調査結果要旨＞	3
＜アンケート回収表＞	5
＜アンケート集計結果＞	11
○ クロス集計表（問4×問5）	22
○ 理学療法学科進学意向の高校内訳	23
○ 作業療法学科進学意向の高校内訳	25
＜アンケート調査票・リーフレット＞	27

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

本調査は、学校法人筑波学園において、令和 4 年 4 月にアール医療専門職大学（仮称）の開設を目指し、入学意向を把握することを目的とする。

2. 調査対象

茨城県、千葉県、福島県に所在する高等学校を選定し、高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。（回収表は P. 5～P. 9 参照）

3. 調査実施

令和 2 年 7 月～8 月

4. 調査方法

学校法人筑波学園が 100 校の高校を選定し、そのうちアンケート実施の承諾が得られた 57 校にアンケート調査票を郵送した。調査票の配布・回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

5. 回収状況

回収数 57 校 8,478 票（回収状況は P. 7 を参照）

回収率 57.0％（回収校数 57 校／依頼校数 100 校×100）

＜アンケート調査結果要旨＞

【問１：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、7,501 人（88.5％）が「茨城県」に居住し、以下、「千葉県」が 514 人（6.1％）、「福島県」が 275 人（3.2％）と続いている。

【問２：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 4,735 人（55.9％）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 1,785 人（21.1％）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 286 人（3.4％）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,336 人（15.8％）となっている。

問３以降は、問２で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（6,806 人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

【問３：高校卒業後の進学希望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、第１希望について、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が 1,334 人（19.6％）と最も多く、「理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が 1,289 人（18.9％）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 800 人（11.8％）と続いている。

第２希望については、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が 975 人（14.3％）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 828 人（12.2％）、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 803 人（11.8％）と続いている。

【問４：アール医療専門職大学への進学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が 117 人（1.7％）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 690 人（10.1％）の結果となった。

（問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（807 人）による設問。

【 問 5：進学を希望する学科】

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生（807 人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 586 人（72.6%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は 204 人（25.3%）となった。

【 問 4×問 5 のクロス集計表】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への進学希望と、問 5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
	上段：件数				
	下段：%				
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	807 100.0	586 72.6	204 25.3	17 2.1
	進学を希望する	117 100.0	89 76.1	20 17.1	8 6.8
	進学先の候補の一つとして 検討する	690 100.0	497 72.0	184 26.7	9 1.3

＜アンケート回収表＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 回収表

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数
			1	欠番			
7. 22	1	茨城県	2	茨城県立 竜ヶ崎第一高等学校	2377	2526	150
	1	茨城県	3	私立 茗溪学園高等学校			
8. 03	1	茨城県	4	私立 茨城高等学校	6083	6243	161
8. 11	1	茨城県	5	茨城県立 竹園高等学校	7638	7671	34
	1	茨城県	6	茨城県立 緑岡高等学校			
			7	欠番			
	1	茨城県	8	茨城県立 土浦第二高等学校			
			9	欠番			
	1	茨城県	10	茨城県立 水戸第二高等学校			
	1	茨城県	11	茨城県立 下妻第一高等学校			
7. 28	1	茨城県	12	茨城県立 水海道第一高等学校	2969	3072	104
7. 16	1	茨城県	13	茨城県立 水戸桜ノ牧高等学校	1	104	104
7. 22	1	茨城県	14	茨城県立 下館第一高等学校	2527	2717	191
8. 03	1	茨城県	15	茨城県立 日立北高等学校	6244	6356	113
	1	茨城県	16	茨城県立 藤代高等学校			
			17	欠番			
7. 21	1	茨城県	18	茨城県立 水戸第三高等学校	1967	2157	191
	1	茨城県	19	茨城県立 鉾田第一高等学校			
	1	茨城県	20	茨城県立 牛久高等学校			
7. 20	1	茨城県	21	茨城県立 土浦第三高等学校	1220	1411	192
7. 22	1	茨城県	22	私立 東洋大学附属牛久高等学校	2718	2790	73
	1	茨城県	23	茨城県立 古河第三高等学校			
7. 16	1	茨城県	24	茨城県立 水戸商業高等学校	105	300	196
			25	欠番			
	1	茨城県	26	私立 土浦日本大学中等教育学校			
	1	茨城県	27	茨城県立 下館第二高等学校			
7. 17	1	茨城県	28	茨城県立 下妻第二高等学校	1027	1219	193
7. 16	1	茨城県	29	茨城県立 石岡第一高等学校	301	489	189
7. 20	1	茨城県	30	茨城県立 取手第一高等学校	1735	1966	232
7. 16	1	茨城県	31	茨城県立 佐和高等学校	490	676	187
7. 31	1	茨城県	32	茨城県立 水海道第二高等学校	4063	4256	194
7. 16	1	茨城県	33	茨城県立 水戸工業高等学校	677	790	114
7. 29	1	茨城県	34	茨城県立 鹿島高等学校	3192	3233	42
7. 20	1	茨城県	35	私立 岩瀬日本大学高等学校	1412	1552	141
7. 29	1	茨城県	36	私立 茨城キリスト教学園高等学校	3234	3314	81
8. 20	1	茨城県	37	茨城県立 伊奈高等学校	8398	8478	81
8. 11	1	茨城県	38	茨城県立 多賀高等学校	7672	7745	74
7. 27	1	茨城県	39	茨城県立 土浦湖北高等学校	2791	2968	178
7. 31	1	茨城県	40	茨城県立 日立第二高等学校	3918	4062	145
7. 31	1	茨城県	41	私立 水城高等学校	4257	4459	203
8. 04	1	茨城県	42	茨城県立 古河第一高等学校	4792	4980	189
8. 06	1	茨城県	43	茨城県立 日立商業高等学校	5831	6026	196
8. 03	1	茨城県	44	茨城県立 麻生高等学校	6357	6550	194
7. 17	1	茨城県	45	私立 常磐大学高等学校	955	1026	72
7. 30	1	茨城県	46	茨城県立 那珂高等学校	4460	4606	147
8. 07	1	茨城県	47	茨城県立 境高等学校	7746	7753	8
7. 29	1	茨城県	48	茨城県立 取手松陽高等学校	3315	3525	211
	1	茨城県	49	私立 常総学院高等学校			
8. 06	1	茨城県	50	私立 つくば秀英高等学校	6027	6082	56
8. 03	1	茨城県	51	私立 霞ヶ浦高等学校	6551	6931	381
			52	欠番			

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数
7. 29	1	茨城県	53	茨城県立 鉾田第二高等学校	3526	3720	195
8. 11	1	茨城県	54	茨城県立 中央高等学校	7754	7948	195
8. 03	1	茨城県	55	私立 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	6932	6988	57
8. 04	1	茨城県	56	私立 鹿島学園高等学校	4981	5169	189
	1	茨城県	57	茨城県立 下館工業高等学校			
7. 30	1	茨城県	58	茨城県立 守谷高等学校	4607	4791	185
7. 21	1	茨城県	59	茨城県立 波崎柳川高等学校	2158	2268	111
7. 21	1	茨城県	60	茨城県立 石岡商業高等学校	2269	2376	108
7. 20	1	茨城県	61	茨城県立 藤代紫水高等学校	1553	1734	182
8. 04	1	茨城県	62	茨城県立 鬼怒商業高等学校	5645	5830	186
8. 03	1	茨城県	63	茨城県立 取手第二高等学校	6989	7138	150
8. 04	1	茨城県	64	茨城県立 土浦工業高等学校	5170	5321	152
	1	茨城県	65	茨城県立 東海高等学校			
8. 03	1	茨城県	66	私立 大成女子高等学校	7139	7263	125
8. 07	1	茨城県	67	茨城県立 つくば工科高等学校	7949	8086	138
8. 04	1	茨城県	68	茨城県立 石岡第二高等学校	5322	5500	179
8. 07	1	茨城県	69	私立 水戸啓明高等学校	8087	8250	164
7. 29	1	茨城県	70	私立 水戸葵陵高等学校	3721	3826	106
	1	茨城県	71	私立 明秀学園日立高等学校			
8. 04	1	茨城県	72	茨城県立 竜ヶ崎第二高等学校	5501	5644	144
7. 29	1	茨城県	73	茨城県立 岩瀬高等学校	3827	3917	91
	2	千葉県	74	千葉県立 松戸馬橋高等学校			
	2	千葉県	75	千葉県立 沼南高等学校			
	2	千葉県	76	千葉県立 流山おおたかの森高等学校			
	2	千葉県	77	千葉県立 柏中央高等学校			
8. 03	2	千葉県	78	私立 我孫子二階堂高等学校	7264	7437	174
	2	千葉県	79	私立 中央学院高等学校			
7. 20	2	千葉県	80	私立 日本体育大学柏高等学校	791	954	164
	2	千葉県	81	私立 秀明八千代高等学校			
	2	千葉県	82	柏市立 柏高等学校			
	2	千葉県	83	私立 流通経済大学付属柏高等学校			
	2	千葉県	84	千葉県立 柏の葉高等学校			
	2	千葉県	85	千葉県立 柏南高等学校			
	2	千葉県	86	千葉県立 柏陵高等学校			
			87	欠番			
			88	欠番			
			89	欠番			
			90	欠番			
			91	欠番			
			92	欠番			
8. 03	2	千葉県	93	私立 西武台千葉高等学校	7438	7637	200
	2	千葉県	94	松戸市立 松戸高等学校			
	2	千葉県	95	千葉県立 松戸高等学校			
	3	福島県	96	福島県立 湯本高等学校			
	3	福島県	97	福島県立 平商業高等学校			
	3	福島県	98	福島県立 平工業高等学校			
	3	福島県	99	福島県立 いわき光洋高等学校			
	3	福島県	100	福島県立 原町高等学校			
	3	福島県	101	私立 福島県磐城第一高等学校			
	3	福島県	102	私立 桜の聖母学院高等学校			
	3	福島県	103	私立 日本大学東北高等学校			
7. 28	3	福島県	104	福島県立 喜多方高等学校	3073	3191	119
	3	福島県	105	福島県立 いわき総合高等学校			
	3	福島県	106	私立 東日本国際大学附属昌平高等学校			

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数
	3	福島県	107	福島県立 坂下高等学校			
	3	福島県	108	私立 学校法人石川高等学校			
	3	福島県	109	福島県立 田村高等学校			
8.07	3	福島県	110	福島県立 相馬高等学校	8251	8397	147
	3	福島県	111	福島県立 遠野高等学校			
	3	福島県	112	福島県立 勿来高等学校			
計 57 校							8,478

回収率 57.0%（回収校数 57 校／依頼校数 100 校（112－欠番 12）×100）

回収状況

高校所在地	回収校数	回収票数
茨城県	52 校	7,674 票
千葉県	3 校	538 票
福島県	2 校	266 票
計	57 校	8,478 票

＜アンケート集計結果＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 集計

〔有効回答票：8,478 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

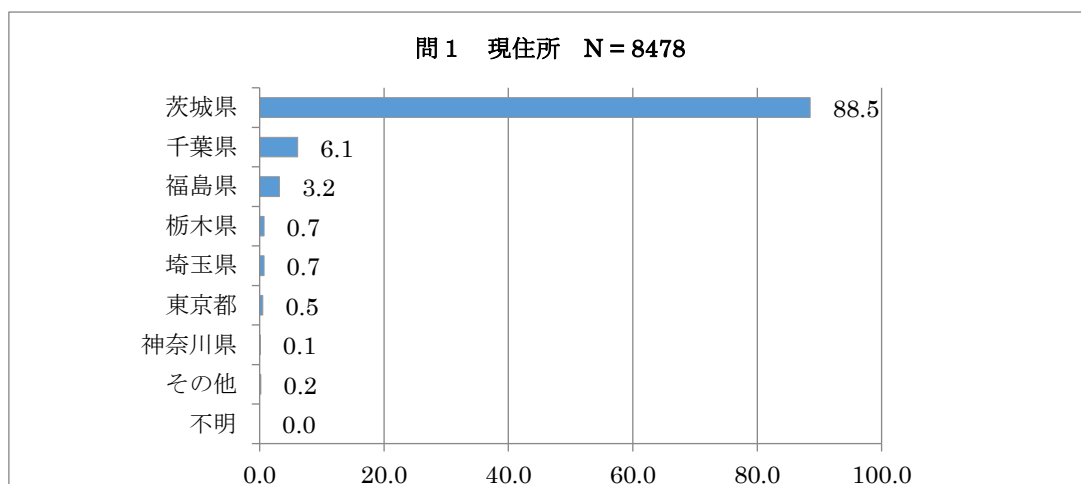
問1 あなたの現住所についておたずねします。

回答者の現住所について、7,501人（88.5%）が「茨城県」に居住し、以下、「千葉県」が514人（6.1%）、「福島県」が275人（3.2%）と続いている。

	件数	%
1 茨城県	7,501	88.5
2 千葉県	514	6.1
3 福島県	275	3.2
4 栃木県	60	0.7
5 埼玉県	63	0.7
6 東京都	40	0.5
7 神奈川県	7	0.1
8 その他	16	0.2
不明	2	0.0
N（%ベース）	8,478	100.0

（「8 その他」の回答）

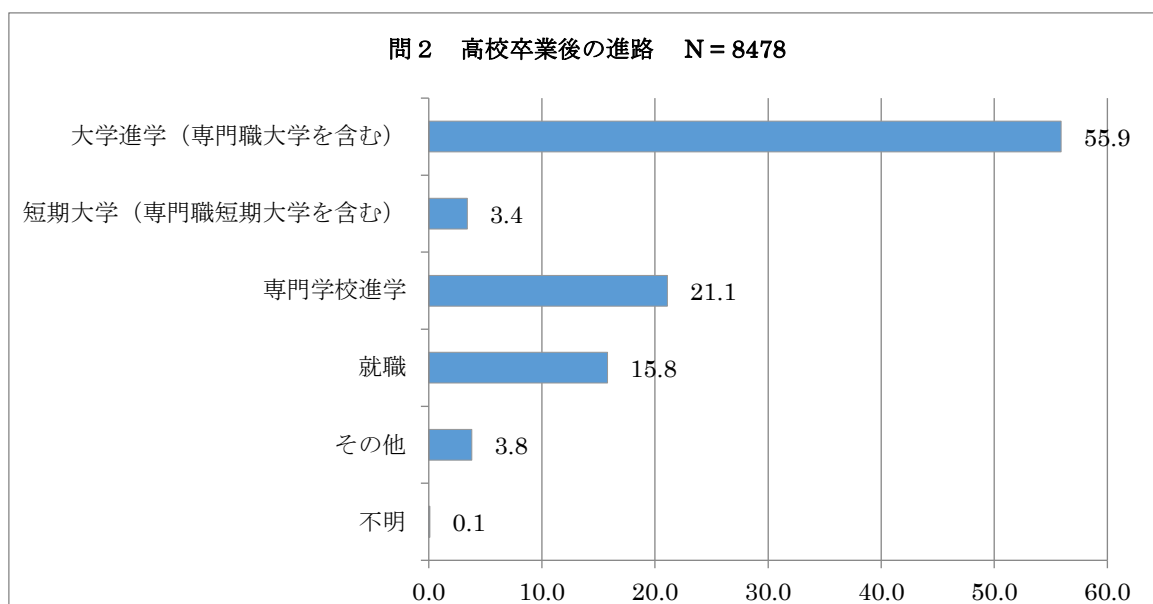
九州	長野県	群馬県
宮城県	静岡県沼津市	宮城県



問2 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 4,735 人（55.9%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 1,785 人（21.1%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 286 人（3.4%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,336 人（15.8%）となっている。

	件数	%
1 大学進学（専門職大学を含む）	4,735	55.9
2 短期大学（専門職短期大学を含む）	286	3.4
3 専門学校進学	1,785	21.1
4 就職	1,336	15.8
5 その他	326	3.8
不明	10	0.1
N（％ベース）	8,478	100.0



(問3以降は、問2で「1 大学進学(専門職大学を含む)」、「2 短期大学(専門職短期大学を含む)」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者(6,806人)による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

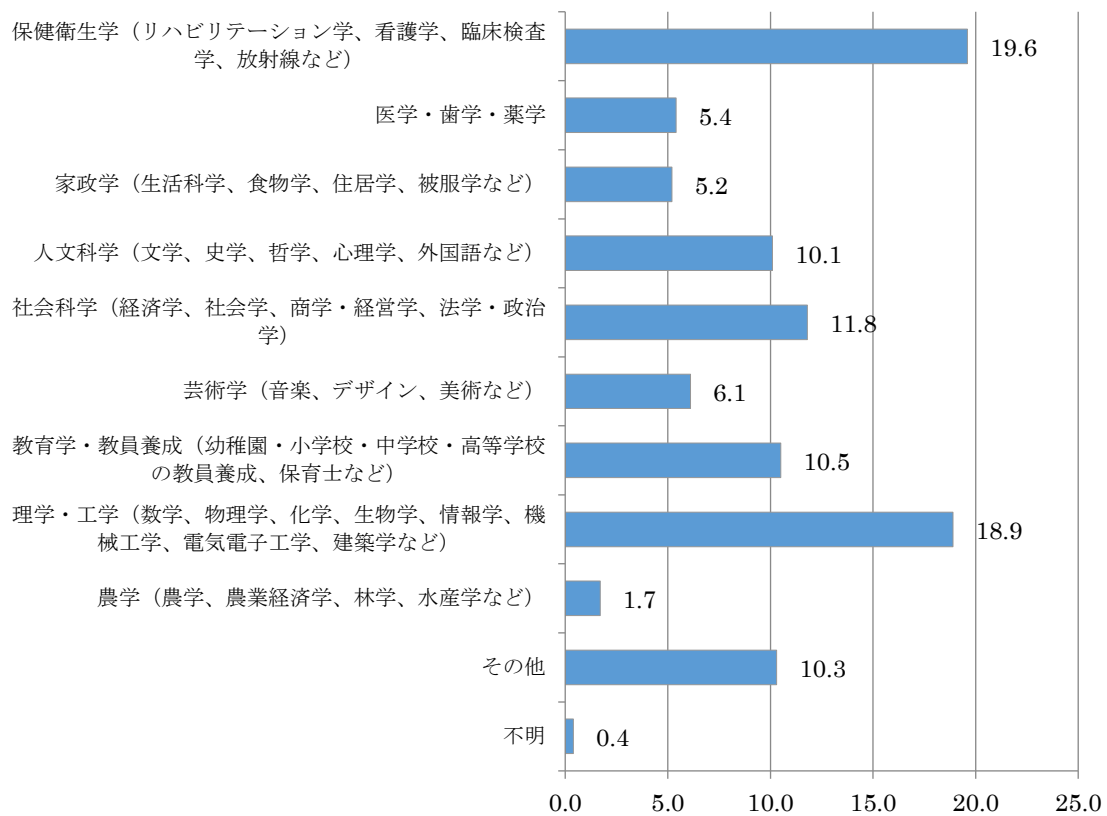
問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

回答者の卒業後の進学希望分野については、第1希望について、「保健衛生学(リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など)」が1,334人(19.6%)と最も多く、「理学・工学(数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など)」が1,289人(18.9%)、「社会科学(経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学)」が800人(11.8%)と続いている。

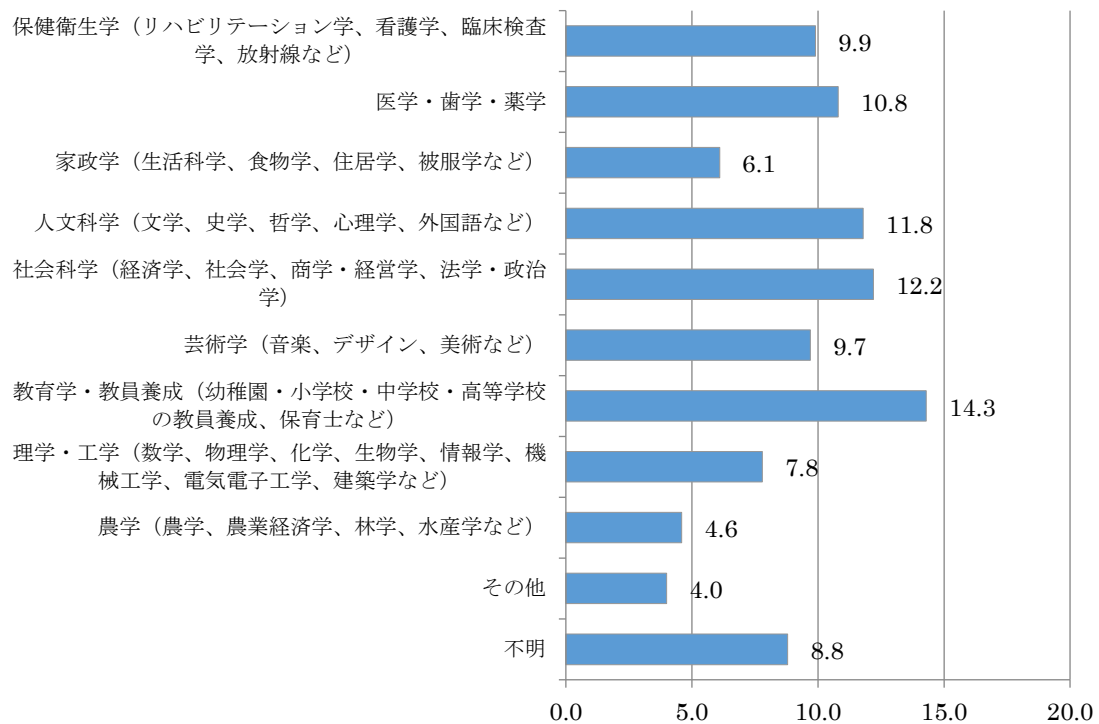
第2希望については、「教育学・教員養成(幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など)」が975人(14.3%)、「社会科学(経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学)」が828人(12.2%)、「人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語など)」が803人(11.8%)と続いている。

	第1希望		第2希望	
	件数	%	件数	%
1 保健衛生学(リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など)	1,334	19.6	674	9.9
2 医学・歯学・薬学	370	5.4	732	10.8
3 家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	356	5.2	412	6.1
4 人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語など)	689	10.1	803	11.8
5 社会科学(経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学)	800	11.8	828	12.2
6 芸術学(音楽、デザイン、美術など)	412	6.1	662	9.7
7 教育学・教員養成(幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など)	712	10.5	975	14.3
8 理学・工学(数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など)	1,289	18.9	534	7.8
9 農学(農学、農業経済学、林学、水産学など)	118	1.7	311	4.6
10 その他	701	10.3	273	4.0
不明	25	0.4	602	8.8
N (%ベース)	6,806	100.0	6,806	100.0

問3 進学したい分野（第1希望） N = 6806



問3 進学したい分野（第2希望） N = 6806



(「10 その他」の回答)

第1希望：532件（複数件数回答有）		
IT	ホテル接客等、観光	専門職業
IT系	マスコミ、エンタメ学	総合美容
アニメーション、プログラミング	マスコミ、芸能、声優系	体育
アニメの作画	マスコミュニケーション科	体育運動関係
イベント関連	マスメディア、音響	体育科
ウエイトトレーニングのパーソナルトレーナー	まだ2つに決められていない。	体育学
ウエディングスタイリスト	まだ決まっていない。	体育学、スポーツ生理学
ウエディングプランナー	まだ決まってる。	体育学部
ウエディングプランナーについて	メイク	体育系
エアライン	メイク、ウエディングプランナー	知らない。
エステ	メイク、美容	地方公務員
エステティシャン、美容学校	メイクアップアーティスト	畜産学
カイロプラティック	メディア	調香
キャビンアテンダント	メディア学	調理
ゲーム	メディア系	調理(栄養)
ゲームクリエイター	ライフデザイン学	調理、製菓
ゲームデザイナー	医療事務	鉄道系
ゲームプログラマー	映像プログラマー	天文学
コンピューター系	栄養	動植物関係、アニマルセラピー
サービス業	栄養学	動物
サービス系	栄養管理士	動物(トリマー)
サッカー	栄養士	動物(犬)について
サッカープレイヤー	衛生(美容)	動物、トリマー、ドッグトレーナーなど
サッカー協会の仕事、調理	音楽療法	動物、ペット
スポーツ	何学でもない。	動物トレーナー
スポーツ(野球)	介護	動物のトリマーなど動物に関わる仕事
スポーツ、動物	介護福祉	動物の飼育
スポーツインストラクター	介護福祉士	動物園、水族館の飼育員
スポーツトレーナー	楽器の修理の方に進みたい。	動物看護
スポーツトレーナー、サポーター	管理栄養士	動物看護、トリマー
スポーツトレーナー、スポーツ指導員	観光	動物看護学
スポーツトレーナー、獣医師	観光、ホスピタリティ	動物関係
スポーツビジネスかスポーツトレーナー	観光学	動物関連
スポーツ医学	危機管理学部	動物系
スポーツ科学	救急医療	動物系(ドッグトレーナーなど)
スポーツ学	救急救命	動物系、トリマー、ドッグトレーナーなどの育成
スポーツ学科	教養、観光	動物系、トリマー、動物看護
スポーツ関係	筋肉や骨などについて学べる分野	動物系、看護系
スポーツ系	警察	動物系、美容系
スポーツ系、動物系	警察学校	動物系の専門
スポーツ系、美容師	警察官	動物飼育
スポーツ系の	警察官、消防士	動物飼育員
スポーツ健康	芸能	特に決まっていない。
スポーツ健康科	決まっていない。	美容
スポーツ健康科学	決まってません。	美容、ネイル
スポーツ専門	建築、インテリア	美容、ブライダル
スポーツ選手のアシストなど	建築、土木	美容、ブライダル、エステ
スポーツ的な	建築系	美容、メイク
ダンス	犬	美容、メイク、エステ、ネイル系
ダンス(演劇)	犬のトレーニング士	美容、メイクなど
データサイエンス	言語が学べるIT系の学校	美容、栄養士

テレビスタッフ	語学	美容、服飾
テレビのスタッフなどつながる映像系	公務員	美容、理容
テレビ系、ウエディング	公務員(消防士)	美容、理容、メイク、エステ、ネイル系
どこでもいい。	考古学専攻	美容、理容系
ドッグトレーナーなど	航空	美容、理容師
トリマー	航空工学	美容・理容専門学校
トリマー、動物	国際	美容とかタトゥーイスト
トリマー、動物科	国際、観光	美容やメイクを学べる学校
トリマー、美容	国際関係	美容学
トリマーなど動物に関わることができる仕事	司書	美容学校
トレーナー(ジム)	事務関係	美容関係
バスケ	事務系	美容系
パティシエ	自衛隊	美容系、ブライダル
パティシエ、アパレル	自動車	美容系、公務員
ピアノ調律	自動車系	美容師
ファッション	自動車工学	美容師、ヘアメイクアップアーティスト
ファッション、メイク	自動車整備	美容師、メイクアップアーティスト
ブライダル	柔道整復師	福祉
ブライダル科	獣	福祉、柔道整復師
ブライダル学	獣医	福祉、美容
ブライダル学科	獣医学	福祉学
ブライダル関係	獣医学、スポーツ学	福祉系
ブライダル系	消防士	分からない。決まってない。
ブライダル系、美容系	情報	文化交流
プログラミング	心理学	防衛学
ヘアメイク	新幹線運転士	未定
ペットショップの店員	整備	理学療法士
ペット関係	生物	理美容師
ホスピタリティ	生物について	理容、美容
ホテル、ウエディング	声優	理容、美容、ファッション
ホテル、ブライダル系	声優、芸能	理容・美容系
ホテル、獣医	声優専門学校	理容学校
ホテルウーマン	製菓	理容師、美容師
ホテルマン	製菓、菓子	陸上自衛隊
ホテル学、美容	製菓、調理、製パン	臨床工学
第2希望：132件（複数件数回答有）		
DJ	ロボット工学	植物の類
IT など	医療事務	心理カウンセラー
IT 関係	栄養	心理系
TV 関係	栄養士	声優
あまりまだ分からない。	音楽療法士	専門学校の自動車分野
インテリア	音響、AD など	体育
ウエディング	介護	体育、健康
お金の入る仕事学、帝王学	介護士	体育学
キャリアウーマン	環境学	体育教師、指導者
スポーツ	看護福祉	体育系
スポーツトレーナー	観光	調理師
スポーツトレーナー、ゴルフコーチなど	観光学	通訳
スポーツ科	観光系	動物
スポーツ学	気象予報士	動物に関して。
スポーツ関連のもの	救急隊員	動物衛生看護
スポーツ関連の仕事	芸能	動物看護
スポーツ系	決まってない。	動物関係
スポーツ健康	研究など	動物系
ダンス	言語	美容

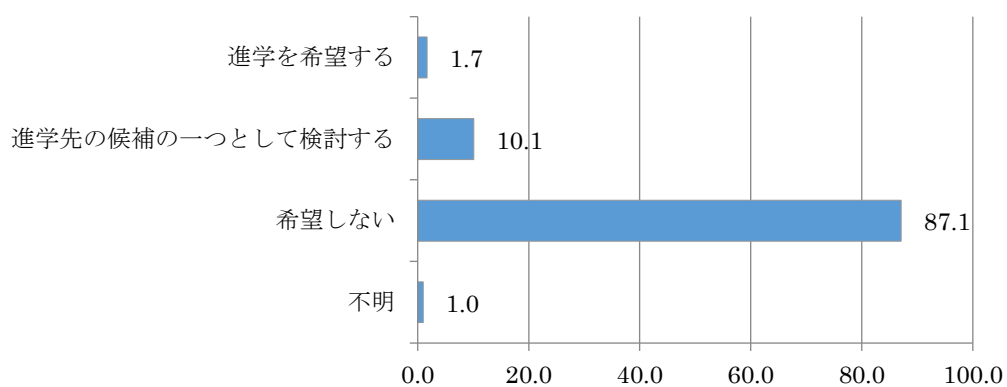
トリマー	公務員	美容、ヘアメイク
ブライダル	航空	美容系
ブライダルデザイナー	国際系	美容師
フラワー系	国際的な事に関する学部	美容専門学校
プロのアーチェリー選手	市役所	福祉
ベット	社士学	防衛学
ホテル、ブライダル系	事務	養護教諭
まだ考えていない。	自営業	理容師
マンガ、アニメ、ゲーム	自衛官	料理
ミュージカル	自衛隊	料理系
メディア、芸能	消防士	

問4 あなたは「アール医療専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。

進学希望については、「進学を希望する」が117人（1.7%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が690人（10.1%）の結果となった。

	件数	%
1 進学を希望する	117	1.7
2 進学先の候補の一つとして検討する	690	10.1
3 希望しない	5,928	87.1
不明	71	1.0
N（%ベース）	6,806	100.0

問4 アール医療専門職大学への進学希望 N = 6806



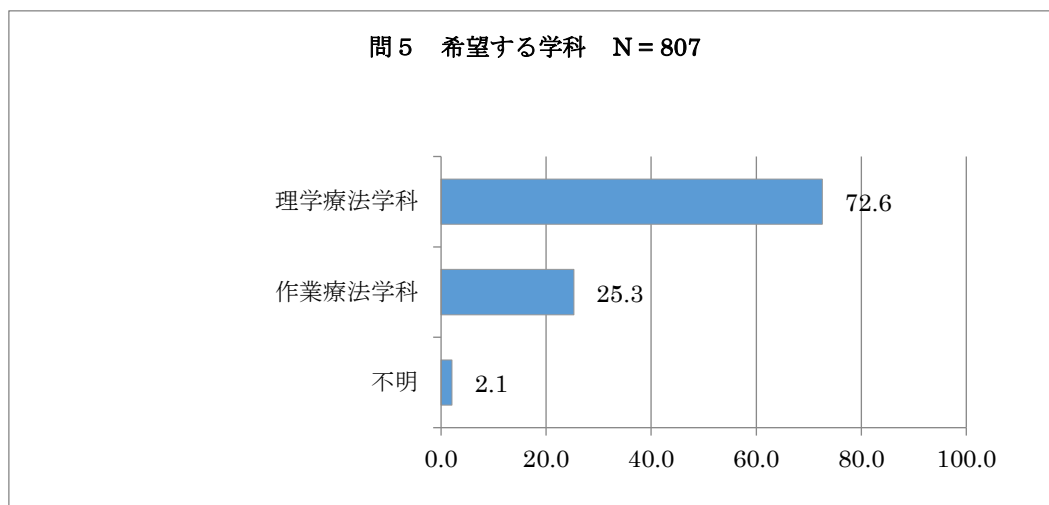
（問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（807 人）による設問。

問 5 問 4 で「1、2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

進学を希望する学科を次の中から一つだけ選んでください。

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生（807 人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 586 人（72.6%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は 204 人（25.3%）となった。

	件数	%
1 理学療法学科	586	72.6
2 作業療法学科	204	25.3
不明	17	2.1
N（％ベース）	807	100.0



○ 問 4 アール医療専門職大学への進学希望 × 問 5 希望する学科

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への進学希望）と、問 5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

上段:件数 下段:%		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法学科	作業療法学科	不明
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	807 100.0	586 72.6	204 25.3	17 2.1
	進学を希望する	117 100.0	89 76.1	20 17.1	8 6.8
	進学先の候補の一つとして	690	497	184	9
	検討する	100.0	72.0	26.7	1.3

○ 理学療法学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問 4 と問 5 のクロス集計表をもとに、特に理学療法学科に「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

問 4×問 5 クロス集計表 理学療法学科			
	進学を希望する	進学先の候補の一つ として検討する	合計
全体	89	497	586
2 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	－	14	14
4 私立茨城高等学校	1	6	7
5 茨城県立竹園高等学校	－	1	1
12 茨城県立水海道第一高等学校	－	6	6
13 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	－	10	10
14 茨城県立下館第一高等学校	－	6	6
15 茨城県立日立北高等学校	－	9	9
18 茨城県立水戸第三高等学校	2	7	9
21 茨城県立土浦第三高等学校	3	13	16
22 私立東洋大学附属牛久高等学校	－	11	11
24 茨城県立水戸商業高等学校	2	7	9
28 茨城県立下妻第二高等学校	－	16	16
29 茨城県立石岡第一高等学校	1	20	21
30 茨城県立取手第一高等学校	2	9	11
31 茨城県立佐和高等学校	－	13	13
32 茨城県立水海道第二高等学校	1	6	7
33 茨城県立水戸工業高等学校	1	6	7
34 茨城県立鹿島高等学校	2	15	17
35 私立岩瀬日本大学高等学校	2	13	15
36 私立茨城キリスト教学園高等学校	2	6	8
37 茨城県立伊奈高等学校	－	8	8
38 茨城県立多賀高等学校	1	6	7
39 茨城県立土浦湖北高等学校	1	14	15
40 茨城県立日立第二高等学校	3	6	9
41 私立水城高等学校	2	14	16
42 茨城県立古河第一高等学校	－	11	11
43 茨城県立日立商業高等学校	8	7	15
44 茨城県立麻生高等学校	1	4	5
45 私立常磐大学高等学校	1	10	11
46 茨城県立那珂高等学校	3	9	12
47 茨城県立境高等学校	－	6	6
48 茨城県立取手松陽高等学校	1	11	12
50 私立つくば秀英高等学校	－	6	6
51 私立霞ヶ浦高等学校	4	18	22
53 茨城県立鉾田第二高等学校	5	3	8
54 茨城県立中央高等学校	1	14	15
55 私立聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	－	3	3

問4×問5 クロス集計表 理学療法学科			
	進学を希望する	進学先の候補の一つ として検討する	合計
56 私立鹿島学園高等学校	3	9	12
58 茨城県立守谷高等学校	4	7	11
59 茨城県立波崎柳川高等学校	2	6	8
60 茨城県立石岡商業高等学校	－	2	2
61 茨城県立藤代紫水高等学校	2	12	14
62 茨城県立鬼怒商業高等学校	3	2	5
63 茨城県立取手第二高等学校	2	6	8
64 茨城県立土浦工業高等学校	1	3	4
66 私立大成女子高等学校	1	8	9
67 茨城県立つくば工科高等学校	2	3	5
68 茨城県立石岡第二高等学校	1	7	8
69 私立水戸啓明高等学校	8	20	28
70 私立水戸葵陵高等学校	1	9	10
72 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校	1	8	9
73 茨城県立岩瀬高等学校	－	4	4
78 私立我孫子二階堂高等学校	1	6	7
80 私立日本体育大学柏高等学校	3	10	13
93 私立西武台千葉高等学校	3	6	9
104 福島県立喜多方高等学校	－	13	13
110 福島県立相馬高等学校	1	12	13

○ 作業療法学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問4と問5のクロス集計表をもとに、特に作業療法学科に「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

問4×問5クロス集計表 作業療法学科			
	進学を希望する	進学先の候補の一つとして検討する	合計
全体	20	184	204
2 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	1	2	3
12 茨城県立水海道第一高等学校	-	2	2
13 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	-	3	3
14 茨城県立下館第一高等学校	-	6	6
15 茨城県立日立北高等学校	-	5	5
18 茨城県立水戸第三高等学校	1	5	6
21 茨城県立土浦第三高等学校	1	2	3
22 私立東洋大学附属牛久高等学校	-	1	1
28 茨城県立下妻第二高等学校	-	4	4
29 茨城県立石岡第一高等学校	-	6	6
30 茨城県立取手第一高等学校	-	3	3
31 茨城県立佐和高等学校	1	9	10
32 茨城県立水海道第二高等学校	-	7	7
33 茨城県立水戸工業高等学校	1	4	5
34 茨城県立鹿島高等学校	-	1	1
35 私立岩瀬日本大学高等学校	-	6	6
36 私立茨城キリスト教学園高等学校	1	1	2
37 茨城県立伊奈高等学校	-	3	3
38 茨城県立多賀高等学校	-	2	2
39 茨城県立土浦湖北高等学校	2	1	3
40 茨城県立日立第二高等学校	-	2	2
41 私立水城高等学校	1	1	2
42 茨城県立古河第一高等学校	-	5	5
43 茨城県立日立商業高等学校	-	6	6
44 茨城県立麻生高等学校	-	3	3
45 私立常磐大学高等学校	-	2	2
46 茨城県立那珂高等学校	-	3	3
47 茨城県立境高等学校	-	1	1
48 茨城県立取手松陽高等学校	-	6	6
50 私立つくば秀英高等学校	1	-	1
51 私立霞ヶ浦高等学校	2	7	9
53 茨城県立鉾田第二高等学校	-	5	5
54 茨城県立中央高等学校	-	2	2
55 私立聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	-	2	2
56 私立鹿島学園高等学校	-	3	3
58 茨城県立守谷高等学校	-	5	5

問 4×問 5 クロス集計表 作業療法学科			
	進学を希望する	進学先の候補の一つ として検討する	合計
59 茨城県立波崎柳川高等学校	2	－	2
60 茨城県立石岡商業高等学校	－	1	1
61 茨城県立藤代紫水高等学校	－	6	6
62 茨城県立鬼怒商業高等学校	－	1	1
63 茨城県立取手第二高等学校	－	4	4
64 茨城県立土浦工業高等学校	－	1	1
66 私立大成女子高等学校	－	2	2
67 茨城県立つくば工科高等学校	1	2	3
68 茨城県立石岡第二高等学校	－	6	6
69 私立水戸啓明高等学校	2	2	4
70 私立水戸葵陵高等学校	－	4	4
72 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校	－	6	6
78 私立我孫子二階堂高等学校	1	4	5
80 私立日本体育大学柏高等学校	1	6	7
93 私立西武台千葉高等学校	1	3	4
104 福島県立喜多方高等学校	－	6	6
110 福島県立相馬高等学校	－	4	4

<アンケート調査票・リーフレット>

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート（無記名式）

このアンケート調査は、高校生の皆さんの卒業後の進路などについてお聞きし、学校法人筑波学園が構想する「アール医療専門職大学（仮称）」設置の基礎資料とするものです。専門職大学は、新しく制度化された高等教育機関です。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより集計処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。また、回答した内容によって、将来の選択について制限されることはありません。回答にあたっては、別紙のリーフレット及び裏面の「養成する人物像」をご覧ください。ご協力をお願いします。

（回答は、該当する番号を【回答欄】に直接ご記入ください。）

【 回答欄 】

問1 あなたの現住所についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1 茨城県 | 4 栃木県 | 7 神奈川県 |
| 2 千葉県 | 5 埼玉県 | 8 その他（具体的に |
| 3 福島県 | 6 東京都 | ） |

問2 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | |
|------------------------|---------------------|-------|--------------------------------------|
| 1 大学進学
（専門職大学を含む） | } 問3以下へ
お進みください。 | 4 就職 | } これでアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 2 短期大学
（専門職短期大学を含む） | | 5 その他 | |
| 3 専門学校進学 | | | |

【 問3以降は、問2で「1、2、3」のいずれかを回答された方におたずねします。 】

問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）
- 2 医学・歯学・薬学
- 3 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）
- 4 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）
- 5 社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）
- 6 芸術学（音楽、デザイン、美術など）
- 7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）
- 8 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）
- 9 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）
- 10 その他（具体的に

第1希望

第2希望

問4 リーフレットをご覧になって、あなたは「アール医療専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。

次の中か ら一つだけ選んでください。本調査票の裏面の養成する人物像もご覧ください。

- | | | | |
|------------------------|-------------------|---------|--------------------------------------|
| 1 進学を希望する | } 問5へ
お進みください。 | 3 希望しない | } これでアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 2 進学先の候補の一つ
として検討する | | | |

※ 回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません

問5 問4で「1、2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

進学を希望する学科を次の中から一つだけ選んでください。

- | | |
|----------|----------|
| 1 理学療法学科 | 2 作業療法学科 |
|----------|----------|

※ 回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

理学療法学科

理学療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が学習や遊びをより効果的・自発的に行うための姿勢や運動を支援・指導できることや身体のぎこちなさ等に関する問題分析し、教職員へ助言ができる能力等を修得し、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の身体機能に応じた運動プログラムを作成できる能力や運動指導・運動プログラム作成への関与とシステムの構築ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

作業療法学科

作業療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が日常生活や学習における協応動作を獲得するための支援やリスクマネジメントと姿勢保持・環境設定に関する教職員への助言できる能力等を修得して、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の閉じこもり、認知症、うつ傾向の方の心身機能を評価し、介護支援専門員等への助言・指導や日常生活環境についての福祉用具の導入・指導ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

リハビリテーションの未来を創造する



学校法人筑波学園では、茨城県でも専門学校としていち早くセラピストの養成に努めて参りました。この度、より高度な専門職業人材を育成し、地域に貢献できる人材を輩出するため、2022年4月にアール医療専門職大学（仮称）を開学予定です。

※アール医療専門職大学（仮称） 体育館・講義棟



2022年4月開学予定（設置構想中）

学校法人筑波学園 アール医療専門職大学（仮称） リハビリテーション学部 理学療法学科 / 作業療法学科

【修業年限】4年（両学科共通）【学位】理学療法学士 / 作業療法学士（専門職）
【取得可能資格】理学療法士 / 作業療法士国家試験受験資格



@専門職大学とは？

従来の大学の長所である学問的色彩の強い教育と、専門学校の長所である実践的な教育のそれぞれの能力を兼ね備えた人材育成を目的とした約55年ぶりに作られた新たな大学制度です。「豊かな創造力」と「高度な実践力」の両方を併せ持ちその専門分野の業界を牽引できるリーダーを養成します。



@専門職大学の特徴

1. 実習・実技中心のカリキュラム

専攻に係る職業分野である「職業専門科目」の中に位置づけられます。従来の専門学校と同様に卒業単位の概ね1/3以上で構成されており、より実践的な教育を行っていきます。

2. 専門領域の新たな可能性を広げる「展開科目」

専門職大学独自の科目であり、各大学や地域等によって内容が異なります。地域社会の問題解決に貢献できる専門分野以外の「+α」の学問を学び、専門職としての視野をさらに広げていきます。

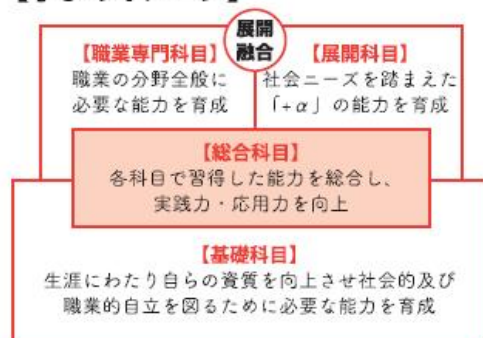
3. 専門職としての集大成「総合科目」

これまで習得した「基礎科目」「職業専門科目」「展開科目」の内容の総まとめとしてカリキュラム後半で様々な演習等を通して学びを深め、実践力・応用力を向上させていきます。

4. 研究者教員と実務家教員の配置

大学や研究機関等において優れた研究実績を持つ「研究者教員」と、実際の臨床現場において高度な実務能力を有する「実務家教員」がバランス良く在籍したカリキュラム構成となります。

【学びのイメージ】



研究者教員



実務家教員

アール医療専門職大学（仮称）の特徴

「臨床力」

病院実習だけでなく、理学療法士・作業療法士以外の様々な職種の方と幅広く関わりを持てるような経験を積むことで、リハビリテーション領域における総合的な臨床能力を高めていきます。



「研究力」

新たに研究棟を建設し「人間創成地域研究センター」を立ち上げる計画をしています。研究活動を行っていくことで、実際の臨床の現場において活用できるシステムとなっています。



「教育力」

新たに5号館（体育館・講義棟）を建設する計画をしています。「研究者教員」と「実務家教員」それぞれのスペシャリストにより、研究と臨床での学びを最大限に発揮できるカリキュラムを構成します。



※本計画は設置構想中であり、変更する可能性があります。

学科・職種紹介および競合校との学費比較

《理学療法学科（定員40名）》

●「総合的な臨床能力」を有し、社会から真に必要なとされる理学療法士を養成する

理学療法士とは、ストレッチ等による運動療法や温熱・電気等を利用した物理療法により、患者様の基本動作能力の回復を支援していく仕事です。



《作業療法学科（定員40名）》

●「ライフステージに合わせた支援ができる」作業療法士を養成する

作業療法士とは、病気や怪我などによって心身に障がいのある方に対し、諸機能の回復・維持を図るために日常的な動作や趣味活動を通じて支援していく仕事です。



《学費比較》

（単位：円）

大学名	学部・学科名	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計	2年次以降	4年間合計
アール医療専門職大学（仮称）	リハビリテーション学部 （理学療法学科・作業療法学科）	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000	1,450,000	6,100,000
つくば国際大学	医療保健学部 （理学療法学科のみ）	300,000	900,000	350,000	250,000	1,800,000	1,500,000	6,300,000
白台大学	保健医療学部	250,000	965,000	390,000	120,000	1,725,000	1,500,000	6,225,000

※出典「各大学のWebサイトに掲載の学納金」を用いて作成。

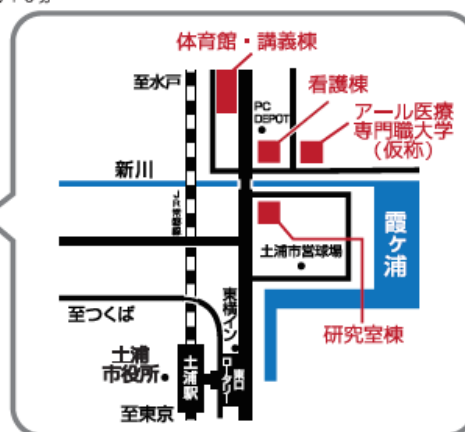
お問い合わせ・アクセス

▶ 学校法人筑波学園 アール医療福祉専門学校 《専門職大学 設置準備室》

〒300-0032 茨城県土浦市湖北2-10-35 TEL: 029-824-7611

URL: <https://a-ru.ac.jp/> Mail: t-kanazawa@tib-r.co.jp

■JR常磐線・上野駅より約70分、水戸駅より約45分、土浦駅下車 ■JR常磐線・土浦駅東口より徒歩約12分
■つくばエクスプレス・つくば駅より車・バスで約30分 ■茨城空港より車で約40分



アール医療専門職大学（仮称）への
入学意向に関するアンケート調査報告書

【 高校生対象 】

令和３年２月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜アンケート調査結果要旨＞	3
＜アンケート回収表＞	5
＜アンケート集計結果＞	11
○ クロス集計表（問4×問5）	22
○ 理学療法学科進学意向の高校内訳	23
○ 作業療法学科進学意向の高校内訳	25
＜アンケート調査票・リーフレット＞	27

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

本調査は、学校法人筑波学園において、令和 4 年 4 月にアール医療専門職大学（仮称）の開設を目指し、入学意向を把握することを目的とする。

2. 調査対象

茨城県、千葉県、福島県に所在する高等学校を選定し、高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。2 回目の追加調査では、法人の設置校への入学実績を鑑み、対象エリアを拡大し、東北地域の宮城県、山形県の高等学校に実施をした。

（回収表は P. 7～P. 9 参照）

3. 調査実施

（1 回目）令和 2 年 7 月～8 月。

（2 回目）令和 3 年 1 月～2 月追加実施。

4. 調査方法

（1 回目）学校法人筑波学園が 100 校の高等学校を選定し、そのうちアンケート実施の承諾が得られた 57 校にアンケート調査票を郵送した。

（2 回目）令和 2 年 7～8 月の 1 回目の実施時に協力がかなわず、未回収であった 10 校に再度実施依頼を行うとともに、新規に 10 校を選定し、調査票を郵送した。

いずれも調査票の回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

5. 回収状況

回収数 77 校 9,578 票。

そのうち追加調査対象校は 20 校 1,100 票。（回収状況は P. 9 を参照）

回収率 70.0%（回収校数 77 校／依頼校数 110 校×100）

＜アンケート調査結果要旨＞

【問１：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、8,139 人（85.0％）が「茨城県」に居住し、以下、「千葉県」が 615 人（6.4％）、「福島県」が 421 人（4.4％）と続いている。

【問２：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 5,337 人（55.7％）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 2,046 人（21.4％）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 334 人（3.5％）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,493 人（15.6％）となっている。

問３以降は、問２で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（7,717 人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

【問３：高校卒業後の進学希望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、第１希望について、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が 1,556 人（20.2％）と最も多く、「理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が 1,439 人（18.6％）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 901 人（11.7％）と続いている。

第２希望については、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が 1,078 人（14.0％）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 940 人（12.2％）、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 921 人（11.9％）と続いている。

【問４：アール医療専門職大学への進学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が 136 人（1.8％）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 799 人（10.4％）の結果となった。

（問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（935 人）による設問。

【問 5：進学を希望する学科】

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生（935 人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 668 人（71.4%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は 247 人（26.4%）となった。

【問 4×問 5 のクロス集計表】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への進学希望と、問 5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

（全体） N=9,578

上段：件数 下段：%		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	935 100.0	668 71.4	247 26.4	20 2.1
	進学を希望する	136 100.0	99 72.8	28 20.6	9 6.6
	進学先の候補の一つとして 検討する	799 100.0	569 71.2	219 27.4	11 1.4

（追加調査） N=1,100

上段：件数 下段：%		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	128 100.0	82 64.1	43 33.6	3 2.3
	進学を希望する	19 100.0	10 52.6	8 42.1	1 5.3
	進学先の候補の一つとして 検討する	109 100.0	72 66.1	35 32.1	2 1.8

＜アンケート回収表＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 回収表

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数	備 考
			1	欠番				
7. 22	1	茨城県	2	茨城県立 竜ヶ崎第一高等学校	2377	2526	150	
	1	茨城県	3	私立 茗溪学園高等学校				
8. 03	1	茨城県	4	私立 茨城高等学校	6083	6243	161	
8. 11	1	茨城県	5	茨城県立 竹園高等学校	7638	7671	34	
	1	茨城県	6	茨城県立 緑岡高等学校				
			7	欠番				
	1	茨城県	8	茨城県立 土浦第二高等学校				
			9	欠番				
	1	茨城県	10	茨城県立 水戸第二高等学校				
	1	茨城県	11	茨城県立 下妻第一高等学校				
7. 28	1	茨城県	12	茨城県立 水海道第一高等学校	2969	3072	104	
7. 16	1	茨城県	13	茨城県立 水戸桜ノ牧高等学校	1	104	104	
7. 22	1	茨城県	14	茨城県立 下館第一高等学校	2527	2717	191	
8. 03	1	茨城県	15	茨城県立 日立北高等学校	6244	6356	113	
R3. 2. 05	1	茨城県	16	茨城県立 藤代高校	8808	8848	41	追加実施
			17	欠番				
7. 21	1	茨城県	18	茨城県立 水戸第三高等学校	1967	2157	191	
	1	茨城県	19	茨城県立 鉾田第一高等学校				
	1	茨城県	20	茨城県立 牛久高等学校				
7. 20	1	茨城県	21	茨城県立 土浦第三高等学校	1220	1411	192	
7. 22	1	茨城県	22	私立 東洋大学附属牛久高等学校	2718	2790	73	
	1	茨城県	23	茨城県立 古河第三高等学校				
7. 16	1	茨城県	24	茨城県立 水戸商業高等学校	105	300	196	
			25	欠番				
	1	茨城県	26	私立 土浦日本大学中等教育学校				
R3. 2. 18	1	茨城県	27	茨城県立 下館第二高等学校	9282	9314	33	追加実施
7. 17	1	茨城県	28	茨城県立 下妻第二高等学校	1027	1219	193	
7. 16	1	茨城県	29	茨城県立 石岡第一高等学校	301	489	189	
7. 20	1	茨城県	30	茨城県立 取手第一高等学校	1735	1966	232	
7. 16	1	茨城県	31	茨城県立 佐和高等学校	490	676	187	
7. 31	1	茨城県	32	茨城県立 水海道第二高等学校	4063	4256	194	
7. 16	1	茨城県	33	茨城県立 水戸工業高等学校	677	790	114	
7. 29	1	茨城県	34	茨城県立 鹿島高等学校	3192	3233	42	
7. 20	1	茨城県	35	私立 岩瀬日本大学高等学校	1412	1552	141	
7. 29	1	茨城県	36	私立 茨城キリスト教学園高等学校	3234	3314	81	
8. 20	1	茨城県	37	茨城県立 伊奈高等学校	8398	8478	81	
8. 11	1	茨城県	38	茨城県立 多賀高等学校	7672	7745	74	
7. 27	1	茨城県	39	茨城県立 土浦湖北高等学校	2791	2968	178	
7. 31	1	茨城県	40	茨城県立 日立第二高等学校	3918	4062	145	
7. 31	1	茨城県	41	私立 水城高等学校	4257	4459	203	
8. 04	1	茨城県	42	茨城県立 古河第一高等学校	4792	4980	189	
8. 06	1	茨城県	43	茨城県立 日立商業高等学校	5831	6026	196	
8. 03	1	茨城県	44	茨城県立 麻生高等学校	6357	6550	194	
7. 17	1	茨城県	45	私立 常磐大学高等学校	955	1026	72	
7. 30	1	茨城県	46	茨城県立 那珂高等学校	4460	4606	147	
8. 07	1	茨城県	47	茨城県立 境高等学校	7746	7753	8	
7. 29	1	茨城県	48	茨城県立 取手松陽高等学校	3315	3525	211	
	1	茨城県	49	私立 常総学院高等学校				
8. 06	1	茨城県	50	私立 つくば秀英高等学校	6027	6082	56	
8. 03	1	茨城県	51	私立 霞ヶ浦高等学校	6551	6931	381	
			52	欠番				

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数	備 考
7. 29	1	茨城県	53	茨城県立 鉾田第二高等学校	3526	3720	195	
8. 11	1	茨城県	54	茨城県立 中央高等学校	7754	7948	195	
8. 03	1	茨城県	55	私立 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	6932	6988	57	
8. 04	1	茨城県	56	私立 鹿島学園高等学校	4981	5169	189	
	1	茨城県	57	茨城県立 下館工業高等学校				
7. 30	1	茨城県	58	茨城県立 守谷高等学校	4607	4791	185	
7. 21	1	茨城県	59	茨城県立 波崎柳川高等学校	2158	2268	111	
7. 21	1	茨城県	60	茨城県立 石岡商業高等学校	2269	2376	108	
7. 20	1	茨城県	61	茨城県立 藤代紫水高等学校	1553	1734	182	
8. 05	1	茨城県	62	茨城県立 鬼怒商業高等学校	5645	5830	186	
8. 03	1	茨城県	63	茨城県立 取手第二高等学校	6989	7138	150	
8. 04	1	茨城県	64	茨城県立 土浦工業高等学校	5170	5321	152	
R3. 2. 01	1	茨城県	65	茨城県立 東海高等学校	8615	8639	25	追加実施
8. 03	1	茨城県	66	私立 大成女子高等学校	7139	7263	125	
8. 07	1	茨城県	67	茨城県立 つくば工科高等学校	7949	8086	138	
8. 04	1	茨城県	68	茨城県立 石岡第二高等学校	5322	5500	179	
8. 07	1	茨城県	69	私立 水戸啓明高等学校	8087	8250	164	
7. 29	1	茨城県	70	私立 水戸葵陵高等学校	3721	3826	106	
R3. 2. 09	1	茨城県	71	私立 明秀学園日立高等学校	8881	9021	141	追加実施
8. 04	1	茨城県	72	茨城県立 竜ヶ崎第二高等学校	5501	5644	144	
7. 29	1	茨城県	73	茨城県立 岩瀬高等学校	3827	3917	91	
R3. 2. 01	2	千葉県	74	千葉県立 松戸馬橋高等学校	8578	8614	37	追加実施
	2	千葉県	75	千葉県立 沼南高等学校				
	2	千葉県	76	千葉県立 流山おおたかの森高等学校				
	2	千葉県	77	千葉県立 柏中央高等学校				
8. 03	2	千葉県	78	私立 我孫子二階堂高等学校	7264	7437	174	
R3. 2. 04	2	千葉県	79	私立 中央学院高校	8759	8807	49	追加実施
7. 20	2	千葉県	80	私立 日本体育大学柏高等学校	791	954	164	
	2	千葉県	81	私立 秀明八千代高等学校				
R3. 2. 01	1	千葉県	82	柏市立 柏高等学校	8640	8674	35	追加実施
	2	千葉県	83	私立 流通経済大学付属柏高等学校				
R3. 2. 09	2	千葉県	84	千葉県立 柏の葉高等学校	9022	9044	23	追加実施
R3. 2. 05	2	千葉県	85	千葉県立 柏南高等学校	8849	8880	32	追加実施
	2	千葉県	86	千葉県立 柏陵高等学校				
			87	欠番				
			88	欠番				
			89	欠番				
			90	欠番				
			91	欠番				
			92	欠番				
8. 03	2	千葉県	93	私立 西武台千葉高等学校	7438	7637	200	
	2	千葉県	94	松戸市立 松戸高等学校				
	2	千葉県	95	千葉県立 松戸高等学校				
	3	福島県	96	福島県立 湯本高等学校				
	3	福島県	97	福島県立 平商業高等学校				
	3	福島県	98	福島県立 平工業高等学校				
	3	福島県	99	福島県立 いわき光洋高等学校				
	3	福島県	100	福島県立 原町高等学校				
R2. 9. 09	3	福島県	101	私立 福島県磐城第一高等学校	8479	8536	58	追加実施
	3	福島県	102	私立 桜の聖母学院高等学校				
	3	福島県	103	私立 日本大学東北高等学校				
7. 28	3	福島県	104	福島県立 喜多方高等学校	3073	3191	119	
	3	福島県	105	福島県立 いわき総合高等学校				
	3	福島県	106	私立 東日本国際大学附属昌平高等学校				

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数	備 考
	3	福島県	107	福島県立 坂下高等学校				
	3	福島県	108	私立 学校法人石川高等学校				
	3	福島県	109	福島県立 田村高等学校				
8. 07	3	福島県	110	福島県立 相馬高等学校	8251	8397	147	
	3	福島県	111	福島県立 遠野高等学校				
	3	福島県	112	福島県立 勿来高等学校				
R3. 1. 29	1	茨城県	113	茨城県立 江戸崎総合高等学校	8537	8577	41	追加実施
R3. 2. 01	1	茨城県	114	茨城県立 筑波高等学校	8675	8732	58	追加実施
R3. 2. 04	1	茨城県	115	私立 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	8733	8758	26	追加実施
R3. 2. 17	4	山形県	116	私立 酒田南高等学校	9045	9102	58	追加実施
R3. 2. 17	1	茨城県	117	茨城県立 太田第一高等学校	9103	9281	179	追加実施
R3. 2. 19	1	茨城県	118	茨城県立 並木中等教育学校	9315	9334	20	追加実施
R3. 2. 19	3	福島県	119	福島県立 小野高等学校	9335	9412	78	追加実施
R3. 2. 19	1	茨城県	120	私立 江戸川学園取手高等学校	9413	9431	19	追加実施
R3. 2. 18	5	宮城県	121	石巻市立 桜坂高等学校	9432	9476	45	追加実施
R3. 2. 24	4	山形県	122	私立 山本学園高等学校	9477	9578	102	追加実施
計 77 校					計		9578	

回収率 70.0%（回収校数 77 校／依頼校数 110 校（122 校－欠番 12 校）×100）

回収状況

高校所在地	回収校数	回収票数
茨城県	62 校	8,257 票
千葉県	8 校	714 票
福島県	4 校	402 票
山形県	2 校	160 票
宮城県	1 校	45 票
計	77 校	9,578 票

＜アンケート集計結果＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 集計

〔有効回答票：9,578 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

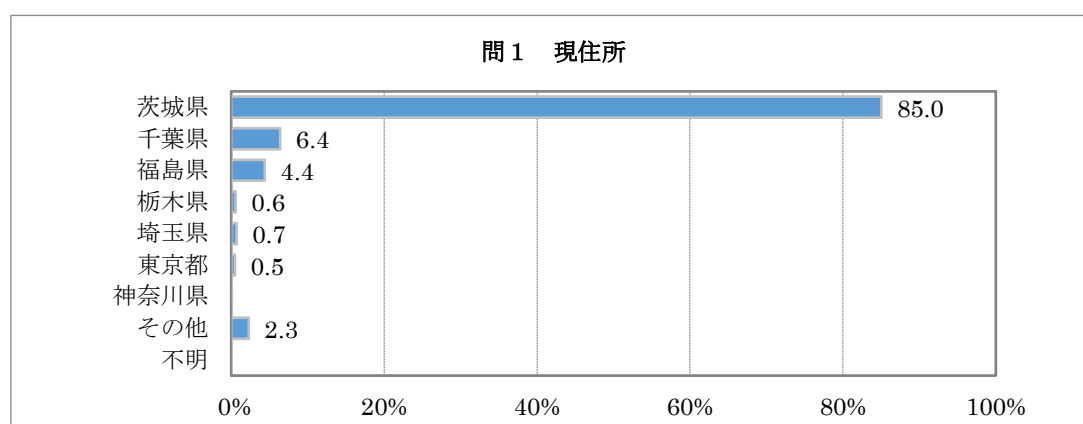
問1 あなたの現住所についておたずねします。

回答者の現住所について、8,139 人（85.0%）が「茨城県」に居住し、以下、「千葉県」が 615 人（6.4%）、「福島県」が 421 人（4.4%）と続いている。

	件数	%
1 茨城県	8139	85.0
2 千葉県	615	6.4
3 福島県	421	4.4
4 栃木県	61	0.6
5 埼玉県	68	0.7
6 東京都	45	0.5
7 神奈川県	7	0.1
8 その他	218	2.3
不明	4	0.0
N（％ベース）	9578	100.0

（「8 その他」の回答）

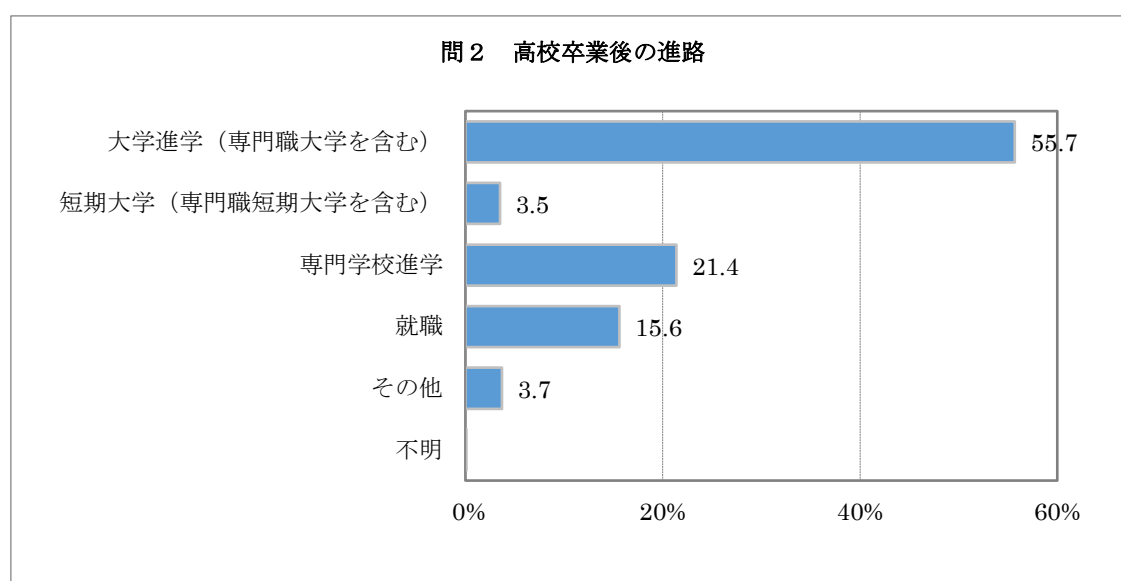
宮城県 46 件	秋田県 2 件	長野県 1 件	群馬県 1 件
山形県 140 件	奈良県 2 件	静岡県沼津市 1 件	九州 1 件



問2 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 5,337 人（55.7%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 2,046 人（21.4%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 334 人（3.5%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,493 人（15.6%）となっている。

	件数	%
1 大学進学（専門職大学を含む）	5337	55.7
2 短期大学（専門職短期大学を含む）	334	3.5
3 専門学校進学	2046	21.4
4 就職	1493	15.6
5 その他	358	3.7
不明	10	0.1
N（％ベース）	9578	100.0



（問3以降は、問2で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（7,717人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

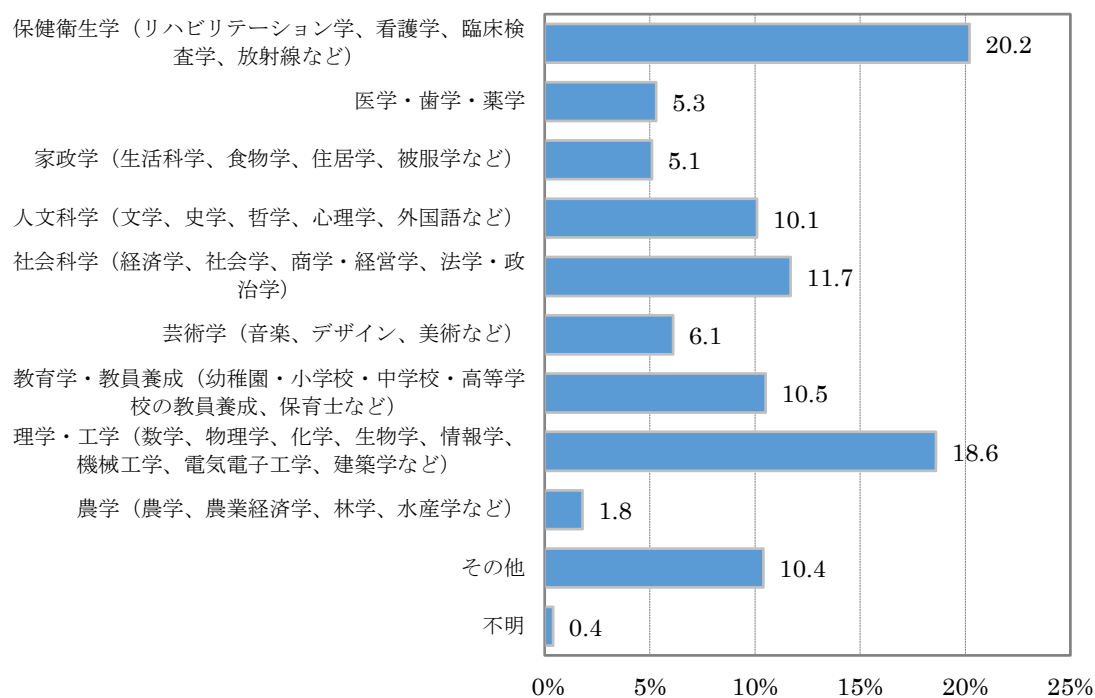
問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

回答者の卒業後の進学希望分野については、第1希望について、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が1,556人（20.2%）と最も多く、「理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が1,439人（18.6%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が901人（11.7%）と続いている。

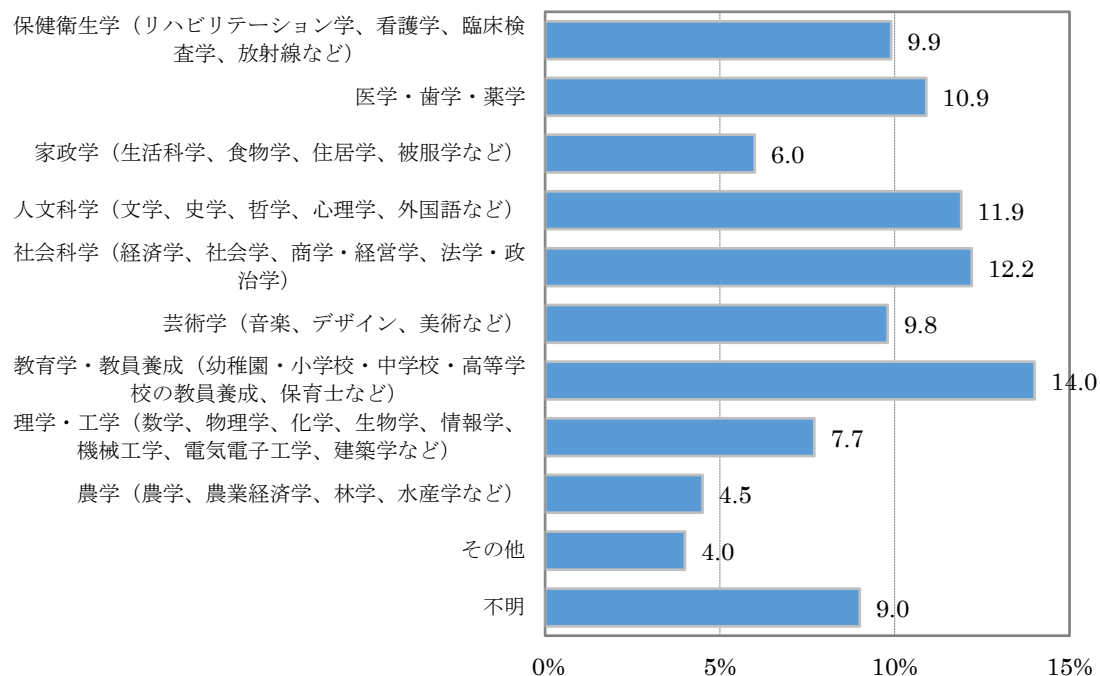
第2希望については、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が1,078人（14.0%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が940人（12.2%）、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が921人（11.9%）と続いている。

	第1希望		第2希望	
	件数	%	件数	%
1 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）	1556	20.2	767	9.9
2 医学・歯学・薬学	411	5.3	839	10.9
3 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	392	5.1	466	6.0
4 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	776	10.1	921	11.9
5 社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）	901	11.7	940	12.2
6 芸術学（音楽、デザイン、美術など）	467	6.1	755	9.8
7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	809	10.5	1078	14.0
8 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）	1439	18.6	596	7.7
9 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）	136	1.8	351	4.5
10 その他	801	10.4	310	4.0
不明	29	0.4	694	9.0
N（%ベース）	7717	100.0	7717	100.0

問3 進学したい分野（第1希望）



問3 進学したい分野（第2希望）



(「10 その他」の回答)

第1希望：611件（複数件数回答有）		
IT	メイクアップアーティスト	動物(犬)について
IT系	メディア	動物、トリマー、ドッグトレーナーなど
アニメーション、プログラミング	メディア学	動物、ペット
アニメの作画	メディア系	動物トレーナー
イベント関連	ライフデザイン学	動物のトリマーなど動物に関わる仕事
ウエイトトレーニングのパーソナルトレーナー	医療事務	動物の飼育
ウエディングスタイリスト	映像プログラマー	動物園、水族館の飼育員
ウエディングプランナー	栄養	動物看護
ウエディングプランナーについて	栄養学	動物看護、トリマー
エアライン	栄養管理士	動物看護学
エステ	栄養士	動物関係
エステティシャン、美容学校	衛生(美容)	動物関連
カイロプラティック	音楽療法	動物系
キャビンアテンダント	何学でもない。	動物系(ドッグトレーナーなど)
ゲーム	介護	動物系、トリマー、ドッグトレーナーなどの育成
ゲームクリエイター	介護福祉	動物系、トリマー、動物看護
ゲームデザイナー	介護福祉士	動物系、看護系
ゲームプログラマー	楽器の修理の方に進みたい。	動物系、美容系
コンピューター系	管理栄養士	動物系の専門
サービス業	観光	動物飼育
サービス系	観光、ホスピタリティ	動物飼育員
サッカー	観光学	特に決まっていない。
サッカープレイヤー	危機管理学部	美容
サッカー協会の仕事、調理	救急医療	美容、ネイル
スポーツ	救急救命	美容、ブライダル
スポーツ(野球)	教養、観光	美容、ブライダル、エステ
スポーツ、動物	筋肉や骨などについて学べる分野	美容、メイク
スポーツインストラクター	警察	美容、メイク、エステ、ネイル系
スポーツトレーナー	警察学校	美容、メイクなど
スポーツトレーナー、サポーター	警察官	美容、栄養士
スポーツトレーナー、スポーツ指導員	警察官、消防士	美容、服飾
スポーツトレーナー、獣医師	芸能	美容、理容
スポーツビジネスかスポーツトレーナー	決まっていない。	美容、理容、メイク、エステ、ネイル系
スポーツ医学	決まってません。	美容、理容系
スポーツ科学	建築、インテリア	美容、理容師
スポーツ学	建築、土木	美容・理容専門学校
スポーツ学科	建築系	美容とかタトゥーイスト
スポーツ関係	犬	美容やメイクを学べる学校
スポーツ系	犬のトレーニング士	美容学
スポーツ系、動物系	言語が学べるIT系の学校	美容学校
スポーツ系、美容師	語学	美容関係
スポーツ系の	公務員	美容系
スポーツ健康	公務員(消防士)	美容系、ブライダル
スポーツ健康科	考古学専攻	美容系、公務員
スポーツ健康科学	航空	美容師
スポーツ専門	航空工学	美容師、ヘアメイクアップアーティスト
スポーツ選手のアシストなど	国際	美容師、メイクアップアーティスト
スポーツ的な	国際、観光	福祉
ダンス	国際関係	福祉、柔道整復師
ダンス(演劇)	司書	福祉、美容
データサイエンス	事務関係	福祉学

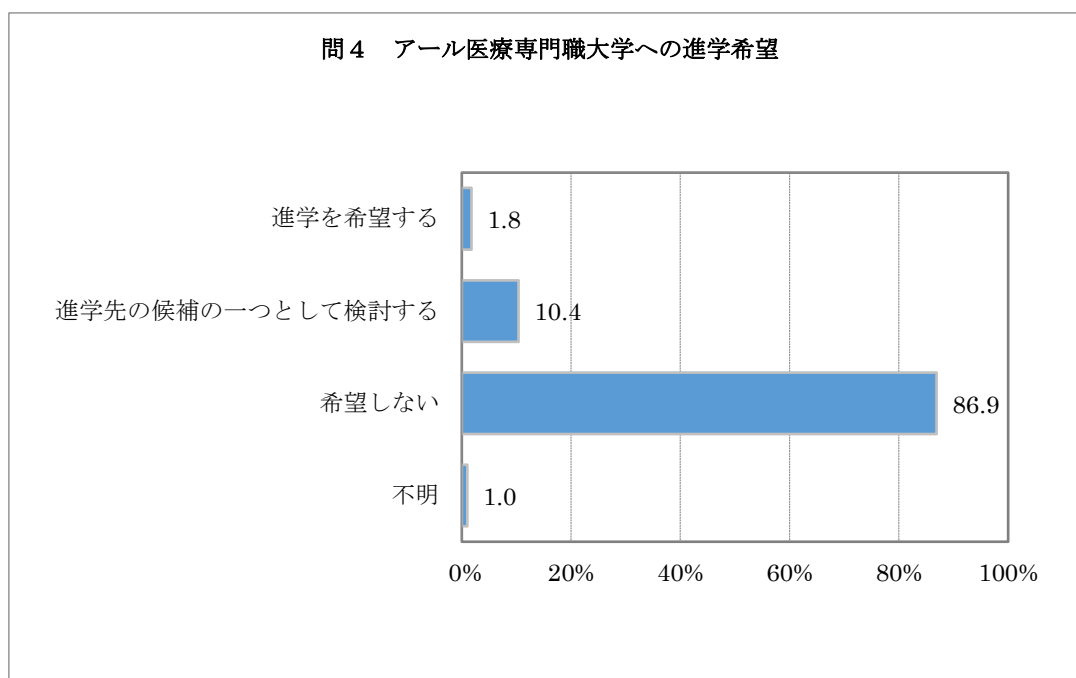
テレビスタッフ	事務系	福祉系
テレビのスタッフなどつながる映像系	自衛隊	分からない。決まってない。
テレビ系、ウエディング	自動車	文化交流
どこでもいい。	自動車系	防衛学
ドッグトレーナーなど	自動車工学	未定
トリマー	自動車整備	理学療法士
トリマー、動物	柔道整復師	理美容師
トリマー、動物科	獣	理容、美容
トリマー、美容	獣医	理容、美容、ファッション
トリマーなど動物に関わることができる仕事	獣医学	理容・美容系
トレーナー(ジム)	獣医学、スポーツ学	理容学校
バスケ	消防士	理容師、美容師
パティシエ	情報	陸上自衛隊
パティシエ、アパレル	心理学	臨床工学
ピアノ調律	新幹線運転士	お花
ファッション	整備	柔道整復、鍼灸
ファッション、メイク	生物	ウェディングプランナー、オリエンタルランド
ブライダル	生物について	美容科
ブライダル科	声優	ファッションビジネス、VMD
ブライダル学	声優、芸能	美容、動物など
ブライダル学科	声優専門学校	自動車関係
ブライダル関係	製菓	ドッグトレーナー、ブリーダー
ブライダル系	製菓、菓子	税理士
ブライダル系、美容系	製菓、調理、製パン	人間科学
プログラミング	専門職業	公務員専門
ヘアメイク	総合美容	コンピューター
ペットショップの店員	体育	ブライダル、ホテル
ペット関係	体育運動関係	理学療法学科
ホスピタリティ	体育科	スポーツ、トレーナー
ホテル、ウェディング	体育学	人間科学、スポーツ、救急救命
ホテル、ブライダル系	体育学、スポーツ生理学	健康医療スポーツ学
ホテル、獣医	体育学部	美容、理容、メイク
ホテルウーマン	体育系	体育関係
ホテルマン	知らない。	スポーツ、体育
ホテル学、美容	地方公務員	旅行、観光
ホテル接客等、観光	畜産学	スポーツマネジメント、体育
マスコミ、エンタメ学	調香	スポーツ、柔道整復師
マスコミ、芸能、声優系	調理	国際関係学
マスコミュニケーション科	調理(栄養)	法学部
マスメディア、音響	調理、製菓	栄養系
まだ2つに決められていない。	鉄道系	食系
まだ決まっていない。	天文学	美学
まだ決まってない。	動植物関係、アニマルセラピー	理美容
メイク	動物	言語聴覚
メイク、ウエディングプランナー	動物(トリマー)	テレビの裏方関係
メイク、美容	美容など	公務員
美容系、飲食関係	イラスト	ゴールキーパーコーチ
ゲームプログラム	ペットトリマー	美容、ウェディング関係
現代武道		

第2希望：153件（複数件数回答有）		
DJ	医療事務	情報学部
IT など	栄養	植物の類
IT 関係	栄養士	心理カウンセラー
TV 関係	音楽療法士	心理系
あまりまだ分からない。	音響	声優
インテリア	音響、AD など	専門学校の自動車分野
ウェディング	介護	体育
お金の入る仕事学、帝王学	介護士	体育、健康
キャリアウーマン	環境学	体育学
スポーツ	看護福祉	体育学、スポーツ
スポーツトレーナー	観光	体育教師、指導者
スポーツトレーナー、ゴルフコーチなど	観光学	体育系
スポーツ科	観光系	調理師
スポーツ学	気象予報士	通訳
スポーツ関連のもの	救急隊員	動物
スポーツ関連の仕事	芸能	動物、海洋学など
スポーツ系	決まってる。	動物に関して。
スポーツ系統	研究など	動物衛生看護
スポーツ健康	言語	動物看護
スポーツ健康学	語学	動物関係
ダンス	公務員	動物系
トリマー	航空	美容
ブライダル	国際	美容、ヘアメイク
ブライダルデザイナー	国際関係学	美容系
フラワー系	国際系	美容師
プロのアーチェリー選手	国際的な事に関する学部	美容専門学校
ペット	市役所	福祉
ホテル、ブライダル系	祉土学	福祉学
まだ決まっていない	事務	防衛学
まだ考えていない。	自営業	養護教諭
マンガ、アニメ、ゲーム	自衛官	理容師
ミュージカル	自衛隊	料理
メディア、芸能	獣医師	料理系
ロボット工学	消防士	考えていない
自動車		

問4 あなたは「アール医療専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。

進学希望については、「進学を希望する」が 136 人（1.8%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 799 人（10.4%）の結果となった。

	件数	%
1 進学を希望する	136	1.8
2 進学先の候補の一つとして検討する	799	10.4
3 希望しない	6703	86.9
不明	79	1.0
N（％ベース）	7717	100.0



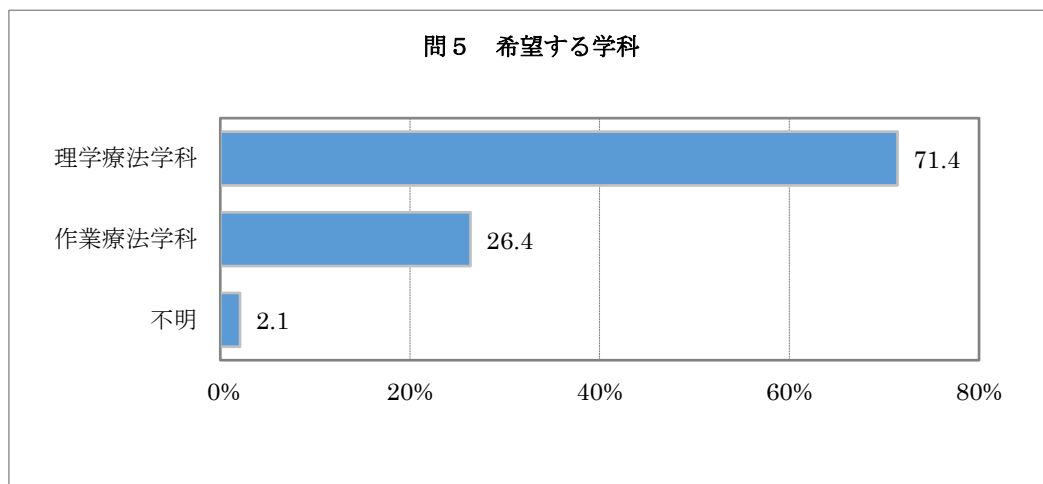
(問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者(935 人) による設問。

問 5 問 4 で「1、2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

進学を希望する学科を次の中から一つだけ選んでください。

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生(935 人)のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 668 人(71.4%)、作業療法学科への進学意向を示した学生は 247 人(26.4%)となった。

	件数	%
1 理学療法学科	668	71.4
2 作業療法学科	247	26.4
不明	20	2.1
N (%への入)	935	100.0



○ 問4 アール医療専門職大学への進学希望 × 問5 希望する学科

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問4（アール医療専門職大学への進学希望）と、問5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

（全体） N=9,578

		問5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
		上段:件数			
		下段:%			
問4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	935 100.0	668 71.4	247 26.4	20 2.1
	進学を希望する	136 100.0	99 72.8	28 20.6	9 6.6
	進学先の候補の一つとして 検討する	799 100.0	569 71.2	219 27.4	11 1.4

（追加調査） N=1,100

		問5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
		上段:件数			
		下段:%			
問4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	128 100.0	82 64.1	43 33.6	3 2.3
	進学を希望する	19 100.0	10 52.6	8 42.1	1 5.3
	進学先の候補の一つとして 検討する	109 100.0	72 66.1	35 32.1	2 1.8

○ 理学療法学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問 4 と問 5 のクロス集計表をもとに、特に理学療法学科に「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

問 4×問 5 クロス集計表 理学療法学科	単位：人		
	進学を希望 する	進学先の候補 の一つとして 検討する	合 計
全体	99	569	668
2 茨城県立 竜ヶ崎第一高等学校	－	14	14
4 私立 茨城高等学校	1	6	7
5 茨城県立 竹園高等学校	－	1	1
12 茨城県立 水海道第一高等学校	－	6	6
13 茨城県立 水戸桜ノ牧高等学校	－	10	10
14 茨城県立 下館第一高等学校	－	6	6
15 茨城県立 日立北高等学校	－	9	9
16 茨城県立 藤代高等学校	1	5	6
18 茨城県立 水戸第三高等学校	2	7	9
21 茨城県立 土浦第三高等学校	3	13	16
22 私立 東洋大学附属牛久高等学校	－	11	11
24 茨城県立 水戸商業高等学校	2	7	9
27 茨城県立 下館第二高等学校	－	9	9
28 茨城県立 下妻第二高等学校	－	16	16
29 茨城県立 石岡第一高等学校	1	20	21
30 茨城県立 取手第一高等学校	2	9	11
31 茨城県立 佐和高等学校	－	13	13
32 茨城県立 水海道第二高等学校	1	6	7
33 茨城県立 水戸工業高等学校	1	6	7
34 茨城県立 鹿島高等学校	2	15	17
35 私立 岩瀬日本大学高等学校	2	13	15
36 私立 茨城キリスト教学園高等学校	2	6	8
37 茨城県立 伊奈高等学校	－	8	8
38 茨城県立 多賀高等学校	1	6	7
39 茨城県立 土浦湖北高等学校	1	14	15
40 茨城県立 日立第二高等学校	3	6	9
41 私立 水城高等学校	2	14	16
42 茨城県立 古河第一高等学校	－	11	11
43 茨城県立 日立商業高等学校	8	7	15
44 茨城県立 麻生高等学校	1	4	5
45 私立 常磐大学高等学校	1	10	11
46 茨城県立 那珂高等学校	3	9	12
47 茨城県立 境高等学校	－	6	6
48 茨城県立 取手松陽高等学校	1	11	12
50 私立 つくば秀英高等学校	－	6	6
51 私立 霞ヶ浦高等学校	4	18	22
53 茨城県立 鉾田第二高等学校	5	3	8

問4×問5 クロス集計表 理学療法学科	単位：人		
	進学を希望 する	進学先の候補 の一つとして 検討する	合 計
54 茨城県立 中央高等学校	1	14	15
55 私立 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	－	3	3
56 私立 鹿島学園高等学校	3	9	12
58 茨城県立 守谷高等学校	4	7	11
59 茨城県立 波崎柳川高等学校	2	6	8
60 茨城県立 石岡商業高等学校	－	2	2
61 茨城県立 藤代紫水高等学校	2	12	14
62 茨城県立 鬼怒商業高等学校	3	2	5
63 茨城県立 取手第二高等学校	2	6	8
64 茨城県立 土浦工業高等学校	1	3	4
65 茨城県立 東海高等学校	1	4	5
66 私立 大成女子高等学校	1	8	9
67 茨城県立 つくば工科高等学校	2	3	5
68 茨城県立 石岡第二高等学校	1	7	8
69 私立 水戸啓明高等学校	8	20	28
70 私立 水戸葵陵高等学校	1	9	10
71 私立 明秀学園日立高等学校	2	8	10
72 茨城県立 竜ヶ崎第二高等学校	1	8	9
73 茨城県立 岩瀬高等学校	－	4	4
74 千葉県立 松戸馬橋高等学校	2	1	3
78 私立 我孫子二階堂高等学校	1	6	7
79 私立 中央学院高等学校	－	6	6
80 私立 日本体育大学柏高等学校	3	10	13
84 千葉県立 柏の葉高等学校	－	2	2
93 私立 西武台千葉高等学校	3	6	9
101 私立 福島県磐城第一高等学校	－	4	4
104 福島県立 喜多方高等学校	－	13	13
110 福島県立 相馬高等学校	1	12	13
113 茨城県立 江戸崎総合高等学校	－	3	3
114 茨城県立 筑波高等学校	－	1	1
115 私立 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	－	2	2
117 茨城県立 太田第一高等学校	2	11	13
118 茨城県立 並木中等教育学校	1	3	4
119 福島県立 小野高等学校	－	3	3
120 私立 江戸川学園取手高等学校	－	2	2
121 石巻市立 桜坂高等学校	－	3	3
122 私立 山本学園高等学校	1	5	6

※回答のあった高校のみ

○ 作業療法学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問 4 と問 5 のクロス集計表をもとに、特に作業療法学科に「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

問 4×問 5 クロス集計表 作業療法学科	単位：人		
	進学を希望 する	進学先の候補 の一つとして 検討する	合 計
全体	28	219	247
2 茨城県立 竜ヶ崎第一高等学校	1	2	3
12 茨城県立 水海道第一高等学校	－	2	2
13 茨城県立 水戸桜ノ牧高等学校	－	3	3
14 茨城県立 下館第一高等学校	－	6	6
15 茨城県立 日立北高等学校	－	5	5
18 茨城県立 水戸第三高等学校	1	5	6
21 茨城県立 土浦第三高等学校	1	2	3
22 私立 東洋大学附属牛久高等学校	－	1	1
27 茨城県立 下館第二高等学校	－	2	2
28 茨城県立 下妻第二高等学校	－	4	4
29 茨城県立 石岡第一高等学校	－	6	6
30 茨城県立 取手第一高等学校	－	3	3
31 茨城県立 佐和高等学校	1	9	10
32 茨城県立 水海道第二高等学校	－	7	7
33 茨城県立 水戸工業高等学校	1	4	5
34 茨城県立 鹿島高等学校	－	1	1
35 私立 岩瀬日本大学高等学校	－	6	6
36 私立 茨城キリスト教学園高等学校	1	1	2
37 茨城県立 伊奈高等学校	－	3	3
38 茨城県立 多賀高等学校	－	2	2
39 茨城県立 土浦湖北高等学校	2	1	3
40 茨城県立 日立第二高等学校	－	2	2
41 私立 水城高等学校	1	1	2
42 茨城県立 古河第一高等学校	－	5	5
43 茨城県立 日立商業高等学校	－	6	6
44 茨城県立 麻生高等学校	－	3	3
45 私立 常磐大学高等学校	－	2	2
46 茨城県立 那珂高等学校	－	3	3
47 茨城県立 境高等学校	－	1	1
48 茨城県立 取手松陽高等学校	－	6	6
50 私立 つくば秀英高等学校	1	－	1
51 私立 霞ヶ浦高等学校	2	7	9
53 茨城県立 鉾田第二高等学校	－	5	5
54 茨城県立 中央高等学校	－	2	2
55 私立 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	－	2	2
56 私立 鹿島学園高等学校	－	3	3

問4×問5 クロス集計表 作業療法学科	単位：人		
	進学を希望 する	進学先の候補 の一つとして 検討する	合 計
58 茨城県立 守谷高等学校	－	5	5
59 茨城県立 波崎柳川高等学校	2	－	2
60 茨城県立 石岡商業高等学校	－	1	1
61 茨城県立 藤代紫水高等学校	－	6	6
62 茨城県立 鬼怒商業高等学校	－	1	1
63 茨城県立 取手第二高等学校	－	4	4
64 茨城県立 土浦工業高等学校	－	1	1
65 茨城県立 東海高等学校	－	1	1
66 私立 大成女子高等学校	－	2	2
67 茨城県立 つくば工科高等学校	1	2	3
68 茨城県立 石岡第二高等学校	－	6	6
69 私立 水戸啓明高等学校	2	2	4
70 私立 水戸葵陵高等学校	－	4	4
71 私立 明秀学園日立高等学校	1	3	4
72 茨城県立 竜ヶ崎第二高等学校	－	6	6
78 私立 我孫子二階堂高等学校	1	4	5
79 私立 中央学院高等学校	－	3	3
80 私立 日本体育大学柏高等学校	1	6	7
85 千葉県立 柏南高等学校	－	3	3
93 私立 西武台千葉高等学校	1	3	4
101 私立 福島県磐城第一高等学校	－	1	1
104 福島県立 喜多方高等学校	－	6	6
110 福島県立 相馬高等学校	－	4	4
114 茨城県立 筑波高等学校	－	3	3
115 私立 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	2	1	3
116 私立 酒田南高等学校	－	1	1
117 茨城県立 太田第一高等学校	－	2	2
118 茨城県立 並木中等教育学校	2	6	8
120 私立 江戸川学園取手高等学校	1	7	8
121 石巻市立 桜坂高等学校	1	1	2
122 私立 山本学園高等学校	1	1	2

※回答のあった高校のみ

<アンケート調査票・リーフレット>

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート（無記名式）

このアンケート調査は、高校生の皆さんの卒業後の進路などについてお聞きし、学校法人筑波学園が構想する「アール医療専門職大学（仮称）」設置の基礎資料にするものです。専門職大学は、新しく制度化された高等教育機関です。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより集計処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。また、回答した内容によって、将来の選択について制限されることはありません。回答にあたっては、別紙のリーフレット及び裏面の「養成する人物像」をご覧ください。ご協力をお願いします。

（回答は、該当する番号を【回答欄】に直接ご記入ください。）

【 回答欄 】

問1 あなたの現住所についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1 茨城県 | 4 栃木県 | 7 神奈川県 |
| 2 千葉県 | 5 埼玉県 | 8 その他（具体的に |
| 3 福島県 | 6 東京都 | ） |

問2 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | |
|------------------------|---------------------|-------|--------------------------------------|
| 1 大学進学
（専門職大学を含む） | } 問3以下へ
お進みください。 | 4 就職 | } これでアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 2 短期大学
（専門職短期大学を含む） | | 5 その他 | |
| 3 専門学校進学 | | | |

【 問3以降は、問2で「1、2、3」のいずれかを回答された方におたずねします。 】

問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）
- 2 医学・歯学・薬学
- 3 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）
- 4 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）
- 5 社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）
- 6 芸術学（音楽、デザイン、美術など）
- 7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）
- 8 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）
- 9 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）
- 10 その他（具体的に

第1希望

第2希望

問4 リーフレットをご覧になって、あなたは「アール医療専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。

次の中か ら一つだけ選んでください。本調査票の裏面の養成する人物像もご覧ください。

- | | | | |
|------------------------|-------------------|---------|--------------------------------------|
| 1 進学を希望する | } 問5へ
お進みください。 | 3 希望しない | } これでアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 2 進学先の候補の一つ
として検討する | | | |

※ 回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません

問5 問4で「1、2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

進学を希望する学科を次の中から一つだけ選んでください。

- | | |
|----------|----------|
| 1 理学療法学科 | 2 作業療法学科 |
|----------|----------|

※ 回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

理学療法学科

理学療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が学習や遊びをより効果的・自発的に行うための姿勢や運動を支援・指導できることや身体のぎこちなさ等に関する問題分析し、教職員へ助言ができる能力等を修得し、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の身体機能に応じた運動プログラムを作成できる能力や運動指導・運動プログラム作成への関与とシステムの構築ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

作業療法学科

作業療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が日常生活や学習における協応動作を獲得するための支援やリスクマネジメントと姿勢保持・環境設定に関する教職員への助言できる能力等を修得して、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の閉じこもり、認知症、うつ傾向の方の心身機能を評価し、介護支援専門員等への助言・指導や日常生活環境についての福祉用具の導入・指導ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

リハビリテーションの未来を創造する



学校法人筑波学園では、茨城県でも専門学校としていち早くセラピストの養成に努めて参りました。この度、より高度な専門職業人材を育成し、地域に貢献できる人材を輩出するため、2022年4月にアール医療専門職大学（仮称）を開学予定です。

※アール医療専門職大学（仮称） 体育館・講義棟



2022年4月開学予定（設置構想中）

学校法人筑波学園 アール医療専門職大学（仮称） リハビリテーション学部 理学療法学科 / 作業療法学科

【修業年限】4年（両学科共通）【学位】理学療法学士 / 作業療法学士（専門職）
【取得可能資格】理学療法士 / 作業療法士国家試験受験資格



@専門職大学とは？

従来の大学の長所である学問的色彩の強い教育と、専門学校の長所である実践的な教育のそれぞれの能力を兼ね備えた人材育成を目的とした約55年ぶりに作られた新たな大学制度です。「豊かな創造力」と「高度な実践力」の両方を併せ持ちその専門分野の業界を牽引できるリーダーを養成します。



@専門職大学の特徴

1. 実習・実技中心のカリキュラム

専攻に係る職業分野である「職業専門科目」の中に位置づけられます。従来の専門学校と同様に卒業単位の概ね1/3以上で構成されており、より実践的な教育を行っていきます。

2. 専門領域の新たな可能性を広げる「展開科目」

専門職大学独自の科目であり、各大学や地域等によって内容が異なります。地域社会の問題解決に貢献できる専門分野以外の「+α」の学問を学び、専門職としての視野をさらに広げていきます。

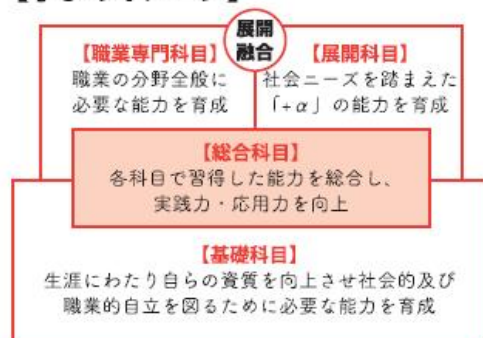
3. 専門職としての集大成「総合科目」

これまで習得した「基礎科目」「職業専門科目」「展開科目」の内容の総まとめとしてカリキュラム後半で様々な演習等を通して学びを深め、実践力・応用力を向上させていきます。

4. 研究者教員と実務家教員の配置

大学や研究機関等において優れた研究実績を持つ「研究者教員」と、実際の臨床現場において高度な実務能力を有する「実務家教員」がバランス良く在籍したカリキュラム構成となります。

【学びのイメージ】



研究者教員



実務家教員

アール医療専門職大学（仮称）の特徴

「臨床力」

病院実習だけでなく、理学療法士・作業療法士以外の様々な職種の方と幅広く関わりを持てるような経験を積むことで、リハビリテーション領域における総合的な臨床能力を高めていきます。



「研究力」

新たに研究棟を建設し「人間創成地域研究センター」を立ち上げる計画をしています。研究活動を行っていくことで、実際の臨床の現場において活用できるシステムとなっています。



「教育力」

新たに5号館（体育館・講義棟）を建設する計画をしています。「研究者教員」と「実務家教員」それぞれのスペシャリストにより、研究と臨床での学びを最大限に発揮できるカリキュラムを構成します。



※本計画は設置構想中であり、変更する可能性があります。

学科・職種紹介および競合校との学費比較

《理学療法学科（定員40名）》

●「総合的な臨床能力」を有し、社会から真に必要なとされる理学療法士を養成する

理学療法士とは、ストレッチ等による運動療法や温熱・電気等を利用した物理療法により、患者様の基本動作能力の回復を支援していく仕事です。



《作業療法学科（定員40名）》

●「ライフステージに合わせた支援ができる」作業療法士を養成する

作業療法士とは、病気や怪我などによって心身に障がいのある方に対し、諸機能の回復・維持を図るために日常的な動作や趣味活動を通じて支援していく仕事です。



《学費比較》

（単位：円）

大学名	学部・学科名	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計	2年次以降	4年間合計
アール医療専門職大学（仮称）	リハビリテーション学部 （理学療法学科・作業療法学科）	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000	1,450,000	6,100,000
つくば国際大学	医療保健学部 （理学療法学科のみ）	300,000	900,000	350,000	250,000	1,800,000	1,500,000	6,300,000
白川大学	保健医療学部	250,000	965,000	390,000	120,000	1,725,000	1,500,000	6,225,000

※出典「各大学のWebサイトに掲載の学納金」を用いて作成。

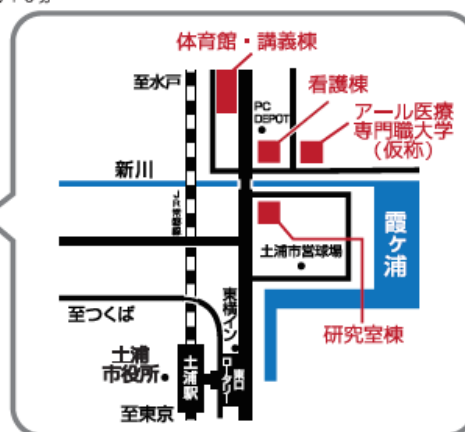
お問い合わせ・アクセス

▶ 学校法人筑波学園 アール医療福祉専門学校 《専門職大学 設置準備室》

〒300-0032 茨城県土浦市湖北2-10-35 TEL: 029-824-7611

URL: <https://a-ru.ac.jp/> Mail: t-kanazawa@tib-r.co.jp

■JR常磐線・上野駅より約70分、水戸駅より約45分、土浦駅下車 ■JR常磐線・土浦駅東口より徒歩約12分
■つくばエクスプレス・つくば駅より車・バスで約30分 ■茨城空港より車で約40分



アール医療専門職大学（仮称）への
入学意向に関するアンケート調査報告書

【 高校生対象 】

（令和３年４月～５月実施）

令和３年６月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜アンケート調査結果要旨＞	3
＜アンケート回収表＞	5
＜アンケート集計結果＞	9
○ クロス集計表（問4×問5）	18
○ 理学療法学科進学意向の高校内訳	19
○ 作業療法学科進学意向の高校内訳	20
＜アンケート調査票・リーフレット＞	21

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

本調査は、学校法人筑波学園において、令和 4 年 4 月にアール医療専門職大学（仮称）の開設を目指し、入学意向を把握することを目的とする。

2. 調査対象

東京都、埼玉県、千葉県、茨城県に所在する高等学校を選定し、高校 3 年生を対象に、アンケート調査を実施した。（回収表は P.7 参照）

3. 調査実施

令和 3 年 4～5 月実施

4. 調査方法

アンケート実施の承諾が得られた 11 校にアンケート調査票を郵送した。

なお、今回アンケートを実施した高等学校は、これまで令和 2 年 7～8 月及び令和 3 年 1～2 月、2～3 月に実施した高等学校と重複しない、新規に選定した高等学校を対象とする。ただし、調査票・リーフレットは同一のものを使用している。

また、令和 3 年度となり、令和 4 年 4 月開設時に入学生となる、アンケート実施時高校 3 年生を対象に調査を行った。

調査票の回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。調査票の回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

5. 回収状況

回収数 11 校 2,090 票。

＜アンケート調査結果要旨＞

【問１：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、1,075 人（51.4%）が「埼玉県」に居住し、以下、「茨城県」が 539 人（25.8%）、「東京都」が 283 人（13.5%）と続いている。

【問２：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 1,411 人（67.5%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 349 人（16.7%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が 59 人（2.8%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 247 人（11.8%）となっている。

問３以降は、問２で「1. 大学進学（専門職大学を含む）」、「2. 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3. 専門学校進学」のいずれかの回答者（1,819 人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

【問３：高校卒業後の進学希望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、第１希望について、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 357 人（19.6%）と最も多く、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 296 人（16.3%）、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が 258 人（14.2%）と続いている。

第２希望については、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が 345 人（19.0%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が 272 人（15.0%）、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が 242 人（13.3%）と続いている。

【問４：アール医療専門職大学への進学希望】

進学希望については、「進学を希望する」が 10 人（0.5%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が 75 人（4.1%）の結果となった。

(問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者 (85 人) による設問。

【 問 5 : 進学を希望する学科】

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生 (85 人) のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 64 人 (75.3%)、作業療法学科への進学意向を示した学生は 19 人 (22.4%) となった。

【 問 4×問 5 のクロス集計表】

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4 (アール医療専門職大学への進学希望と、問 5 (進学を希望する学科) との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

N=2,090

上段:件数 下段:%		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	85 100.0	64 75.3	19 22.4	2 2.4
	進学を希望する	10 100.0	7 70.0	1 10.0	2 20.0
	進学先の候補の一つとして 検討する	75 100.0	57 76.0	18 24.0	- -

＜アンケート回収表＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 回収表

回収日	県No.	所在県	No.	高 校 名	ナンバリング		回収数
R3. 5. 07	2	千葉県	1	千葉県立沼南高等学校	1561	1644	84
R3. 4. 24	1	茨城県	2	茨城県立下館工業高等学校	1	223	223
R3. 4. 24	6	埼玉県	3	春日部共栄高等学校	224	609	386
R3. 4. 24	6	埼玉県	4	埼玉県立草加南高等学校	610	864	255
R3. 4. 29	6	埼玉県	5	埼玉県立春日部東高等学校	865	904	40
R3. 4. 29	6	埼玉県	6	埼玉県立越谷西高等学校	905	977	73
R3. 4. 29	1	茨城県	7	茨城県立水戸第二高等学校	978	1272	295
R3. 4. 29	6	埼玉県	8	埼玉県立鷲宮高等学校	1273	1560	288
R3. 5. 06	7	東京都	9	潤徳女子高等学校	1645	1841	197
R3. 5. 06	7	東京都	10	北豊島高等学校	1842	1913	72
R3. 5. 24	7	東京都	11	共栄学園高等学校	1914	2090	177
計 11 校					計		2090

回収状況

高校所在地	回収校数	回収票数
茨城県	2 校	518 票
千葉県	1 校	84 票
埼玉県	5 校	1,042 票
東京都	3 校	446 票
計	11 校	2,090 票

＜アンケート集計結果＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 集計

〔有効回答票：2,090 票〕

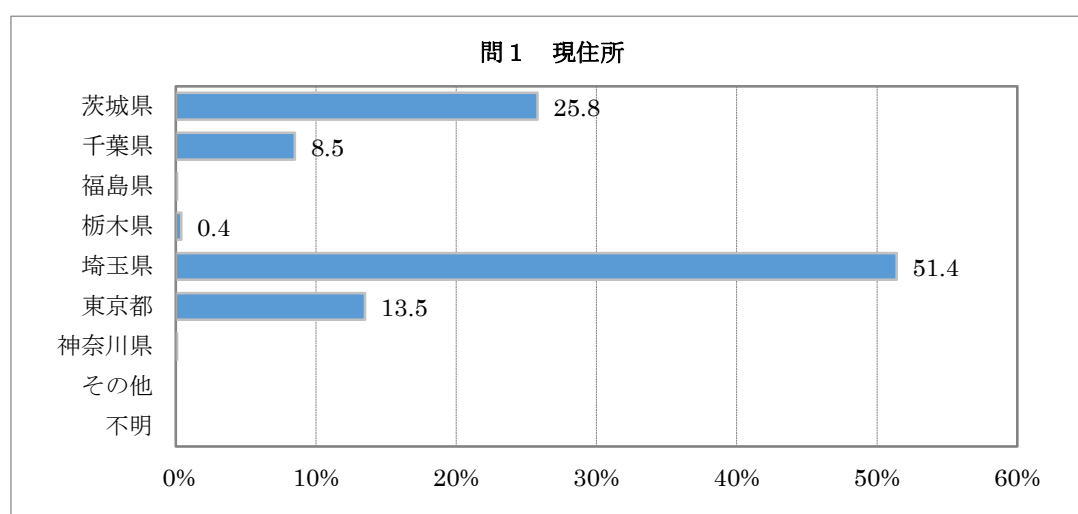
※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問1 あなたの現住所についておたずねします。

回答者の現住所について、1,075 人（51.4%）が「埼玉県」に居住し、以下、「茨城県」が 539 人（25.8%）、「東京都」が 283 人（13.5%）と続いている。

	件数	%
1 茨城県	539	25.8
2 千葉県	178	8.5
3 福島県	3	0.1
4 栃木県	8	0.4
5 埼玉県	1075	51.4
6 東京都	283	13.5
7 神奈川県	3	0.1
8 その他	1	0.05
N（%ベース）	2090	100.0

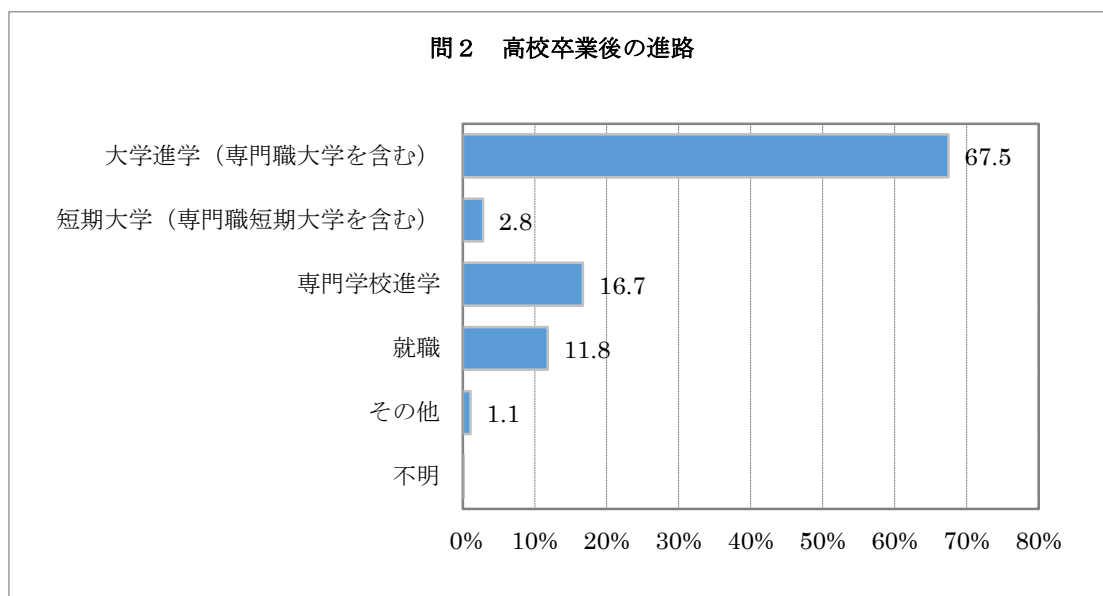
（「8 その他」の回答：なし）



問2 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が1,411人（67.5%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が349人（16.7%）、「短期大学（専門職短期大学を含む）」が59人（2.8%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が247人（11.8%）となっている。

	件数	%
1 大学進学（専門職大学を含む）	1411	67.5
2 短期大学（専門職短期大学を含む）	59	2.8
3 専門学校進学	349	16.7
4 就職	247	11.8
5 その他	22	1.1
不明	2	0.1
N（％ベース）	2090	100.0



（問3以降は、問2で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（1,819人）による設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

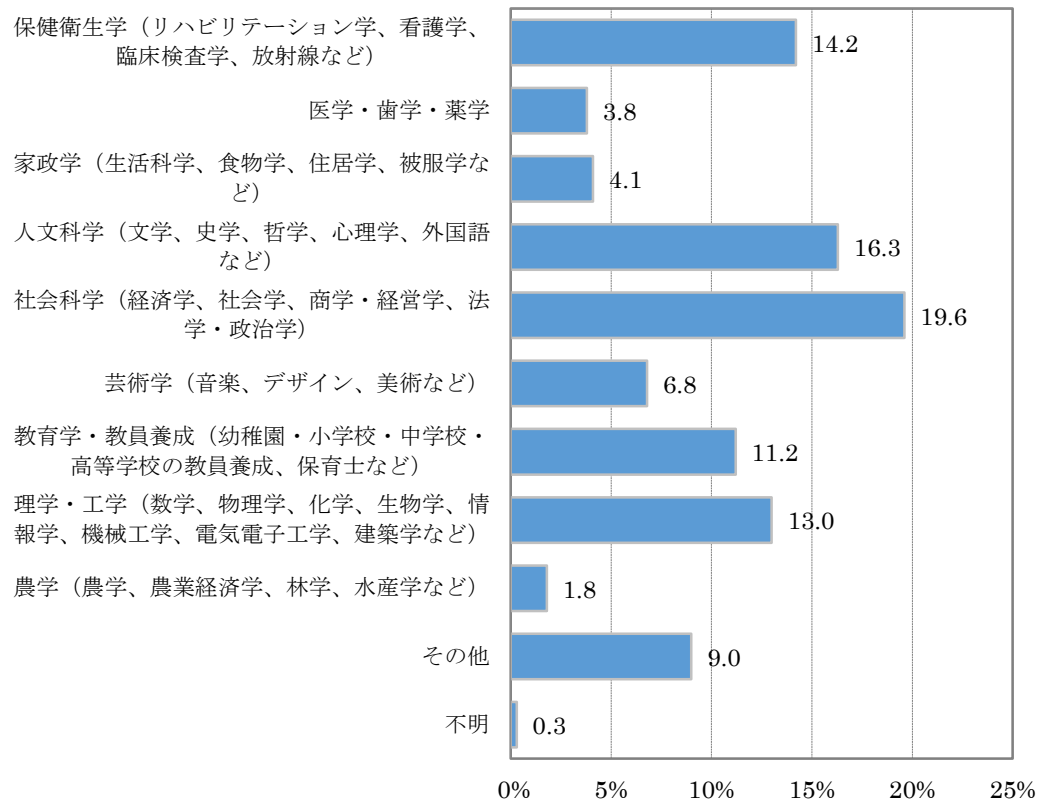
問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

回答者の卒業後の進学希望分野については、第1希望について、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が357人（19.6%）と最も多く、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が296人（16.3%）、「保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）」が258人（14.2%）と続いている。

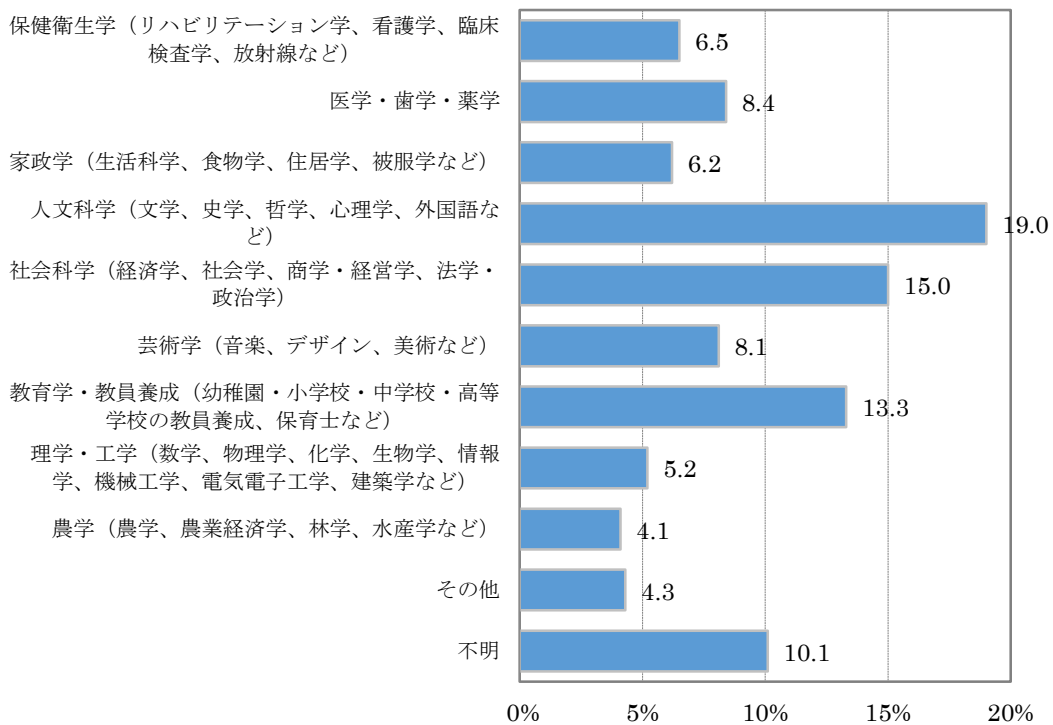
第2希望については、「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が345人（19.0%）、「社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）」が272人（15.0%）、「教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）」が242人（13.3%）と続いている。

	第1希望		第2希望	
	件数	%	件数	%
1 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）	258	14.2	118	6.5
2 医学・歯学・薬学	69	3.8	152	8.4
3 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	75	4.1	112	6.2
4 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	296	16.3	345	19.0
5 社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学）	357	19.6	272	15.0
6 芸術学（音楽、デザイン、美術など）	123	6.8	148	8.1
7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	203	11.2	242	13.3
8 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）	236	13.0	94	5.2
9 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）	32	1.8	74	4.1
10 その他	164	9.0	79	4.3
不明	6	0.3	183	10.1
N（%ベース）	1819	100.0	1819	100.0

問3 進学したい分野（第1希望）



問3 進学したい分野（第2希望）



(「10 その他」の回答)

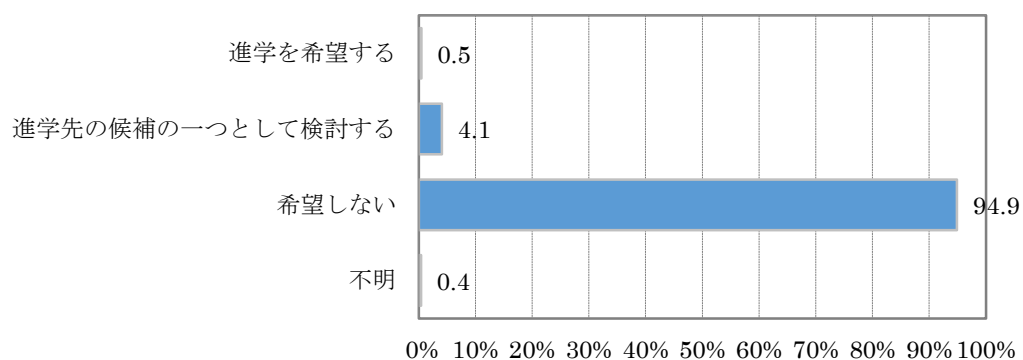
第1希望：132件（複数件数回答有）		
Web デザイン	医療事務、美容	体育大学
イラスト、アニメ学科	映像	地球環境
イラストレーション	栄養	調理、スポーツ系
エアライン科	栄養学	調理、栄養
エステ	栄養学校、調理師科	調理、製菓
ゲームクリエイター	化粧品開発	調理師
スポーツ	介護福祉	動物
スポーツ、健康など	介護福祉士、社会福祉士	動物、トリマー
スポーツ、体育	観光	動物の看護師
スポーツビジネス	観光学	動物看護
スポーツマネジメント	危険管理学、体育	動物看護学
スポーツ科学	語学	動物関係
スポーツ関係	公務員	動物飼育
スポーツ健康科学	国際	美容
ダンス	国際学	美容、トリマー
トリマー	国際学部	美容、舞台関係
トリマー、ホテルブライダル	国際関係	美容、理容
パイロット養成	国際教養	美容関係
ビジネス系	市役所にある観光所	美容系
ファッション	自動車整備	美容師、ヘアメイクアーティスト
ファッション、美容	車体整備	服飾
ブライダル	獣医学	福祉
ブライダル、美容	製菓	福祉学
ホテル、ブライダル	製菓、製パン	簿記
ホテル、観光	体育、スポーツ学	法律
ホテル科	体育系	理美容
医療	体育専門	理容、美容関係
医療事務		
第2希望：35件（複数件数回答有）		
アニメ	栄養学	製菓
アニメーション関係	介護系	動物関係の仕事に就けるもの
アニメの仕事	観光学	動物系
アニメを作る仕事	芸能系	美容
ゲーム	国際	美容系
ゲームクリエイター関係	国際学	福祉
スポーツトレーナー、警察官	自動車等	福祉学
スポーツ関係	就職	仏教
メディア	情報科	旅行系
メディア系	生命科学	語学
医療事務		

問4 あなたは「アール医療専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。

進学希望については、「進学を希望する」が10人（0.5%）、「進学先の候補の一つとして検討する」が75人（4.1%）の結果となった。

	件数	%
1 進学を希望する	10	0.5
2 進学先の候補の一つとして検討する	75	4.1
3 希望しない	1727	94.9
不明	7	0.4
N（％ベース）	1819	100.0

問4 アール医療専門職大学への進学希望



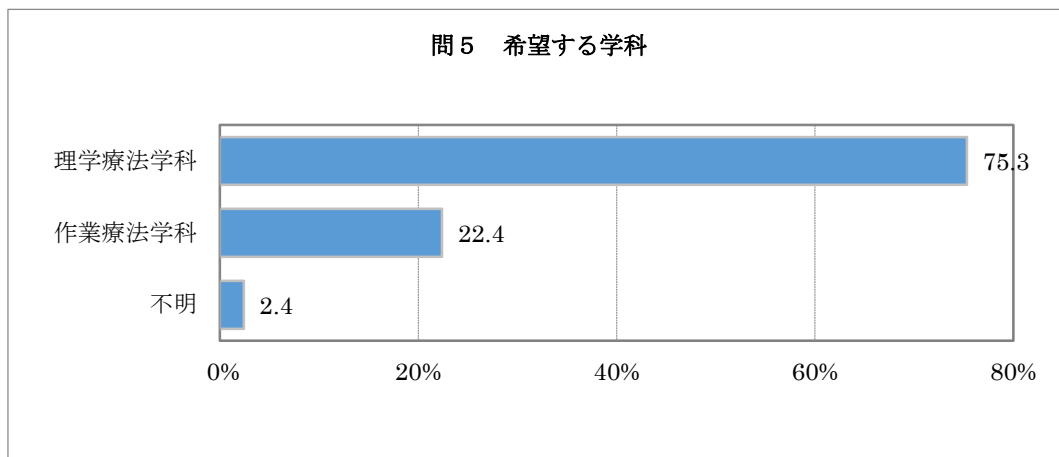
（問 5 は、問 4 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかの回答者（85 人）による設問。

問 5 問 4 で「1、2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

進学を希望する学科を次の中から一つだけ選んでください。

問 4 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかを選択した学生（85 人）のうち、理学療法学科への進学意向を示した学生は 64 人（75.3%）、作業療法学科への進学意向を示した学生は 19 人（22.4%）となった。

	件数	%
1 理学療法学科	64	75.3
2 作業療法学科	19	22.4
不明	2	2.4
N（% [＊] -λ）	85	100.0



○ 問 4 アール医療専門職大学への進学希望 × 問 5 希望する学科

学生確保に向け慎重な分析が必要であるところ、特に問 4（アール医療専門職大学への進学希望）と、問 5（進学を希望する学科）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

N=2,090

		問 5 希望する学科			
		合計	理学療法 学科	作業療法 学科	不明
	上段:件数				
	下段:%				
問 4 アール医療専門職大学への 進学希望	全体	85	64	19	2
		100.0	75.3	22.4	2.4
	進学を希望する	10	7	1	2
		100.0	70.0	10.0	20.0
	進学先の候補の一つとして 検討する	75	57	18	－
		100.0	76.0	24.0	－

○ 理学療法学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問 4 と問 5 のクロス集計表をもとに、特に理学療法学科に「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

問 4×問 5 クロス集計表 理学療法学科	単位：人		
	進学を希望 する	進学先の候補 の一つとして 検討する	合 計
全体	7	57	64
千葉県立沼南高等学校	1	4	5
茨城県立下館工業高等学校	－	6	6
春日部共栄高等学校	2	11	13
埼玉県立草加南高等学校	3	10	13
埼玉県立春日部東高等学校	－	2	2
埼玉県立越谷西高等学校	－	2	2
茨城県立水戸第二高等学校	－	7	7
埼玉県立鷲宮高等学校	－	10	10
潤徳女子高等学校	－	3	3
北豊島高等学校	－	－	－
共栄学園高等学校	1	2	3

○ 作業療法学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問 4 と問 5 のクロス集計表をもとに、特に作業療法学科に「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

問 4×問 5 クロス集計表 作業療法学科	単位：人		
	進学を希望 する	進学先の候補 の一つとして 検討する	合 計
全体	1	18	19
千葉県立沼南高等学校	－	－	－
茨城県立下館工業高等学校	－	－	－
春日部共栄高等学校	－	5	5
埼玉県立草加南高等学校	－	2	2
埼玉県立春日部東高等学校	－	－	－
埼玉県立越谷西高等学校	－	2	2
茨城県立水戸第二高等学校	－	3	3
埼玉県立鷺宮高等学校	－	2	2
潤徳女子高等学校	－	1	1
北豊島高等学校	－	2	2
共栄学園高等学校	1	1	2

<アンケート調査票・リーフレット>

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート（無記名式）

このアンケート調査は、高校生の皆さんの卒業後の進路などについてお聞きし、学校法人筑波学園が構想する「アール医療専門職大学（仮称）」設置の基礎資料にするものです。専門職大学は、新しく制度化された高等教育機関です。なお、このアンケート調査の結果は、コンピュータにより集計処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。また、回答した内容によって、将来の選択について制限されることはありません。回答にあたっては、別紙のリーフレット及び裏面の「養成する人物像」をご覧ください。ご協力をお願いします。

（回答は、該当する番号を【回答欄】に直接ご記入ください。）

【 回答欄 】

問1 あなたの現住所についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1 茨城県 | 4 栃木県 | 7 神奈川県 |
| 2 千葉県 | 5 埼玉県 | 8 その他（具体的に |
| 3 福島県 | 6 東京都 | ） |

問2 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | |
|------------------------|---------------------|-------|--------------------------------------|
| 1 大学進学
（専門職大学を含む） | } 問3以下へ
お進みください。 | 4 就職 | } これでアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 2 短期大学
（専門職短期大学を含む） | | 5 その他 | |
| 3 専門学校進学 | | | |

【 問3以降は、問2で「1、2、3」のいずれかを回答された方におたずねします。 】

問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- | | |
|--|------|
| 1 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など） | 第1希望 |
| 2 医学・歯学・薬学 | |
| 3 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など） | 第2希望 |
| 4 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など） | |
| 5 社会科学（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学） | |
| 6 芸術学（音楽、デザイン、美術など） | |
| 7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など） | |
| 8 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など） | |
| 9 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など） | |
| 10 その他（具体的に | |

問4 リーフレットをご覧になって、あなたは「アール医療専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。

次の中か ら一つだけ選んでください。本調査票の裏面の養成する人物像もご覧ください。

- | | | | |
|------------------------|-------------------|---------|--------------------------------------|
| 1 進学を希望する | } 問5へ
お進みください。 | 3 希望しない | } これでアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。 |
| 2 進学先の候補の一つ
として検討する | | | |

※ 回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません

問5 問4で「1、2」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

進学を希望する学科を次の中から一つだけ選んでください。

- | | |
|----------|----------|
| 1 理学療法学科 | 2 作業療法学科 |
|----------|----------|

※ 回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

理学療法学科

理学療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が学習や遊びをより効果的・自発的に行うための姿勢や運動を支援・指導できることや身体のぎこちなさ等に関する問題分析し、教職員へ助言ができる能力等を修得し、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の身体機能に応じた運動プログラムを作成できる能力や運動指導・運動プログラム作成への関与とシステムの構築ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

作業療法学科

作業療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が日常生活や学習における協応動作を獲得するための支援やリスクマネジメントと姿勢保持・環境設定に関する教職員への助言できる能力等を修得して、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の閉じこもり、認知症、うつ傾向の方の心身機能を評価し、介護支援専門員等への助言・指導や日常生活環境についての福祉用具の導入・指導ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

リハビリテーションの未来を創造する



学校法人筑波学園では、茨城県でも専門学校としていち早くセラピストの養成に努めて参りました。この度、より高度な専門職業人材を育成し、地域に貢献できる人材を輩出するため、2022年4月にアール医療専門職大学（仮称）を開学予定です。

※アール医療専門職大学（仮称） 体育館・講義棟



2022年4月開学予定（設置構想中）

学校法人筑波学園 アール医療専門職大学（仮称） リハビリテーション学部 理学療法学科 / 作業療法学科

【修業年限】4年（両学科共通）【学位】理学療法学士 / 作業療法学士（専門職）

【取得可能資格】理学療法士 / 作業療法士国家試験受験資格



@専門職大学とは？

従来の大学の長所である学問的色彩の強い教育と、専門学校の長所である実践的な教育のそれぞれの能力を兼ね備えた人材育成を目的とした約55年ぶりに作られた新たな大学制度です。「豊かな創造力」と「高度な実践力」の両方を併せ持ちその専門分野の業界を牽引できるリーダーを養成します。



@専門職大学の特徴

1. 実習・実技中心のカリキュラム

専攻に係る職業分野である「職業専門科目」の中に位置づけられます。従来の専門学校と同様に卒業単位の概ね1/3以上で構成されており、より実践的な教育を行っていきます。

2. 専門領域の新たな可能性を広げる「展開科目」

専門職大学独自の科目であり、各大学や地域等によって内容が異なります。地域社会の問題解決に貢献できる専門分野以外の「+α」の学問を学び、専門職としての視野をさらに広げていきます。

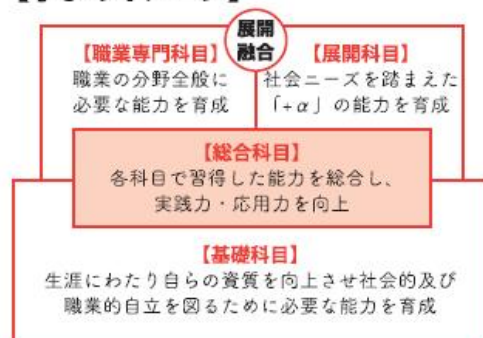
3. 専門職としての集大成「総合科目」

これまで習得した「基礎科目」「職業専門科目」「展開科目」の内容の総まとめとしてカリキュラム後半で様々な演習等を通して学びを深め、実践力・応用力を向上させていきます。

4. 研究者教員と実務家教員の配置

大学や研究機関等において優れた研究実績を持つ「研究者教員」と、実際の臨床現場において高度な実務能力を有する「実務家教員」がバランス良く在籍したカリキュラム構成となります。

【学びのイメージ】



研究者教員



実務家教員

アール医療専門職大学（仮称）の特徴

「臨床力」

病院実習だけでなく、理学療法士・作業療法士以外の様々な職種の方と幅広く関わりを持てるような経験を積むことで、リハビリテーション領域における総合的な臨床能力を高めていきます。



「研究力」

新たに研究棟を建設し「人間創成地域研究センター」を立ち上げる計画をしています。研究活動を行っていくことで、実際の臨床の現場において活用できるシステムとなっています。



「教育力」

新たに5号館（体育館・講義棟）を建設する計画をしています。「研究者教員」と「実務家教員」それぞれのスペシャリストにより、研究と臨床での学びを最大限に発揮できるカリキュラムを構成します。



※本計画は設置構想中であり、変更する可能性があります。

学科・職種紹介および競合校との学費比較

《理学療法学科（定員40名）》

●「総合的な臨床能力」を有し、社会から真に必要なとされる理学療法士を養成する

理学療法士とは、ストレッチ等による運動療法や温熱・電気等を利用した物理療法により、患者様の基本動作能力の回復を支援していく仕事です。



《作業療法学科（定員40名）》

●「ライフステージに合わせた支援ができる」作業療法士を養成する

作業療法士とは、病気や怪我などによって心身に障がいのある方に対し、諸機能の回復・維持を図るために日常的な動作や趣味活動を通じて支援していく仕事です。



《学費比較》

（単位：円）

大学名	学部・学科名	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計	2年次以降	4年間合計
アール医療専門職大学（仮称）	リハビリテーション学部 （理学療法学科・作業療法学科）	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000	1,450,000	6,100,000
つくば国際大学	医療保健学部 （理学療法学科のみ）	300,000	900,000	350,000	250,000	1,800,000	1,500,000	6,300,000
白鳥大学	保健医療学部	250,000	965,000	390,000	120,000	1,725,000	1,500,000	6,225,000

※出典「各大学のWebサイトに掲載の学納金」を用いて作成。

お問い合わせ・アクセス

▶ 学校法人筑波学園 アール医療福祉専門学校 《専門職大学 設置準備室》

〒300-0032 茨城県土浦市湖北2-10-35 TEL: 029-824-7611

URL: <https://a-ru.ac.jp/> Mail: t-kanazawa@tib-r.co.jp

■JR常磐線・上野駅より約70分、水戸駅より約45分、土浦駅下車 ■JR常磐線・土浦駅東口より徒歩約12分
■つくばエクスプレス・つくば駅より車・バスで約30分 ■茨城空港より車で約40分



アール医療福祉専門学校の定員充足状況

(単位：人)

学科名/年度 (開設年度)		平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	合計	受験率 入学率
看護学科 (平成21年度)	入学定員		40	40	40	120	2.05
	受験者		84	79	83	246	
	合格者		43	47	45	135	0.90
	入学者		39	40	42	121	
	定員充足率		0.98	1.00	1.05	1.01	
理学療法学科 (平成13年度)	入学定員	40	40	40	40	160	1.36
	受験者	45	49	46	77	217	
	合格者	44	45	42	44	175	0.95
	入学者	39	42	41	44	166	
	定員充足率	0.98	1.05	1.03	1.10	1.04	
作業療法学科 (平成13年度)	入学定員	40	40	40	40	160	0.84
	受験者	22	27	33	53	135	
	合格者	21	27	30	48	126	0.91
	入学者	19	25	27	44	115	
	定員充足率	0.48	0.63	0.68	1.10	0.72	
介護福祉学科 (平成10年度) 注1	入学定員			40	40	80	0.59
	受験者			21	26	47	
	合格者			19	23	42	0.88
	入学者			17	20	37	
	定員充足率			0.43	0.50	0.46	
日本語学科 (1年6か月コース) (平成30年度) 注2	入学定員			20		20	0.35
	受験者			7		7	
	合格者			7		7	0.14
	入学者			1		1	
	定員充足率			0.05		0.05	
日本語学科 (1年コース) (平成30年度)	入学定員				20	20	1.45
	受験者				29	29	
	合格者				16	16	0.00
	入学者				0	0	
	定員充足率				0.00	0.00	
医療事務学科 (令和2年度)	入学定員				20	20	0.60
	受験者				12	12	
	合格者				12	12	1.00
	入学者				12	12	
	定員充足率				0.60	0.60	
ITビジネス学科 (令和2年度)	入学定員				20	20	1.45
	受験者				29	29	
	合格者				23	23	0.91
	入学者				21	21	
	定員充足率				1.05	1.05	

出典：「学校基本調査 学校調査票（専修学校）」より実数を抜粋して作成。

注1：介護福祉学科は、公共職業訓練生を含む。

注2：日本語学科1年6か月コースは、10月入学のため令和2年度のデータはない。

定員充足率（入学者/定員）が1.0倍未満は、0.00で表記した。

受験率＝志願者/入学定員、入学率＝入学者/合格者

アール医療福祉専門学校のオープンキャンパス実施状況

(単位：人)

学科名/年度		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
看護学科	参加者	160	156	170	183	195
	割合	100%	98%	106%	114%	122%
理学療法学科	参加者	136	162	142	171	176
	割合	100%	119%	104%	126%	129%
作業療法学科	参加者	69	91	110	86	103
	割合	100%	132%	159%	125%	149%
介護福祉学科	参加者	46	40	59	52	52
	割合	100%	87%	128%	113%	113%
医療事務学科 (注1)	参加者	19	18	27	10	29
	割合	100%	95%	142%	53%	153%
I T ビジネス学科 (注2)	参加者	16	16	70	88	48
	割合	100%	100%	438%	550%	300%
合 計	参加者	446	483	578	590	603
	割合	100%	108%	130%	132%	135%

出典：「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。

注1：平成30年度以前は、アール情報ビジネス専門学校医療秘書学科のデータ。

注2：平成30年度以前は、アール情報ビジネス専門学校総合ビジネス学科のデータ。

アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況

理学療法学科

区 分 入学年月(卒業年)		受験者	合格者	入学者	入学 定員	定員 充足率	受験率	競合校の状況 * 本校の取組
		a		b	c	d/c	a/c	
令和2年4月 (令和6年卒)	1年	77	44	44	40	1.10	1.93	* 教育課程を変更する。
平成31年4月 (令和5年卒)	2年	46	42	41	40	1.03	1.15	
平成30年4月 (令和4年卒)	3年	49	45	42	40	1.05	1.23	
平成29年4月 (令和3年卒)	4年	45	44	39	40	0.98	1.13	* AO入試を導入する。東北5県への高校訪問を開始する。
平成28年4月 (令和2年卒)	16期生	45	44	35	40	0.88	1.13	* 指定校推薦入試を導入する。
平成27年4月 (令和元年卒)	15期生	41	39	32	40	0.80	1.03	
平成26年4月 (平成30年卒)	14期生	67	47	44	40	1.10	1.68	千葉・柏リハビリテーション学院理学療法学科3年課程(入学定員:80名)へ移行
平成25年4月 (平成29年卒)	13期生	67	42	41	40	1.03	1.68	
平成24年4月 (平成28年卒)	12期生	69	47	40	40	1.00	1.73	
平成23年4月 (平成27年卒)	11期生	75	46	40	40	1.00	1.88	
平成22年4月 (平成26年卒)	10期生	80	47	45	40	1.13	2.00	帝京科学大学医療科学部東京理学療法学科(入学定員:80名)東京都足立区千住に開校
平成21年4月 (平成25年卒)	9期生	61	43	40	40	1.00	1.53	* 千葉県、福島県への高校訪問を開始する。
平成20年4月 (平成24年卒)	8期生	80	48	44	40	1.10	2.00	医療専門学校水戸メディカルカレッジ理学療法学科3年課程(入学定員:40名)茨城県水戸市に開校
平成19年4月 (平成23年卒)	7期生	123	51	41	40	1.03	3.08	つくば国際大学保健医療学部理学療法学科(入学定員:80名)茨城県土浦市に開校
平成18年4月 (平成22年卒)	6期生	149	45	44	40	1.10	3.73	
平成17年4月 (平成21年卒)	5期生	154	53	48	40	1.20	3.85	目白大学保健医療学部理学療法学科(入学定員:80名)埼玉県さいたま市に開校
平成16年4月 (平成20年卒)	4期生	173	58	47	40	1.18	4.33	
平成15年4月 (平成19年卒)	3期生	210	53	46	40	1.15	5.25	
平成14年4月 (平成18年卒)	2期生	201	57	42	40	1.05	5.03	帝京平成大学健康メディカル学部理学療法学科(入学定員:80名)千葉県千葉市に開校
平成13年4月 (平成17年卒)	1期生	242	51	44	40	1.10	6.05	千葉・柏リハビリテーション学院理学療法学科4年課程(入学定員:80名)千葉県柏市に開校
合 計		2,054	946	839	800	1.05	2.57	平成7年4月 茨城県立医療大学保健福祉部理学療法学科(入学定員:40名)茨城県阿見町に開校

出典:「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。

アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況

作業療法学科

区 分 入学年月(卒業年)		受験者	合格者	入学者	入学 定員	定員 充足率	受験率	競合校の状況 * 本校の取組
		a		b	c	d/c	a/c	
令和2年4月 (令和6年卒)	1年	53	48	44	40	1.10	1.33	* 教育課程を変更する。
平成31年4月 (令和5年卒)	2年	33	30	27	40	0.68	0.83	
平成30年4月 (令和4年卒)	3年	27	27	25	40	0.63	0.68	
平成29年4月 (令和3年卒)	4年	22	21	19	40	0.48	0.55	* AO入試を導入する。東北5県への高校訪問を開始する。
平成28年4月 (令和2年卒)	16期生	28	22	20	40	0.50	0.70	* 指定校推薦入試を導入する。
平成27年4月 (令和元年卒)	15期生	26	22	21	40	0.53	0.65	
平成26年4月 (平成30年卒)	14期生	32	29	29	40	0.73	0.80	千葉・柏リハビリテーション学院作業療法学科3年課程(入学定員:40名)へ移行
平成25年4月 (平成29年卒)	13期生	41	40	34	40	0.85	1.03	
平成24年4月 (平成28年卒)	12期生	30	29	25	40	0.63	0.75	
平成23年4月 (平成27年卒)	11期生	39	38	31	40	0.78	0.98	
平成22年4月 (平成26年卒)	10期生	43	39	37	40	0.93	1.08	
平成21年4月 (平成25年卒)	9期生	35	33	30	40	0.75	0.88	* 千葉県、福島県への高校訪問を開始する。
平成20年4月 (平成24年卒)	8期生	53	43	34	40	0.85	1.33	医療専門学校水戸メディカルカレッジ理学療法学科3年課程(入学定員:40名)茨城県水戸市に開校
平成19年4月 (平成23年卒)	7期生	63	45	36	40	0.90	1.58	つくば国際大学保健医療学部理学療法学科(入学定員:80名)茨城県土浦市に開校
平成18年4月 (平成22年卒)	6期生	90	46	44	40	1.10	2.25	
平成17年4月 (平成21年卒)	5期生	98	46	42	40	1.05	2.45	目白大学保健医療学部作業療法学科(入学定員:60名)埼玉県さいたま市に開校
平成16年4月 (平成20年卒)	4期生	78	54	44	40	1.10	1.95	
平成15年4月 (平成19年卒)	3期生	88	53	45	40	1.13	2.20	
平成14年4月 (平成18年卒)	2期生	84	48	42	40	1.05	2.10	帝京平成大学健康メディカル学部作業療法学科(入学定員:40名)千葉県千葉市に開校
平成13年4月 (平成17年卒)	1期生	88	50	40	40	1.00	2.20	千葉・柏リハビリテーション学院作業療法学科4年課程(入学定員:40名)千葉県柏市に開校
合 計		1,051	763	669	800	0.84	1.31	平成7年4月 茨城県立医療大学保健福祉部理学療法学科(入学定員:40名)茨城県阿見町に開校

出典:「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。

アール医療福祉専門学校の受験率及び競合校の状況

介護福祉学科

入学年月(卒業年)		受験者 a	合格者	入学者			入学 定員 c	定員 充足率 b/c	受験率 a/c	国家試験			茨城県内競合校の状況 * 本校の取組
				b	訓練生 (内数)	留学生 (内数)				受験者	合格者	合格率	
令和2年4月 (令和4年卒)	1年	26	22	20	2	4	40	0.50	0.65				水戸看護福祉専門学校 募集停止 大原医療福祉専門学校水戸校 募集停止
平成31年4月 (令和3年卒)	2年	21	19	17	2	4	40	0.43	0.53				
平成30年4月 (令和2年卒)	21期生	23	21	20	4	6	80	0.25	0.29	17	15	88.2	* 日本語学科を開設する。
平成29年4月 (令和元年卒)	20期生	23	21	19	6	1	80	0.24	0.29	16	16	100.0	リリーこども&スポーツ専門学校 募集再開 * AO入試を導入する。
平成28年4月 (平成30年卒)	19期生	28	28	28	14	1	80	0.33	0.35	18	16	88.9	リリーこども&スポーツ専門学校 募集停止 * 留学生の受入開始。国家試験受験開始。 * 指定校推薦入試を導入する。
平成27年4月 (平成29年卒)	18期生	21	21	21	6		80	0.26	0.26				* 施設奨学金を導入する。
平成26年4月 (平成28年卒)	17期生	37	32	31	10		80	0.39	0.46				
平成25年4月 (平成27年卒)	16期生	38	37	35	11		80	0.44	0.48				大原医療福祉専門学校水戸校(水戸市)介護福祉学科開校 入学定員:40名
平成24年4月 (平成26年卒)	15期生	50	47	44	20		80	0.55	0.63				
平成23年4月 (平成25年卒)	14期生	40	40	34	12		80	0.43	0.50				
平成22年4月 (平成24年卒)	13期生	59	55	51	19		80	0.64	0.74				* 公共職業訓練生の受入れを開始する。
平成21年4月 (平成23年卒)	12期生	18	16	15			80	0.19	0.23				* 千葉県、福島県への高校訪問を開始する。
平成20年4月 (平成22年卒)	11期生	17	17	15			80	0.19	0.21				水戸看護福祉専門学校(水戸市)介護福祉学科開校 入学定員:40名
平成19年4月 (平成21年卒)	10期生	41	41	37			80	0.46	0.51				
平成18年4月 (平成20年卒)	9期生	62	56	54			80	0.68	0.78				
平成17年4月 (平成19年卒)	8期生	100	92	90			80	1.13	1.25				
平成16年4月 (平成18年卒)	7期生	114	93	88			80	1.10	1.43				筑波総合福祉専門学校(つくば市)介護福祉学科開校 入学定員:40名
平成15年4月 (平成17年卒)	6期生	117	91	88			80	1.10	1.46				
平成14年4月 (平成16年卒)	5期生	101	90	90			80	1.13	1.26				
平成13年4月 (平成15年卒)	4期生	103	86	86			80	1.08	1.29				
平成12年4月 (平成14年卒)	3期生	84	44	44			40	1.10	2.10				
平成11年4月 (平成13年卒)	2期生	74	44	44			40	1.10	1.85				
平成10年4月 (平成12年卒)	1期生	37	36	30			40	0.75	0.93				
合 計		1,234	1,049	999	106	16	1,320	0.76	0.93	51	47	92.1	平成元年 リリー保育福祉専門学校(水戸市)介護福祉学科開校 入学定員:80名 平成9年 いばらき中央福祉専門学校(水戸市)介護福祉学科開校 入学定員:80名

出典:「学校保有データ」より実数を抜粋して作成。

競合校との学費比較

理学療法学科（令和3年度生募集）

（単位：円）

大学名	学部名	所在地	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計	2年次以降	4年間合計
茨城県立医療大学 注1	保健医療学部	茨城県稲敷郡阿見町	282,000	535,800			817,800	535,800	2,425,200
つくば国際大学	医療保健学部	千葉県市原市	300,000	900,000	350,000	250,000	1,800,000	1,500,000	6,300,000
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	千葉県千葉市	300,000	840,000	530,000		1,670,000	1,370,000	5,780,000
目白大学	保健医療学部	埼玉県さいたま市	250,000	965,000	390,000	120,000	1,725,000	1,500,000	6,225,000
アール医療福祉専門学校	4年課程	茨城県土浦市	300,000	800,000	250,000	150,000	1,500,000	1,200,000	5,100,000
アール医療専門職大学	リハビリテーション学部	茨城県土浦市	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000	1,450,000	6,100,000

作業療法学科（令和3年度生募集）

（単位：円）

大学名	学部	所在地	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計	2年次以降	4年間合計
茨城県立医療大学 注1	保健医療学部	茨城県稲敷郡阿見町	282,000	535,800			817,800	535,800	2,425,200
帝京平成大学	健康医療スポーツ学部	千葉県市原市	300,000	840,000	530,000		1,670,000	1,370,000	5,780,000
目白大学	保健医療学部	埼玉県さいたま市	250,000	965,000	390,000	120,000	1,725,000	1,500,000	6,225,000
アール医療福祉専門学校	4年課程	茨城県土浦市	300,000	800,000	250,000	150,000	1,500,000	1,200,000	5,100,000
アール医療専門職大学	リハビリテーション学部	茨城県土浦市	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000	1,450,000	6,100,000

出典：「各大学のWebサイトに掲載の学納金」を用いて作成。

注1：茨城県立医療大学の入学金は茨城県内入学者の金額。

茨城県内の高校×問3保健衛生学第一希望×
問4アール医療専門職大学進学希望×問5作業療法学科

条件：問3保健衛生学希望×問5作業療法学科	問4 アール医療専門職大学への進学希望		
	合計	進学を希望する	進学先の候補の一つとして検討する
全体	85	6	79
2 茨城県立 竜ヶ崎第一高等学校	2	1	1
12 茨城県立 水海道第一高等学校	2	—	2
13 茨城県立 水戸桜ノ牧高等学校	2	—	2
14 茨城県立 下館第一高等学校	4	—	4
15 茨城県立 日立北高等学校	2	—	2
18 茨城県立 水戸第三高等学校	5	1	4
21 茨城県立 土浦第三高等学校	3	1	2
22 私立 東洋大学附属牛久高等学校	1	—	1
28 茨城県立 下妻第二高等学校	3	—	3
29 茨城県立 石岡第一高等学校	3	—	3
30 茨城県立 取手第一高等学校	1	—	1
31 茨城県立 佐和高等学校	2	—	2
32 茨城県立 水海道第二高等学校	4	—	4
33 茨城県立 水戸工業高等学校	1	—	1
34 茨城県立 鹿島高等学校	1	—	1
35 私立 岩瀬日本大学高等学校	1	—	1
36 私立 茨城キリスト教学園高等学校	2	1	1
37 茨城県立 伊奈高等学校	1	—	1
38 茨城県立 多賀高等学校	2	—	2
40 茨城県立 日立第二高等学校	2	—	2
42 茨城県立 古河第一高等学校	4	—	4
43 茨城県立 日立商業高等学校	1	—	1
44 茨城県立 麻生高等学校	2	—	2
45 私立 常磐大学高等学校	1	—	1
46 茨城県立 那珂高等学校	3	—	3
47 茨城県立 境高等学校	1	—	1
48 茨城県立 取手松陽高等学校	5	—	5
50 私立 つくば秀英高等学校	1	1	—
51 私立 霞ヶ浦高等学校	3	—	3
53 茨城県立 鉾田第二高等学校	3	—	3
56 私立 鹿島学園高等学校	1	—	1
58 茨城県立 守谷高等学校	4	—	4
60 茨城県立 石岡商業高等学校	1	—	1
61 茨城県立 藤代紫水高等学校	2	—	2
63 茨城県立 取手第二高等学校	3	—	3
66 私立 大成女子高等学校	1	—	1
68 茨城県立 石岡第二高等学校	1	—	1
69 私立 水戸啓明高等学校	2	1	1
70 私立 水戸葵陵高等学校	1	—	1
72 茨城県立 竜ヶ崎第二高等学校	1	—	1

オープンキャンパス参加者の出願率（理学療法士・作業療法士）

（単位：人）

理学療法士	参加者	出願者	出願率
令和元年度	142	59	41.5%
平成30年度	101	45	44.6%
平成29年度	76	41	53.9%
平均	106	48	46%

作業療法士	参加者	出願者	出願率
令和元年度	66	41	62.1%
平成30年度	50	22	44.0%
平成29年度	49	26	53.1%
平均	55	30	53%

※オープンキャンパスへ参加した高校3年生のみを抽出

平成29年度 理学療法士 県別会員数増加率と県別人口10万対比ランキング

県別会員数増加率

(2017/4/1)

順位	県名	PT(H27)	PT(H28)	PT(H29)	PTの差	増加率
1	秋田県	500	536	574	38	7.60%
2	富山県	659	715	764	49	7.44%
3	滋賀県	805	861	920	59	7.33%
4	山形県	747	803	852	49	6.56%
5	京都府	1982	2161	2279	118	5.95%
6	石川県	934	993	1046	53	5.67%
7	鳥取県	586	622	653	31	5.29%
8	埼玉県	3713	4053	4245	192	5.17%
9	群馬県	1504	1604	1672	68	4.52%
10	静岡県	2562	2803	2918	115	4.49%
11	大分県	1307	1435	1493	58	4.44%
12	岩手県	805	843	878	35	4.35%
13	栃木県	934	1020	1059	39	4.18%
14	福井県	748	811	841	30	4.01%
15	和歌山県	1031	1098	1136	38	3.69%
16	三重県	1108	1179	1219	40	3.61%
17	長野県	1746	1864	1927	63	3.61%
18	愛媛県	1345	1409	1457	48	3.57%
19	新潟県	1294	1392	1438	46	3.55%
20	福島県	1211	1314	1357	43	3.55%
21	青森県	720	764	789	25	3.47%
22	徳島県	877	951	981	30	3.42%
23	宮崎県	980	1038	1071	33	3.37%
24	山口県	1260	1373	1415	42	3.33%
25	広島県	2399	2569	2647	78	3.25%
26	千葉県	3528	3855	3987	112	3.17%
27	岐阜県	1302	1418	1458	40	3.07%
28	山梨県	748	787	808	21	2.82%
29	奈良県	1054	1119	1145	26	2.47%
30	東京都	6167	6759	6910	151	2.45%
31	北海道	4323	4664	4766	102	2.36%
32	茨城県	1751	1883	1923	40	2.26%
33	佐賀県	1080	1147	1171	24	2.26%
34	岡山県	1668	1783	1800	37	2.22%
35	香川県	902	957	974	17	1.88%
36	神奈川県	4257	4582	4656	74	1.74%
37	福岡県	5032	5368	5446	78	1.55%
38	鳥根県	590	636	645	9	1.53%
39	兵庫県	4078	4385	4442	57	1.40%
40	沖縄県	1368	1427	1441	14	1.02%
41	高知県	1364	1439	1447	8	0.59%
42	鹿児島県	2305	2474	2487	13	0.56%
43	愛知県	4775	5048	5071	23	0.48%
44	大阪府	6614	6977	6979	2	0.03%
45	熊本県	2232	2375	2365	-10	-0.45%
46	長崎県	1836	1952	1942	-10	-0.54%
47	宮城県	1301	1378	1364	-14	-1.08%
	合 計	90010	96604	98838	平均	3.1%

人口10万対比ランキング

(2017/4/1)

順位	県名	PT(H28)	PT(H29)	人口 (10万人)	人口10万 対比
1	高知県	1439	1447	7.3	198.2
2	鹿児島県	2474	2487	16.5	150.7
3	佐賀県	1147	1171	8.3	141.1
4	長崎県	1952	1942	13.8	140.7
5	熊本県	2375	2365	17.9	132.1
6	徳島県	951	981	7.8	129.1
7	大分県	1435	1493	11.7	127.6
8	和歌山県	1098	1136	9.6	118.3
9	鳥取県	622	653	5.7	114.6
10	福岡県	5368	5446	51.0	108.8
11	福井県	811	841	7.9	108.5
12	愛媛県	1409	1457	13.9	104.8
13	山口県	1373	1415	14.0	101.1
14	沖縄県	1427	1441	14.3	100.8
15	香川県	957	974	9.8	99.4
16	宮崎県	1038	1071	11.0	97.4
17	山梨県	787	808	8.3	97.3
18	岡山県	1763	1800	19.2	93.8
19	鳥根県	636	645	6.9	93.5
20	広島県	2569	2647	28.4	93.2
21	長野県	1864	1927	21.0	91.8
22	石川県	993	1046	11.5	91.0
23	北海道	4664	4766	53.8	88.6
24	京都府	2161	2279	26.1	87.3
25	群馬県	1604	1672	19.7	84.9
26	奈良県	1119	1145	13.6	84.2
27	兵庫県	4385	4442	55.3	80.3
28	大阪府	6977	6979	88.4	78.9
29	静岡県	2803	2918	37.0	78.9
30	山形県	803	852	11.2	76.1
31	岐阜県	1418	1458	20.3	71.8
32	富山県	715	784	10.7	71.4
33	福島県	1314	1357	19.1	71.0
34	岩手県	843	878	12.8	68.8
35	愛知県	5048	5071	74.8	67.8
36	三重県	1179	1219	18.2	67.0
37	茨城県	1883	1923	29.2	65.9
38	滋賀県	861	920	14.1	65.2
39	千葉県	3855	3987	62.2	63.8
40	新潟県	1392	1438	23.0	62.5
41	青森県	784	789	13.1	60.2
42	宮城県	1378	1364	23.3	58.5
43	埼玉県	4053	4245	72.7	58.4
44	秋田県	536	574	10.2	56.3
45	栃木県	1020	1059	19.7	53.8
46	東京都	6759	6910	135.2	51.1
47	神奈川県	4582	4656	91.3	51.0
	合 計	96604	98838	平均	90.5

※平成27年国勢調査県別人口

【参考】平成28年度増加率: 8.09% <19位>
日本理学療法士協会よりデータの提供を受け、当院にて作成

【参考】平成28年度人口10万対比: 63.4 <36位>
日本理学療法士協会よりデータの提供を受け、当院にて作成

平成29年度 作業療法士 県別会員数増加率と県別人口10万対比ランキング

県別会員数増加率

(2017/4/1) 人口10万対比ランキング

(2017/4/1)

順位	県名	OT(H27)	OT(H28)	OT(H29)	OTの差	増加率
1	鳥取県	437	462	506	44	10.07%
2	千葉県	1428	1515	1649	134	9.38%
3	富山県	514	540	585	45	8.75%
4	滋賀県	414	436	471	35	8.45%
5	奈良県	487	494	534	40	8.21%
6	宮城県	877	908	968	60	6.84%
7	栃木県	678	702	748	46	6.78%
8	東京都	2683	2885	3066	181	6.75%
9	大分県	685	743	789	46	6.72%
10	山梨県	564	574	611	37	6.56%
11	高知県	649	681	723	42	6.47%
12	埼玉県	1475	1553	1647	94	6.37%
13	沖縄県	677	697	740	43	6.35%
14	山形県	688	725	768	43	6.25%
15	神奈川県	2081	2136	2265	129	6.20%
16	青森県	648	683	722	39	6.02%
17	徳島県	499	547	577	30	6.01%
18	香川県	558	597	628	31	5.56%
19	広島県	1251	1335	1404	69	5.52%
20	北海道	2413	2492	2624	132	5.47%
21	宮崎県	524	568	595	27	5.15%
22	兵庫県	2020	2136	2240	104	5.15%
23	静岡県	1402	1479	1551	72	5.14%
24	岐阜県	562	595	623	28	4.98%
25	島根県	405	426	446	20	4.94%
26	三重県	557	584	611	27	4.85%
27	群馬県	752	785	821	36	4.79%
28	佐賀県	488	536	558	22	4.51%
29	茨城県	988	1009	1053	44	4.45%
30	岡山県	1121	1172	1219	47	4.19%
31	福岡県	2866	2998	3118	120	4.19%
32	熊本県	1183	1290	1339	49	4.14%
33	愛媛県	860	905	940	35	4.07%
34	長野県	1249	1287	1337	50	4.00%
35	石川県	665	708	734	26	3.91%
36	長崎県	847	920	953	33	3.90%
37	愛知県	1954	2030	2102	72	3.68%
38	新潟県	899	912	944	32	3.56%
39	鹿児島県	1110	1162	1201	39	3.51%
40	福井県	441	464	479	15	3.40%
41	岩手県	626	650	671	21	3.35%
42	大阪府	2441	2553	2632	79	3.24%
43	秋田県	510	535	551	16	3.14%
44	和歌山県	364	384	394	10	2.75%
45	京都府	889	941	965	24	2.70%
46	福島県	819	852	874	22	2.69%
47	山口県	951	996	994	-2	-0.21%
	合 計	23652	49582	51970	平均	5.4%

順位	県名	OT(H28)	OT(H29)	人口 (10万人) ※	人口10万 対比
1	高知県	681	723	7.3	99.0
2	長崎県	920	1337	13.8	96.9
3	鳥取県	462	506	5.7	88.8
4	徳島県	547	577	7.6	75.9
5	熊本県	1290	1339	17.9	74.8
6	山梨県	574	611	8.3	73.6
7	鹿児島県	1162	1201	16.5	72.8
8	山口県	996	994	14.0	71.0
9	山形県	725	768	11.2	68.6
10	愛媛県	905	940	13.9	67.6
11	大分県	743	789	11.7	67.4
12	佐賀県	536	558	8.3	67.2
13	島根県	426	446	6.9	64.6
14	香川県	597	628	9.8	64.1
15	石川県	708	734	11.5	63.8
16	長野県	1287	1337	21.0	63.7
17	岡山県	1172	1219	19.2	63.5
18	福岡県	2998	3118	51.0	61.1
19	福井県	464	479	7.9	60.6
20	青森県	683	722	13.1	55.1
21	富山県	540	585	10.7	54.7
22	宮崎県	568	595	11.0	54.1
23	秋田県	535	551	10.2	54.0
24	岩手県	650	671	12.8	52.4
25	沖縄県	697	740	14.3	51.7
26	広島県	1335	1404	28.4	49.4
27	北海道	2492	2624	53.8	48.8
28	福島県	852	874	19.1	45.8
29	静岡県	1479	1551	37.0	41.9
30	宮城県	908	968	23.3	41.5
31	群馬県	785	821	20.0	41.1
32	新潟県	912	944	23.0	41.0
33	和歌山県	384	394	9.6	41.0
34	兵庫県	2136	2240	55.3	40.5
35	奈良県	494	534	13.6	39.3
36	栃木県	702	748	19.7	38.0
37	京都府	941	965	26.1	37.0
38	茨城県	1009	1053	29.2	36.1
39	三重県	584	611	18.2	33.6
40	滋賀県	436	471	14.1	33.4
41	岐阜県	595	623	20.3	30.7
42	大阪府	2553	2632	88.4	29.8
43	愛知県	2030	2102	74.8	28.1
44	千葉県	1515	1649	62.2	26.5
45	神奈川県	2136	2265	91.3	24.8
46	東京都	2885	3066	135.2	22.7
47	埼玉県	1553	1647	72.7	22.7
	合 計	49582	52354	平均	52.8
標準偏差値					18.6

※平成27年国勢調査県別人口

【参考】平成28年度増加率：2.28% ≪44位≫

日本作業療法士協会よりデータの提供を受け、当院にて作成

【参考】平成28年度人口10万対比：34.0 ≪38位≫

日本作業療法士協会よりデータの提供を受け、当院にて作成

アール医療福祉専門学校に対する求人状況

(単位：人)

学科名/年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
理学療法学科	卒業生数	33	21	34	28	116
	求人数	3,324	5,425	6,124	3,315	18,188
	(うち茨城県内)	226	216	323	192	957
	求人倍率 注	100.7倍	258.3倍	180.1倍	118.3倍	156.8倍
作業療法学科	卒業生数	23	13	23	12	71
	求人数	2,922	5,043	5,643	3,114	16,722
	(うち茨城県内)	182	164	263	145	754
	求人倍率 注	127.0倍	387.9倍	245.3倍	259.5倍	235.5倍

出典：「アール医療福祉専門学校（理学療法学科・作業療法学科）の求人票」より実数を抜粋して作成。

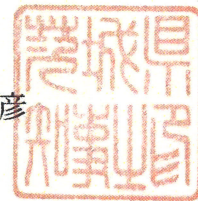
注：求人倍率＝求人数/卒業生数で算出



計 推 第 9 3 号
令和 2 年 7 月 28 日

文部科学大臣 萩生田 光一 殿

茨城県知事 大井川 和彦



アール医療専門職大学の設置について

平素は、茨城県政の推進に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

文部科学省におかれましては、学校教育、社会教育など教育行政の充実・発展等に日々御尽力いただいていることに、心から敬意を表します。

さて、本県におきましては、今後急速な高齢化が見込まれる中、住み慣れた地域で、いつまでも生き生きと安心して自分らしい暮らしを続けるという県民の願いを実現するため、高度急性期から在宅医療、介護サービスまで住民ニーズの変化に適切に対応した医療・介護の提供体制の構築を図っております。

特にリハビリテーション専門職については、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えた介護予防等の必要性の高まりから、施設や在宅で行うリハビリテーションへの需要が増加してきております。

しかしながら、本県の理学療法士及び作業療法士は人口10万対数で全国平均を下回っている状況であり、人材の確保と専門職の実践力の向上は、県民の生き生きと安心した暮らしの実現に向けて必要不可欠です。

このような中、理学療法学科及び作業療法学科の4年制専門学校を開校されて19年余、土浦市をはじめ県内に多くの人材を輩出してきた学校法人筑波学園が、高度な実践力と豊かな創造力を育む専門職大学を設置され、専門業務を牽引する人材を地域に輩出されることは、本県が進める医療福祉政策に大きく貢献するものと考えております。

アール医療専門職大学の設置の認可に係る判断に当たっては、本県の実情について御理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

この写しは原本と相違ないことを認めます。

令和 3 年 3 月 / 日

学校法人 筑波学園

理事長 戸谷 聡 子



（一）受入者

（二）受入者

（三）受入者

（四）受入者

（五）受入者

（六）受入者

（七）受入者

（八）受入者

（九）受入者

（十）受入者

（十一）受入者

（十二）受入者

（十三）受入者

。すまぬ多きこりて敬請本願に可なり。

日、且、争、命

問答新編 人志剣学

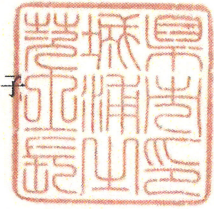
千 脚 谷 可 員 事 野



土高発第 348 号
令和 2 年 5 月 27 日

文部科学大臣 萩生田 光一 様

茨城県土浦市長 安藤 真理子



アール医療専門職大学設置に係る要望について

土浦市は、これまでアール医療福祉専門学校からの療育分野への指導者の派遣や実習の受け入れ、また、介護予防分野への会議の出席、地域在住の高齢者に対する介護予防調査の取組等、同校と連携を図りながら、療育事業及び介護予防事業等を進めてまいりました。また、本市の大規模なイベントにおいて、同校の多くの教員及び学生がボランティアとして参加し、地域の方々と積極的にふれあい、地域に根差した活動をしています。

本市の平成 30 年の出生数は 992 人で合計特殊出生率は 1.31 であり、国より 0.11 低くなっています（「人口動態調査」厚生労働省参照）。また、高齢者人口は、40,061 人で高齢化率は 28.9% であり、全国水準より 0.8% 高く（「人口推計」総務省統計局参照）、2025 年には 30.9% に達すると見込まれています。

このように近年、少子高齢化の進行、価値観の多様化を背景として、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、子ども・高齢者・障害者等全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高めあうことができる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが求められています。

そのような中、障害のある子どもが地域で生活するためには、相談窓口等の支援体制の充実や学校内でのサポート等のニーズが高くなっています。また障害者や高齢者にとっても同様であり、支援が必要な状態になっても生きがいを持って住み慣れた地域で安心して暮らせる支援やサービス体制の充実等が必要と考えます。これらのことを踏まえ、本市においては、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく、包括的に確保されるよう、地域包括ケアシステムの実現に向け必要な取り組みを進めています。

専門知識と技術を身に付けたリハビリテーション専門職は、多職種連携や地域住民等との協働により、地域をサポートする人材として非常に重要な役割を担っています。本市が地域包括ケアシステムの取組を展開するにあたっては、医療・介護分野及び教育分野等における安定的な福祉医療人材の確保が課題となっています。

本市といたしましては、アール医療福祉専門職大学の理学療法学科及び作業療法学科の設置認可を強く要望しますとともに、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

この写しは原本と相違ないことを認めます。

令和 3 年 3 月 / 日

学校法人 筑波学園

理事長 戸谷 聰 子



。すまぬ罪あるこころは世に本願ありけり

日、月、星、命

閑筆書 人語対半

千 郎 谷 耳 延電照

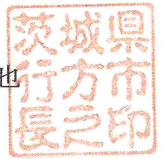


行 介 第 3 4 4 号

令和 2 年 9 月 18 日

文部科学大臣 萩生田 光一 様

茨城県行方市長 鈴木 周也



アール医療専門職大学設置に係る要望について

全国的に少子高齢化が年々進行する中、本市における高齢化の進行は著しく、高齢者人口は 11,860 人、高齢化率は 34.7% (令和 2 年 3 月末現在) と、国の水準を上回っており、2025 年には 40% に達すると見込まれています。また、人口面における構造変化は個人や家庭のライフスタイルにも変化をもたらしており、核家族化や高齢者のみの世帯の増加に伴う家族介護力の低下が懸念されています。

そのため、私ども行政といたしましては、これまで以上に地域マネジメント力の向上に努め、市が一方的にサービスを提供するのではなく、地域の生活者である住民が、生活を送る上で直結する様々な問題を自らの力や地域との協働の下に解決できるまちづくりを進めていかなければなりません。

このような状況を踏まえ、本市では、地域包括ケアシステムの充実を目指して、平成 18 年からアール医療福祉専門学校と連携を図り、介護予防分野における会合、高齢者に対する介護予防教室の運営、介護予防に関する調査及び訪問サービス等、地域に根差した様々な介護予防事業を進めてまいりました。しかしながら、山積する高齢者支援に係る課題に対し、リハビリテーションの機会が不足し、自助グループの掘り起こしなどが進みにくく、高齢者の健康寿命延伸に向けた適切な支援を十分に提供できない状況にあります。現在の介護保険領域におけるリハビリテーションの重要性は高く、今後は介護予防をはじめライフステージに合わせた継続的なリハビリの提供や、誰もが自分らしい暮らしを送ることができるよう、地域を含めた総合的な支援を行うことができるリハビリテーションの専門職が必要になってまいります。

よって、本市が目指す地域包括ケアシステムの更なる充実に向け、地域課題に対応できるより高度な医療専門職の育成と地域への輩出を求めるとともに、長年にわたる知見を活かしたリハビリテーションの提供が期待できることから、アール医療専門職大学の理学療法学科及び作業療法学科の設置認可を強く要望いたします。国におかれましては、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

この写しは原本と相違ないことを認めます。

令和 3 年 3 月 / 日

学校法人 筑波学園

理事長 戸谷 聡 子



。をまめ騙さるこの心盤餅当本期おじまの

日・日・半・命

園学遊遊 入出対学

千 柳 谷 可 見事照

令和2年7月20日

文部科学大臣 萩生田 光一 殿

公益社団法人茨城県理学療法士会

会長 浅川 育世

茨城県水戸市緑町3丁目5-35



アール医療福祉専門職大学設置に係る要望について

慢性的な医師不足が深刻化しております。茨城県でも平成30年2月に「茨城県医師不足緊急対策行動宣言」が発出されるなど喫緊の問題であります。しかし、慢性的な医師不足の解消は短期間で解決できるものではありません。目前に迫った2025年問題では、病院やクリニックの運営、勤務医の労働環境は、さらに苛酷になっていくとの予想もあります。またその後迎える多死社会では、最期まで尊厳を尊重した生き方に着目した医療が重要となります。このような社会状況の中で、タスクシフティングによる多職種参加型のチーム医療が注目を集めております。タスクシフティングは医師の働き方改革を取り巻く議論の中で聞かれるようになった言葉であり、ある職種がこれまで担ってきた業務の一部を他の職種へ委譲することを指しますが、重要なのは他職種の役割を拡大し、それら職種が専門性をさらに高めていくことで労働力の増大と質の担保に努めることにあります。

この度、アール医療福祉専門学校が専門職大学への移行を強く望んでいますが、まさにこの時代を反映する決断ではないかと思えます。アール医療福祉専門学校は開校以来多くの理学療法士・作業療法士を輩出してきました。卒業生は病院・施設のみならず県内の様々な場で活躍しております。しかし、そのような場で活躍するには高度な専門的知識と経験が必要となります。例えば訪問リハビリテーションの場では自らが利用者の状況を判断しなければなりません。介護予防や学校保健の場では「医師の指示のもと」ではなく「自らの判断のもと」動かななくてはなりません。これまで理学療法士・作業療法士は昭和40年に制定された「理学療法士及び作業療法士法」のもと医師の指示なしではその業務ができませんでした。しかし、現在は介護予防等一部の場で医師の指示なくその業務が行えるようになってきております。タスクシフティングを考えると、今後増加するであろう看取りの場での関わり、要介護状態から看取りの間で尊厳を守るためのリハビリテーションなどこれまでにない専門性が必要となってきます。また明日の日本を担う子供たちの身体・精神の保健も重要となります。そのような中で、これらに特化した専門性の高い理学療法士・作業療法士養成のための専門職大学が設置されることは、茨城県民ならず、国民のためにも大変有益なものと思えます。

私ども公益社団法人茨城県理学療法士会といたしましては、アール医療福祉専門職大学の理学療法学科ならびに作業療法学科の設置認可を強く要望するとともに、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

この写しは原本と相違ないことを認めます。

令和3年3月/日

学校法人 筑波学園

理事長 戸谷 聡子



一、本報之宗旨
 二、本報之方針
 三、本報之組織
 四、本報之經費
 五、本報之發行
 六、本報之廣告
 七、本報之印刷
 八、本報之編輯
 九、本報之採訪
 十、本報之出版

専門職大学設置に係る要望書

文部科学省におかれましては、平素より教育行政の充実・発展にご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、2025年にその完成年度が迫っている「地域包括ケアシステム」も、残すところ5年を切りました。すべての国民が住み慣れた街そして地域で、その人らしく暮らし続けていくために、自助・互助の仕組みを一層強化していくことが、不可避であるといえます。この体制を完遂するためには、さらなる医療・介護・予防、そして生活支援の拡充が急務といえます。そのなかでも、私たち作業療法士の果たすべき役割は、非常に大きな期待とともに、日々高まっております。

しかし、茨城県にあっては医療・介護における提供体制が非常に乏しいのが実情となります。こと弊会における作業療法士の会員数は、ここ数年1,000名前後で推移しており、常に各病院・施設、そして地域から人材拡充の要望が挙がっております。まさに2025年以降の社会基盤を想定したとき、現状以上に作業療法士に求められる必要性は多様化することは歴然であり、そのニーズに見合った作業療法士の養成は、一刻も早く進めなければならない課題の一つであるといえます。

こうした県内状況を鑑みただ、当該専門職大学の開設は、茨城県における地域医療の担い手を育成するという重要なミッションを達成するためには、決して避けられないものと考えております。また作業療法士の育成にあっては、単に学修を果たし、知識を享受するに留まらず「こころ」を育てることが最も重点を置くべき課題であるといえます。まさに「人育てる」という環境構築が必要となります。こうした目的に対しても、本法人は学生はもとより、作業療法士を含めた多職種、そしてすべての県民が満足しうる養成を果たすことが可能であると考えております。よって茨城県作業療法士会は、本法人における専門職大学の設置認可を強く要望いたします。

令和2年5月

公益社団法人 茨城県作業療法士会

会長 大場 耕一



この写しは原本と相違ないことを認めます。

令和 3 年 3 月 / 日

学校法人 筑波学園

理事長 戸谷 聡子



日ノ目モ手モ命
 園学遊戯 人志対学
 千懸谷 互 是奉照

アール医療専門職大学（仮称）
の卒業生に対する事業所の採用意向調査報告書

【 病院・施設対象 】

令和 2 年 9 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜アンケート調査結果要旨＞	3
＜アンケート回収表＞	7
＜アンケート集計結果＞	13
＜アンケート調査票・リーフレット＞	25

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート実施の目的

本調査は、学校法人筑波学園において、令和4年4月に開設を予定しているアール医療専門職大学（仮称）に対して、病院・施設等の事業所が期待する教育内容、卒業生の採用意向等を的確に把握することを調査目的とする。

2. 調査対象

主に茨城県及び近県所在（千葉県、栃木県、東京都、神奈川県、福島県、山形県、岐阜県等）の病院・施設等を選定し、アンケート調査を実施した。

3. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布・回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

4. 調査実施

令和2年7月～8月

5. 回収状況

事業所アンケート：回収数 199 票（回収状況は P.7 を参照）

回収率 52.8%（回収件数 199 件／依頼件数 377 件×100）

＜アンケート調査結果要旨＞

【問１：事業所の業種】

回答事業所（199 事業所）の施設種別について、「病院」が 103 事業所（51.8％）と最も多く約半数を占めた。次いで「介護老人保健施設」が 55 事業所（27.6％）、「診療・クリニック」が 15 事業所（7.5％）、「障がい者支援（児）関連施設」が 11 事業所（5.5％）の内訳であった。

【問２：事業所の所在地】

回答事業所（199 施設）の所在地について、大学が立地予定の「茨城県」が 177 事業所（88.9％）と最も多く約 9 割を占めた。次いで「千葉県」が 8 事業所（4.0％）、「福島県」が 4 事業所（2.0％）の内訳であった。

【問３：過去３年間の採用活動実績】（平均採用人数を記載）

事業所における①理学療法士、②作業療法士それぞれの過去３年間の採用実績について、平均人数を把握した。

① 理学療法士の採用実績

「1 人」と回答した事業所が 64 事業所（32.2％）で最も多く、「2 人」が 24 事業所（12.1％）、次いで「3 人」が 20 事業所（10.1％）、「6～10 人」が 9 事業所（5.0％）と続いている。

② 作業療法士の採用実績

「1 人」と回答した事業所が 68 事業所（34.2％）で最も多く、「3 人」が 19 事業所（9.5％）、「2 人」が 18 事業所（9.0％）、「0.3～0.5 人」が 17 事業所（8.5％）と続いている。

【 問 4：養成する人材像に対する事業所の考える社会的ニーズ 】

アール医療専門職大学（仮称）の養成する人材像を示したうえで、各事業所の考える社会的ニーズについての設問に対して「ニーズはある程度高い」と回答した事業所は、116 事業所（58.3%）で、「ニーズは極めて高い」と回答した事業所は 53 事業所（26.6%）であった。

【 問 5：リハビリテーション学部の卒業生の採用意向 】

回答事業所（199 事業所）に対し、現時点においてアール医療専門職大学の卒業生に対する採用意向を理学療法学科、作業療法学科それぞれについて確認した。

① 理学療法学科の卒業生に対する採用意向

回答事業所のうち、「採用したい」が 61 事業所（30.7%）、「採用を検討したい」が 86 事業所（43.2%）であった。

② 作業療法学科の卒業生に対する採用意向

回答事業所のうち、「採用したい」が 73 事業所（36.7%）、「採用を検討したい」が 80 事業所（40.2）であった。

【 問 6 は、問 5 で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を回答した理学療法学科 147 施設及び作業療法学科 153 施設に対する設問 】

【 問 6：リハビリテーション学部の採用想定人数 】

複数人数の採用を検討し、回答した事業所について、理学療法学科・作業療法学科の選択肢ごとの採用想定人数を計算し、リハビリテーション学部理学療法学科作業療法学科それぞれの卒業生の 1 年間あたりの人材需要の総数を把握した。

① 理学療法学科の採用想定人数

採用想定人数の総数は 186 名と計算され、理学療法学科の入学定員（40 人）の 4.7 倍とな

り、入学定員を大きく上回る結果となった。卒業生の進路は、十分に確保できるものと考ええる。

	件数	%
1 1人	112	76.2
2 2人	24	16.3
3 3人	4	2.7
4 4人	1	0.7
5 5人以上	2	1.4
不明	4	2.7
N (%ベース)	147	100.0

1年間あたりの採用想定人数
1人×112事業所＝112人
2人×24事業所＝48人
3人×4事業所＝12人
4人×1事業所＝4人
5人×2事業所＝10人
合計 186人

② 作業療法士の採用想定人数

採用想定人数の総数は212人と計算され、作業療学科の入学定員（40人）の5.3倍となり、入学定員を大きく上回る結果となった。卒業生の進路は、十分に確保できるものと考ええる。

	件数	%
1 1人	112	73.2
2 2人	22	14.4
3 3人	10	6.5
4 4人	2	1.3
5 5人以上	3	2.0
不明	4	2.6
N (%ベース)	153	100.0

1年間あたりの採用想定人数
1人×112事業所＝112名
2人×22事業所＝44名
3人×10事業所＝30名
4人×2事業所＝8名
5人×2事業所＝10名 8人×1事業所＝8名
合計 212人

【問7：自由記述欄】

199事業所のうち、39事業所から自由回答の記述を得ることができた。（P24参照）

<アンケート回収表>

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 回収表

回収日	ID	企業名	本社所在
8.03	2	神谷病院	東京都
7.31	4	花はたりハビリテーション病院	東京都
8.04	6	舟渡病院	東京都
8.06	9	新横浜リハビリテーション病院	神奈川県
7.28	10	横浜メディカルグループ	神奈川県
7.31	12	福家千葉病院	千葉県
8.26	14	平和台病院	千葉県
7.29	16	我孫子聖仁会病院	千葉県
8.11	17	北総白井病院	千葉県
7.29	18	東船橋病院	千葉県
8.11	19	千葉病院	千葉県
8.03	21	柏厚生総合病院	千葉県
7.31	24	山之内病院	千葉県
7.30	26	神立病院	茨城県
8.03	27	ケアセンター元気館	茨城県
7.30	28	介護老人保健施設 さくら	茨城県
7.29	29	身体障害者療護施設 さくら苑	茨城県
8.21	31	介護老人保健施設 シルバーケア土浦	茨城県
8.20	32	ライフサポートサンルーナ	茨城県
7.31	33	土浦協同病院	茨城県
8.03	35	介護老人保健施設 いっせい	茨城県
7.30	36	塚田整形外科	茨城県
7.29	37	サンテヌ土浦新館	茨城県
8.07	38	サンテヌ土浦本館	茨城県
8.11	39	介護老人保健施設 セントラル土浦	茨城県
7.30	40	土浦厚生病院	茨城県
8.06	43	茨城県立医療大学附属病院	茨城県
7.30	50	宮本病院	茨城県
7.29	51	介護老人保健施設 いなしきの郷	茨城県
7.30	52	土浦市療育支援センター	茨城県
7.30	54	国立病院機構 霞ヶ浦医療センター	茨城県
8.20	55	山手医院	茨城県
8.17	56	訪問リハビリテーション烏山	茨城県
7.29	57	介護老人保健施設 ひかり	茨城県
8.06	58	県南病院	茨城県
8.12	59	介護老人保健施設 えがお	茨城県
8.03	62	介護老人保健施設 セントラルゆうあい	茨城県
8.03	63	介護老人保健施設 セントラルふれあい	茨城県
7.30	64	つくばセントラル病院	茨城県
7.29	65	植松整形外科医院	茨城県
7.28	66	介護老人保健施設 春秋園	茨城県
7.30	67	牛久愛和総合病院	茨城県
7.29	68	高齢者総合福祉施設 牛久さくら園	茨城県
8.14	70	つくば双愛病院	茨城県
7.31	72	通所リハビリテーション雅	茨城県
8.03	75	ハートフルふじしろ病院	茨城県
7.29	81	特別養護老人ホーム いなの里	茨城県
7.30	82	常総ふれあいの郷	茨城県
8.17	84	筑波記念病院	茨城県
7.30	87	いちほら病院	茨城県
8.03	88	介護老人保健施設 つくばリハビリテーションセンター	茨城県
8.03	93	介護老人保健施設 なでしこ	茨城県
8.03	94	介護老人保健施設 マカベシルバートピア	茨城県

回収日	ID	企業名	本社所在
7. 28	95	牛尾病院	茨城県
8. 12	97	介護老人保健施設 ビオラセア	茨城県
7. 31	98	龍ヶ崎済生会病院	茨城県
7. 31	99	介護老人保健施設 涼風苑	茨城県
8. 13	100	池田病院	茨城県
8. 14	101	みやざきホスピタル	茨城県
8. 14	104	取手市こども発達センター	茨城県
7. 30	105	介護老人保健施設 緑寿荘	茨城県
7. 30	107	西間木病院	茨城県
8. 11	108	常総病院	茨城県
8. 05	109	守谷市障がい者福祉センター	茨城県
7. 30	110	総合守谷第一病院	茨城県
8. 17	111	サンシャイン・ピラ守谷倶楽夢	茨城県
7. 29	113	茨城リハビリテーション病院	茨城県
7. 29	116	守谷慶友病院	茨城県
7. 30	119	水海道さくら病院	茨城県
7. 31	120	きぬ医師会病院	茨城県
7. 29	121	特別養護老人ホーム 築水苑	茨城県
8. 03	123	水海道厚生病院	茨城県
7. 30	126	湖南病院	茨城県
7. 30	128	筑波大学附属病院	茨城県
7. 29	129	筑波メディカルセンター病院	茨城県
7. 30	130	筑波病院	茨城県
8. 03	134	筑波学園病院	茨城県
7. 31	137	サンシャイン・ピラつくば倶楽夢	茨城県
8. 03	139	介護老人保健施設 平成園	茨城県
8. 05	144	身体障害者療護施設 青嵐荘つくし園医務課	茨城県
8. 20	150	総和中央病院	茨城県
7. 30	151	特別養護老人ホーム 白英荘	茨城県
7. 31	152	友愛記念病院	茨城県
8. 03	153	茨城西南医療センター病院	茨城県
8. 05	157	ホスピタル坂東	茨城県
7. 30	159	介護老人保健施設 健田	茨城県
8. 03	160	介護老人保健施設 すばる	茨城県
8. 05	172	介護老人保健施設 プレミエール元氣館 筑西	茨城県
7. 30	175	協和中央病院	茨城県
8. 03	176	山王病院	茨城県
7. 29	179	介護老人保健施設 さくらがわ	茨城県
7. 29	188	介護老人保健施設 シルバーヴィレッジ	茨城県
7. 28	190	立川記念病院	茨城県
7. 30	191	石島整形外科医院	茨城県
7. 30	192	水戸ブレインハートセンター	茨城県
8. 06	193	水戸赤十字病院	茨城県
7. 30	194	水戸協同病院	茨城県
8. 17	196	北水会記念病院	茨城県
7. 29	197	介護老人保健施設 はなみずき	茨城県
8. 03	198	誠潤会 水戸病院	茨城県
8. 19	199	医療法人 南山会 柵町診療所	茨城県
7. 30	200	城南病院	茨城県
7. 31	201	青柳病院	茨城県
7. 31	202	介護老人保健施設 しもいち	茨城県
8. 06	203	茨城福祉医療センター	茨城県
8. 03	205	丹野病院	茨城県
7. 29	209	介護老人保健施設 渡里の里	茨城県
7. 30	210	大久保病院	茨城県

回収日	ID	企業名	本社所在
8.06	211	介護老人保健施設 こすもびあ	茨城県
7.29	213	介護老人保健施設 みがわ	茨城県
8.12	216	栗田病院	茨城県
7.30	218	西山堂慶和病院	茨城県
8.12	222	汐ヶ崎病院	茨城県
7.30	223	介護老人保健施設 大串の里	茨城県
7.30	224	介護老人保健施設 つねずみ	茨城県
7.30	226	介護老人保健施設 ひまわり水戸	茨城県
7.29	227	水戸中央病院	茨城県
7.30	228	介護老人保健施設 サンライズ湊	茨城県
7.31	229	湊整形外科・内科	茨城県
7.31	231	敬愛小林クリニック	茨城県
7.30	232	大洗海岸コアクリニック	茨城県
7.30	233	大洗海岸病院	茨城県
8.14	234	介護老人保健施設 おおあらい	茨城県
8.14	235	介護老人保健施設 コミュニティーケアセンター縦山	茨城県
8.05	240	介護老人保健施設 リヒトハウス北浦	茨城県
8.03	243	訪問看護ステーション	茨城県
7.30	245	介護老人保健施設 桜の郷敬愛の杜	茨城県
7.29	248	石崎病院	茨城県
7.29	249	介護老人保健施設 エバーグリーン	茨城県
8.03	250	介護老人保健施設 レイクヒルひぬま	茨城県
8.03	251	桜ヶ丘病院	茨城県
7.31	252	介護老人保健施設 小川敬愛の杜	茨城県
7.30	253	小川南病院	茨城県
7.28	254	つくば病院	茨城県
7.29	256	介護老人保健施設 サン・テレーズ	茨城県
8.11	257	介護老人保健施設 かすみがうら	茨城県
8.14	258	行方市地域包括支援センター	茨城県
7.30	259	特別養護老人ホーム 玉寿荘	茨城県
8.03	260	土浦協同病院 なめがた地域医療センター	茨城県
8.05	261	水府病院	茨城県
7.29	262	水戸済生会総合病院	茨城県
8.12	263	あかつか慶友 メディカルクリニック	茨城県
8.04	264	介護老人保健施設 くるみ館	茨城県
8.17	265	北水会病院	茨城県
8.07	266	介護老人保健施設 ナーシングホームかたくり	茨城県
8.04	274	アイビークリニック	茨城県
8.03	275	介護老人保健施設 いちご苑	茨城県
8.11	280	(株)日立製作所 ひたちなか総合病院	茨城県
8.24	281	ディケア きらきら星	茨城県
7.29	282	いばらき診療所	茨城県
8.17	283	はすみ敬愛病院	茨城県
7.30	287	根本病院	茨城県
8.04	291	鹿嶋市総合福祉センター	茨城県
7.28	292	小山記念病院	茨城県
7.31	293	鹿島神宮前病院	茨城県
7.31	296	白十字総合病院	茨城県
8.06	303	介護老人保健施設 ゆうゆう	茨城県
8.11	304	特別養護老人ホーム 石岡陽だまり館	茨城県
7.30	306	介護老人保健施設ウイケア	茨城県
8.03	308	介護老人保健施設 あいあい	茨城県
7.29	309	山王台病院	茨城県
7.30	313	介護老人保健施設 八郷プロバンス	茨城県
8.03	314	豊後荘病院	茨城県

回収日	ID	企業名	本社所在
7.30	316	八郷整形外科内科病院	茨城県
8.07	319	日立梅ヶ丘病院	茨城県
7.29	321	介護老人保健施設 シニア健康センターしおさい	茨城県
7.29	322	ひたち医療センター	茨城県
8.19	323	日立市母子療育ホーム	茨城県
7.31	324	嶋崎病院	茨城県
8.11	325	介護老人保健施設 さくら日立	茨城県
8.11	326	(株)日立製作所 日立総合病院	茨城県
8.03	327	医療型「障害児入所施設 水方苑	茨城県
7.30	328	やすらぎの丘温泉病院	茨城県
8.04	329	県北医療センター 高萩協同病院	茨城県
8.12	330	高萩それいゆ病院	茨城県
8.03	334	介護老人保健施設 小美玉敬愛の杜	茨城県
8.11	335	介護老人保健施設 あたごナーシングビル	茨城県
8.03	337	茨城県立あすなろの郷病院	茨城県
8.06	340	東海村立東海病院	茨城県
8.14	343	聖麗メモリアル病院	茨城県
8.04	344	介護老人保健施設 ひたちの森ハピネス	茨城県
8.07	345	永井ひたちの森病院	茨城県
7.31	346	介護老人保健施設 田尻ヶ丘ヘルシーケア	茨城県
7.31	347	川尻整形外科病院	茨城県
7.30	352	岩上記念病院	茨城県
7.29	353	介護老人保健施設 プラタナスの丘	茨城県
7.30	355	茨城北西総合 リハビリテーションセンター	茨城県
8.03	356	介護老人保健施設 大宮フロイデハイム	茨城県
8.06	358	袋田病院	茨城県
8.03	359	慈泉堂病院	茨城県
8.19	362	鷲谷病院	栃木県
7.30	365	とちぎメディカルセンター しもつが	栃木県
8.05	368	岐阜市民病院	岐阜県
7.31	370	須賀川病院	福島県
7.30	372	松尾病院	福島県
8.27	373	松村総合病院	福島県
7.31	375	呉羽総合病院	福島県
8.04	376	日本海総合病院 作業療法室	山形県
8.13	377	介護老人保健施設 うらら	山形県
計 199 件			

回収率 52.8% (回収件数 199 件 / 依頼件数 377 件 × 100)

回収状況

回収日	回収数	回収日	回収数
7.28	6	8.12	6
7.29	28	8.13	2
7.30	45	8.14	7
7.31	22	8.17	6
8.03	30	8.19	3
8.04	7	8.20	3
8.05	7	8.21	1
8.06	9	8.24	1
8.07	4	8.26	1
8.11	10	8.27	1
		計	199

送付数 377 件

所在地	回収数
茨城県	177
千葉県	8
栃木県	2
東京都	3
神奈川県	2
福島県	4
青森県	-
山形県	2
長野県	-
岐阜県	1
計	199

＜アンケート集計結果＞

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート調査

〔有効回答票：199 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

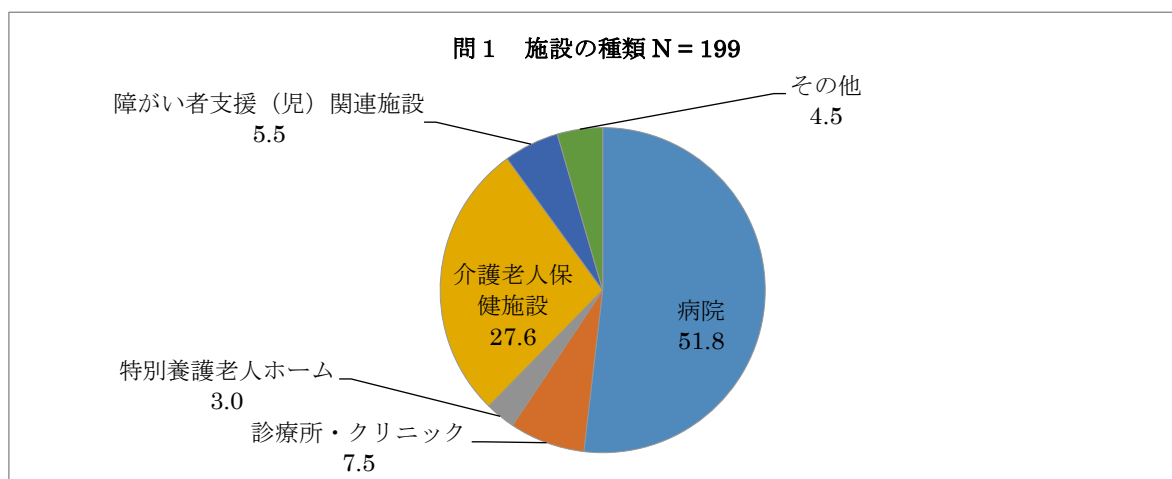
問 1 貴施設の種類のどれに該当しますか。

回答事業所（199 事業所）の施設種別について、「病院」が 103 事業所（51.8%）と最も多く約半数を占めた。次いで「介護老人保健施設」が 55 事業所（27.6%）、「診療・クリニック」が 15 事業所（7.5%）、「障がい者支援（児）関連施設」が 11 事業所（5.5%）の内訳であった。

	件数	%
1 病院	103	51.8
2 診療所・クリニック	15	7.5
3 特別養護老人ホーム	6	3.0
4 介護老人保健施設	55	27.6
5 障がい者支援（児）関連施設	11	5.5
6 その他	9	4.5
N（%ベース）	199	100

（「6 その他」の回答）

大型通所介護短期入所	有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム
有料老人ホーム	通所リハビリテーション	特定施設入居者生活介護
訪問看護ステーション	自治体、地域包括支援センター	訪問看護ステーション



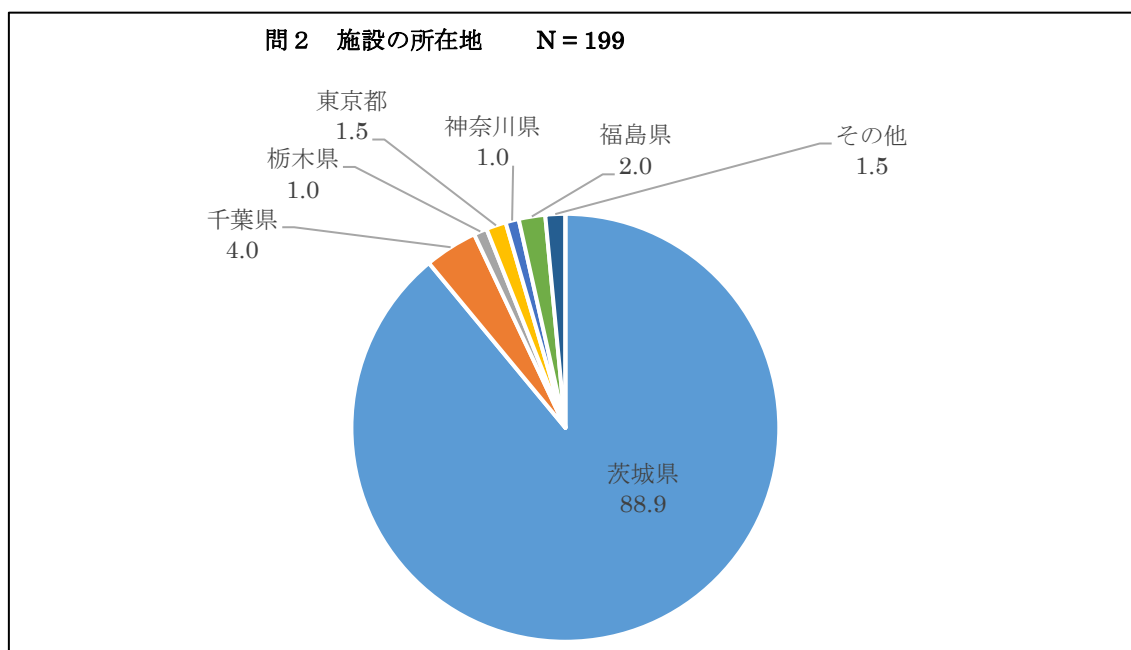
問2 貴施設の所在地はどこですか。

回答事業所（199 施設）の所在地について、大学が立地予定の「茨城県」が 177 事業所（88.9%）と最も多く、次いで「千葉県」が 8 事業所（4.0%）、「福島県」が 4 事業所（2.0%）と続いている。

	件数	%
1 茨城県	177	88.9
2 千葉県	8	4.0
3 栃木県	2	1.0
4 東京都	3	1.5
5 神奈川県	2	1.0
6 福島県	4	2.0
7 その他	3	1.5
N（％ベース）	199	100.0

（「7 その他」の回答）

岐阜県	山形県	山形県
-----	-----	-----



問3 貴施設において、過去3か年に採用された（非正規を含む）①理学療法士、②作業療法士の平均人数はどのくらいですか。

回答事業所（199施設）における①理学療法士、②作業療法士それぞれの過去3年間の採用実績について、平均人数を把握した。

① 理学療法士の採用実績

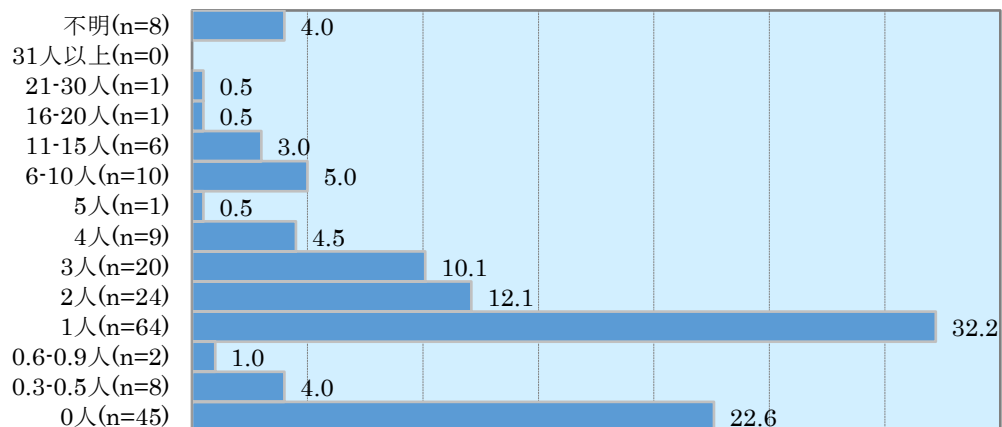
「1人」と回答した事業所が64事業所（32.2%）で最も多く、「2人」が24事業所（12.1%）、次いで「3人」が20事業所（10.1%）、「6～10人」が9事業所（5.0%）と続いている。

② 作業療法士の採用実績

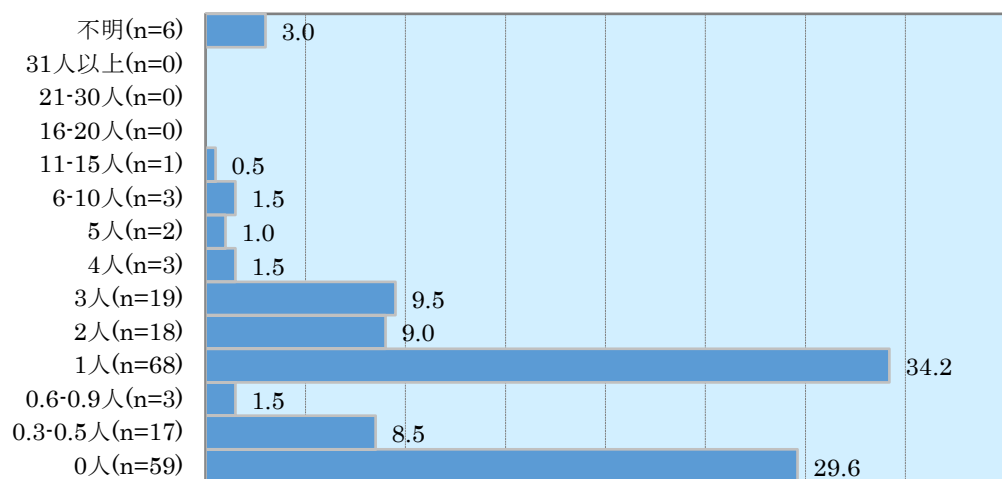
「1人」と回答した事業所が68事業所（34.2%）で最も多く、「3人」が19事業所（9.5%）、「2人」が18事業所（9.0%）、「0.3～0.5人」が17事業所（8.5%）と続いている。

	① 理学療法士		② 作業療法士	
	件数	%	件数	%
0人	45	22.6	59	29.6
0.3～0.5人	8	4.0	17	8.5
0.6～0.9人	2	1.0	3	1.5
1人	64	32.2	68	34.2
2人	24	12.1	18	9.0
3人	20	10.1	19	9.5
4人	9	4.5	3	1.5
5人	1	0.5	2	1.0
6～10人	10	5.0	3	1.5
11～15人	6	3.0	1	0.5
16～20人	1	0.5	0	0.0
21～30人	1	0.5	0	0.0
不明	8	4.0	6	3.0
N（% [*] - _λ ）	199	100.0	199	100.0

問 3 ① 過去3年の平均採用人数：理学療法士 N = 199



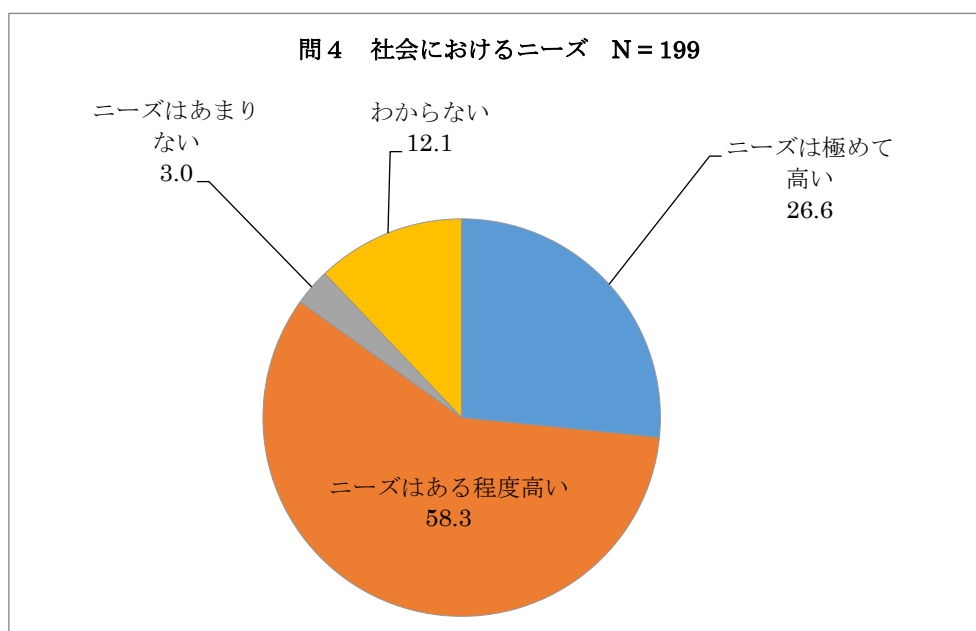
問 3 ② 過去3年の平均採用人数：作業療法士 N = 199



問4 構想中のアール医療専門職大学（仮称）が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。

アール医療専門職大学（仮称）の養成する人材像を示したうえで、各事業所の考える社会的ニーズについての設問に対して「ニーズはある程度高い」と回答した事業所は、116事業所（58.3％）で、「ニーズは極めて高い」と回答した事業所は53事業所（26.6％）であった。

	件数	%
1 ニーズは極めて高い	53	26.6
2 ニーズはある程度高い	116	58.3
3 ニーズはあまりない	6	3.0
4 わからない	24	12.1
不明	0	0.0
N（％ベース）	199	100.0



問5 貴施設ではアール医療専門職大学（仮称）リハビリテーション学部の卒業生の採用を考えますか。

回答事業所（199 事業所）に対し、現時点においてアール医療専門職大学の卒業生に対する採用意向を理学療法学科、作業療法学科それぞれについて確認した。

①理学療法学科の卒業生に対する採用意向

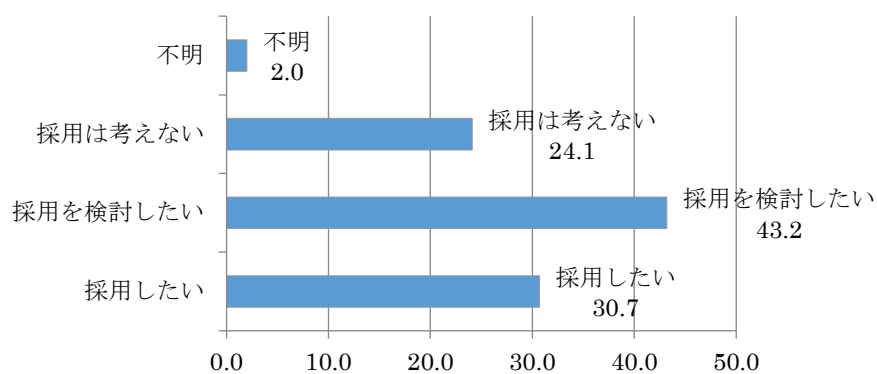
回答事業所のうち、「採用したい」が 61 事業所（30.7%）、「採用を検討したい」が 86 事業所（43.2%）であった。

②作業療法学科の卒業生に対する採用意向

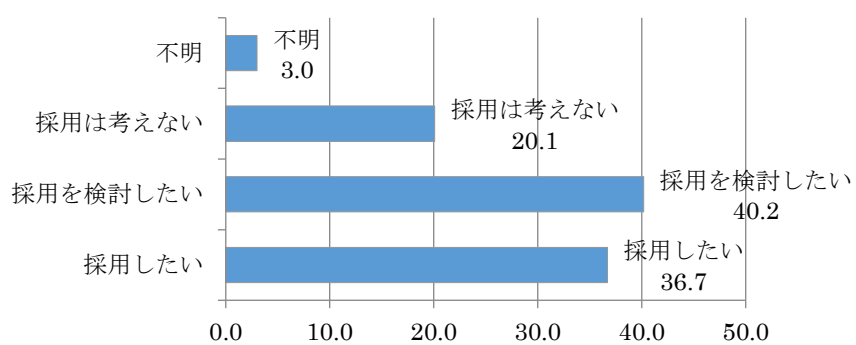
回答事業所のうち、「採用したい」が 73 事業所（36.7%）、「採用を検討したい」が 80 事業所（40.2）であった。

	理学療法学科		作業療法学科	
	件数	%	件数	%
1 採用したい	61	30.7	73	36.7
2 採用を検討したい	86	43.2	80	40.2
3 採用は考えない	48	24.1	40	20.1
不明	4	2.0	6	3.0
N（％ベース）	199	100.0	199	100.0

問5① アール医療専門職大学卒業生の採用：理学療法学科
N = 199



問5② アール医療専門職大学卒業生の採用：作業療法学科
N = 199



【問6は、問5で「1 採用したいと思う」「2 採用を検討したいと思う」を回答した理学療法学科 147 施設及び作業療法学科 153 施設に対する設問】

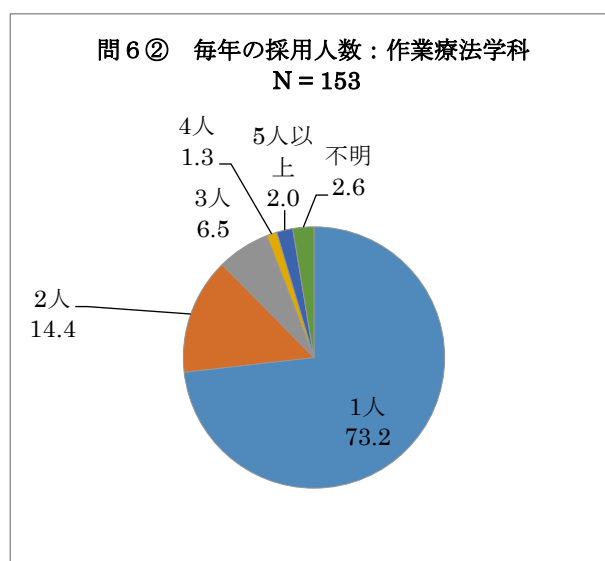
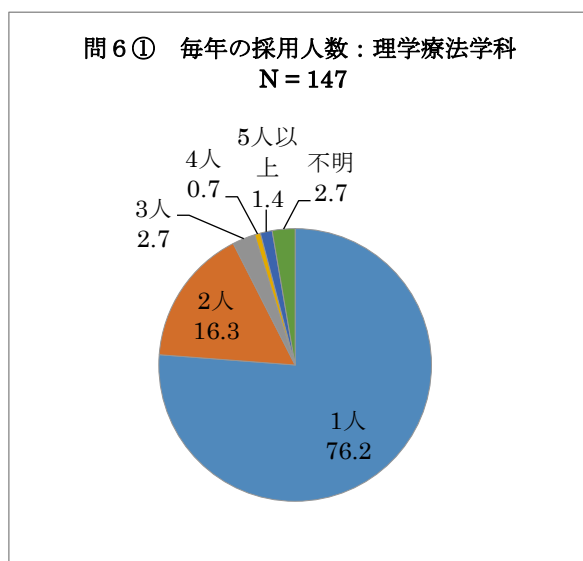
問6 問5で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。貴施設ではリハビリテーション学部の卒業生を毎年何人程度採用したいと考えますか。

複数人数の採用を検討し、回答した事業所について、それぞれの選択肢ごとの採用想定人数を計算し、リハビリテーション学部理学療法学科作業療法学科それぞれの卒業生の1年間あたりの人材需要の総数を把握した。(回収状況はP.7を参照)

	理学療法学科		作業療法学科	
	件数	%	件数	%
1 1人	112	76.2	112	73.2
2 2人	24	16.3	22	14.4
3 3人	4	2.7	10	6.5
4 4人	1	0.7	2	1.3
5 5人以上	2	1.4	3	2.0
不明	4	2.7	4	2.6
N (%への)	147	100.0	153	100.0

(「5人以上具体的な人数」)

理学療法学科	作業療法学科
—	8人



① 理学療法学科の卒業生の採用想定人数

採用想定人数の総数は 186 名と計算され、理学療法学科の入学定員（40 人）の 4.7 倍となり、入学定員を大きく上回る結果となった。卒業生の進路は、十分に確保できるものと考えられる。

	件数	%
1 1人	112	76.2
2 2人	24	16.3
3 3人	4	2.7
4 4人	1	0.7
5 5人以上	2	1.4
不明	4	2.7
N (% ^〆 -λ)	147	100.0

1年間あたりの採用想定人数
1人×112事業所=112人
2人×24事業所=48人
3人×4事業所=12人
4人×1事業所=4人
5人×2事業所=10人
合計 186人

② 作業療法学科の卒業生の採用想定人数

採用想定人数の総数は 212 人と計算され、作業療法学科の入学定員（40 人）の 5.3 倍となり、入学定員を大きく上回る結果となった。卒業生の進路は、十分に確保できるものと考えられる。

	件数	%
1 1人	112	73.2
2 2人	22	14.4
3 3人	10	6.5
4 4人	2	1.3
5 5人以上	3	2.0
不明	4	2.6
N (% ^〆 -λ)	153	100.0

1年間あたりの採用想定人数
1人×112事業所=112名
2人×22事業所=44名
3人×10事業所=30名
4人×2事業所=8名
5人×2事業所=10名 8人×1事業所=8名
合計 212人

問7 アール医療専門職大学（仮称）の設置にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

199 事業所のうち、39 事業所から自由回答の記述を得ることができた。

意見・要望
〇 T の実習に関しては受け入れ可能です。よろしくお願いします。
技術面だけでなく、人間性、コミュニケーション能力の育成にも力を入れていただきたい。今後、臨床実習の形態も変化する中、就職後の育成に時間を要することも予想されます。
採用の件につきましては、回答を控えさせていただきます。
老健施設として、介護技術に触れる機会を多く持って頂けると幸いです。
問3、問5ですが、当施設は併設の病院からの出向という勤務体制を取っておりますので施設独自の採用を行っておりませんのでご了承ください。
現場の作業療法士の不足は深刻です。ぜひ作業療法士の育成、人数の確保をお願いいたします。
病院併設の老健のため、採用人事につきましては、院内リハビリテーション科で管理しております。
児童の個別指導が対応できる様に希望します。また、保護者対応も学んでほしいです。
精神科領域における作業療法のニーズ・重要性を学生に学んでほしいです。
実習先は県内中心（限定）にするなど、地域に根ざした運営を行うことを期待します。茨城県立医療大学に設備、附属施設で劣るので差別化をはかることを期待します。
高度な知識、技能を持った人材を育成することは大変意義のあること、期待します。
県内既存の大学とどのような違い、特色があるか是非知りたいです。
他職種の連携の必要性を理解し、それに向けた行動がとれる実習環境。
貴大学の開設に期待しております。
申し訳ありません。現在の制度では採用は見込めません。病院や老健施設になると思います。
言語聴覚士の人材についても検討してほしい。
いつもお世話になっております。貴校の専門性が更に高まっていかれる事を期待しております。
専門職の知識技術とあわせて、人として成熟していける人材の育成を期待します。
学生が4年間途中で終わらず、やりきれぬ事を期待したい。
当院はアール出身者が多く在籍しているので、何か協力できる事があればサポート致します。
これからも茨城県内に良い人材を送り出して下さい。
今現在は、新卒採用は考えてはおりませんが、今後は検討していきたいと思います。
当施設（又は他施設）とリハに関連した共同研究、地域貢献を打合せの段階（企画、計画策定）から、腰をすえて行ってみたいと考えます。
地域のニーズに応えることができる専門職を育てていただきたいと思います。期待しています。
コミュニケーション能力をもった学生の育成を期待する。大学なので、基本的な人間力、幅広い視野をもてる能力を身につけてほしい。
今後ともよろしくお願いします。
基礎知識を確実にしてほしい。
PT・OTに加えSTの養成もあつたらよいと思います。
基礎学力面の充実をいかに進めていくかが重要と考えます。
現場として、どの養成校にも望むことは、即戦力となりうる人材を育てていただきたいと思います。
国家試験をきちんと合格し、国家資格を取得できる人材の育成をお願いしたいです。卒業生が出ないことには採用もできません。
協調性のある人を育てて下さい。
茨城県内の就職を優先できるシステムがあると良いです。
近年、作業療法士のニーズが高く、リクルートも大変苦労しております。特に茨城県県北は少ない状況です。県内の充足のためにも定員数も含め大学設置に期待しております。
いつもお世話になっております。大変期待しております。
健やかで専門性の高い人材育成に期待しています。
年度によって採用予定数が変わります。その点ご理解頂けますようよろしくお願い致します。
現状では不明点が多い。
素晴らしい人材育成を目指して頑張ってください。

<アンケート調査票・リーフレット>

アール医療専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート

このアンケート調査は、施設の皆様の採用意向についてのお考え等を把握し、学校法人筑波学園が構想する「アール医療専門職大学（仮称）」設置（2022年4月開設予定）の基礎資料にするものです。

専門職大学は、新しく制度化された高等教育機関です。回答によって実際の採用人数をお約束いただくものではありません。また、このアンケート調査の結果は、外部の人に見せたりすることはありません。同封のリーフレット及び本調査票裏面の養成する人物像をご覧いただき、アンケートへのご協力のほどよろしくお願いいたします。

（回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください）

【 回答欄 】

問1 貴施設の種類のどれに該当しますか。次の中から 1つだけ 選んでください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 病院 | 4 介護老人保健施設 |
| 2 診療所・クリニック | 5 障がい者支援（児）関連施設 |
| 3 特別養護老人ホーム | 6 その他（具体的に |

問2 貴施設の所在地はどこですか。次の中から 1つだけ 選んでください。

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 1 茨城県 | 4 東京都 | 7 その他（具体的に |
| 2 千葉県 | 5 神奈川県 | |
| 3 栃木県 | 6 福島県 | |

問3 貴施設において、過去3か年に採用された（非正規を含む）①理学療法士、②作業療法士の平均人数はどのくらいですか。それぞれの人数を 回答欄に直接 ご記入ください。

① 理学療法士

 人/年

② 作業療法士

 人/年

問4 構想中のアール医療専門職大学（仮称）が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。次の中から 1つだけ 選んでください。リーフレットと本調査票裏面の養成する人物像をご覧ください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 ニーズは極めて高い | 3 ニーズはあまりない |
| 2 ニーズはある程度高い | 4 わからない |

問5 貴施設ではアール医療専門職大学（仮称）リハビリテーション学部の卒業生の採用を考えますか。

次の中から 1つだけ 選んでください。理学療法学科、作業療法学科の学科別にご回答ください。

現時点でのご回答者様ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 採用したい | } 問6以下へお進みください |
| 2 採用を検討したい | |
| 3 採用は考えない | |

→ 両学科とも「3 採用を考えない」を選択された方は問7へお進みください

理学療法学科

作業療法学科

問6 問5で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。

貴施設ではリハビリテーション学部の卒業生を毎年何人程度採用したいと考えますか。

次の中から 1つだけ 選んでください。理学療法学科、作業療法学科の学科別にご回答ください。

- | | |
|------|-------------|
| 1 1人 | 4 4人 |
| 2 2人 | 5 5人以上（具体的に |
| 3 3人 | 人) |

※ この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

理学療法学科

作業療法学科

問7 アール医療専門職大学（仮称）の設置にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

理学療法学科

理学療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が学習や遊びをより効果的・自発的に行うための姿勢や運動を支援・指導できることや身体のぎこちなさ等に関する問題分析し、教職員へ助言ができる能力等を修得し、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の身体機能に応じた運動プログラムを作成できる能力や運動指導・運動プログラム作成への関与とシステムの構築ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

作業療法学科

作業療法士として

- ① 障害のある幼児、児童等が日常生活や学習における協応動作を獲得するための支援やリスクマネジメントと姿勢保持・環境設定に関する教職員への助言ができる能力等を修得して、障害のある幼児、児童等の教育支援に貢献できる人材を養成する。
- ② 高齢者の閉じこもり、認知症、うつ傾向の方の心身機能を評価し、介護支援専門員等への助言・指導や日常生活環境についての福祉用具の導入・指導ができる能力等を修得し、地域在住高齢者の健康支援に貢献できるような人材を養成する。

リハビリテーションの未来を創造する



学校法人筑波学園では、茨城県でも専門学校としていち早くセラピストの養成に努めて参りました。この度、より高度な専門職業人材を育成し、地域に貢献できる人材を輩出するため、2022年4月にアール医療専門職大学（仮称）を開学予定です。

※アール医療専門職大学（仮称） 体育館・講義棟



2022年4月開学予定（設置構想中）

学校法人筑波学園 アール医療専門職大学（仮称） リハビリテーション学部 理学療法学科 / 作業療法学科

【修業年限】4年（両学科共通）【学位】理学療法学士 / 作業療法学士（専門職）

【取得可能資格】理学療法士 / 作業療法士国家試験受験資格



@専門職大学とは？

従来の大学の長所である学問的色彩の強い教育と、専門学校の長所である実践的な教育のそれぞれの能力を兼ね備えた人材育成を目的とした約55年ぶりに作られた新たな大学制度です。「豊かな創造力」と「高度な実践力」の両方を併せ持ちその専門分野の業界を牽引できるリーダーを養成します。



@専門職大学の特徴

1. 実習・実技中心のカリキュラム

専攻に係る職業分野である「職業専門科目」の中に位置づけられます。従来の専門学校と同様に卒業単位の概ね1/3以上で構成されており、より実践的な教育を行っていきます。

2. 専門領域の新たな可能性を広げる「展開科目」

専門職大学独自の科目であり、各大学や地域等によって内容が異なります。地域社会の問題解決に貢献できる専門分野以外の「+α」の学問を学び、専門職としての視野をさらに広げていきます。

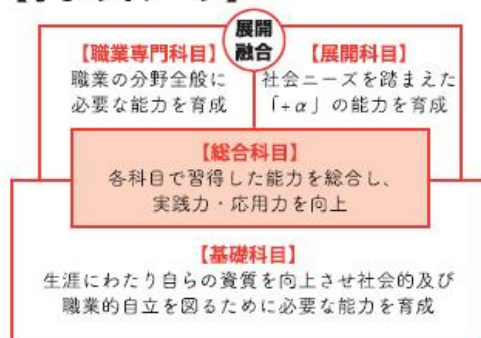
3. 専門職としての集大成「総合科目」

これまで習得した「基礎科目」「職業専門科目」「展開科目」の内容の総まとめとしてカリキュラム後半で様々な演習等を通して学びを深め、実践力・応用力を向上させていきます。

4. 研究者教員と実務家教員の配置

大学や研究機関等において優れた研究実績を持つ「研究者教員」と、実際の臨床現場において高度な実務能力を有する「実務家教員」がバランス良く在籍したカリキュラム構成となります。

【学びのイメージ】



研究者教員



実務家教員

アール医療専門職大学（仮称）の特徴

「臨床力」

病院実習だけでなく、理学療法士・作業療法士以外の様々な職種の方と幅広く関わりを持てるような経験を積むことで、リハビリテーション領域における総合的な臨床能力を高めていきます。



「研究力」

新たに研究棟を建設し「人間創成地域研究センター」を立ち上げる計画をしています。研究活動を行っていくことで、実際の臨床の現場において活用できるシステムとなっています。



「教育力」

新たに5号館（体育館・講義棟）を建設する計画をしています。「研究者教員」と「実務家教員」それぞれのスペシャリストにより、研究と臨床での学びを最大限に発揮できるカリキュラムを構成します。



※本計画は設置構想中であり、変更する可能性があります。

学科・職種紹介および競合校との学費比較

《理学療法学科（定員40名）》

●「総合的な臨床能力」を有し、社会から真に必要なとされる理学療法士を養成する

理学療法士とは、ストレッチ等による運動療法や温熱・電気等を利用した物理療法により、患者様の基本動作能力の回復を支援していく仕事です。



《作業療法学科（定員40名）》

●「ライフステージに合わせた支援ができる」作業療法士を養成する

作業療法士とは、病気や怪我などによって心身に障がいのある方に対し、諸機能の回復・維持を図るために日常的な動作や趣味活動を通じて支援していく仕事です。



《学費比較》

（単位：円）

大学名	学部・学科名	入学金	授業料	施設設備費	実習費	初年度合計	2年次以降	4年間合計
アール医療専門職大学（仮称）	リハビリテーション学部 （理学療法学科・作業療法学科）	300,000	900,000	350,000	200,000	1,750,000	1,450,000	6,100,000
つくば国際大学	医療保健学部 （理学療法学科のみ）	300,000	900,000	350,000	250,000	1,800,000	1,500,000	6,300,000
白鳥大学	保健医療学部	250,000	965,000	390,000	120,000	1,725,000	1,500,000	6,225,000

※出典「各大学のWebサイトに掲載の学納金」を用いて作成。

お問い合わせ・アクセス

▶ 学校法人筑波学園 アール医療福祉専門学校 《専門職大学 設置準備室》

〒300-0032 茨城県土浦市湖北2-10-35 TEL: 029-824-7611

URL: <https://a-ru.ac.jp/> Mail: t-kanazawa@tib-r.co.jp

■JR常磐線・上野駅より約70分、水戸駅より約45分、土浦駅下車 ■JR常磐線・土浦駅東口より徒歩約12分
■つくばエクスプレス・つくば駅より車・バスで約30分 ■茨城空港より車で約40分

